# FITCOPY500

## 取扱説明書

ー第2.1版ー


設置 1

概要 2

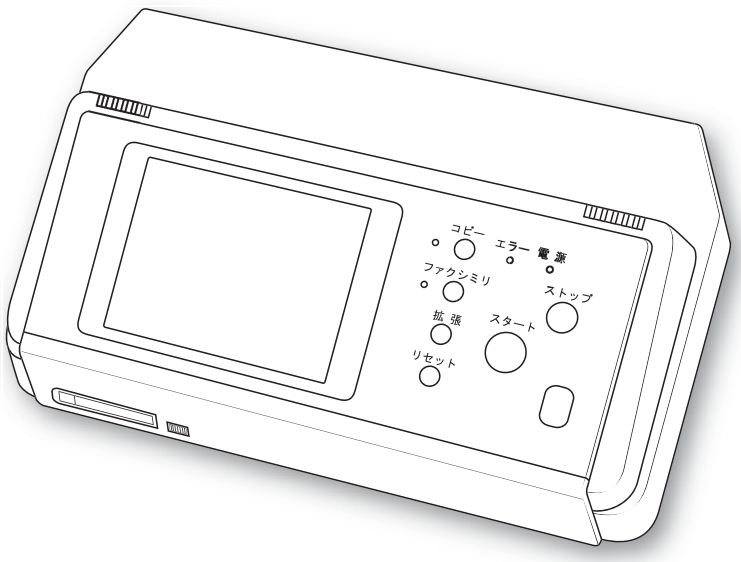
コピー 3

ファクス 4

運用管理 5

困ったときは 6

付録 7

表紙裏

# 白　紙

# はじめに

**このたびはFITCOPY500をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。**

**本機は、EPSON製のスキャナと、レーザプリンタを使用する事により、高品位な画質での高速モノクロコピーとファクスを実現します。**

**この取扱説明書は、上記の機能の利用方法を説明したものです。次のページで同梱物を確認された後、5ページより記載の「安全に正しくお使いいただくために」をご覧ください。プリンタ機能およびスキャナ機能につきましては、プリンタ、スキャナに付属の取扱説明書をご覧ください。**

**■対応機種**

**◆プリンタ**

**LP-9400 ／ LP-8900 ／ LP-7700 ／ LP-7500**

**◆スキャナ**

**ES-9000H ／ ES-6000HS ／ ES-6000H**

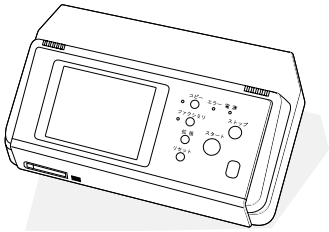
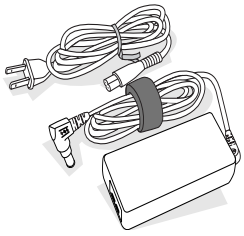
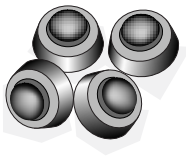
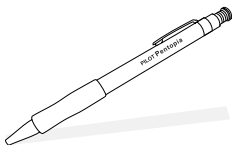
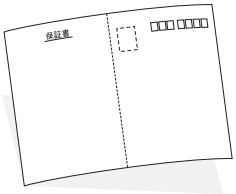
**本書は、製品の不明点をいつでも解決できるように、本機のそばに保管してください。取扱説明書をよくお読みになり、本機を末永くご愛用ください。**

この装置は，情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＡ情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

# 同梱物の確認

梱包を開けられましたら、以下の付属品がすべてそろっていることと、本体、および付属品に損傷がないことをご確認ください。
万一、不足や不良品がございましたら、下記のサポートダイヤルまでご連絡ください。

●サポートダイヤル
サイレックス・テクノロジー株式会社
情報機器事業部
TEL:06-6730-3775

| | | |
|---|---|---|
| □FITCOPY-500（本体）<br>  | □ACアダプタ<br>  | □ケース・レグ （樹脂脚）4個<br>  |
| □プリンタケーブル<br>（25P－36Pケーブル）<br> | □スキャナケーブル<br>（SCSIケーブル）<br> | □スタイラスペン<br>（LCDパネル操作用）<br>  |
| □取扱説明書（本書）<br> | □保証書兼ユーザ登録はがき<br>  | |

# 安全に正しくお使いいただくために

○本製品を安全にお使いいただくために、製品をお使いになる前には、必ず本書およびスキャナ、プリンタに添付されておりますその他の取扱説明書をお読みください。
○本書およびスキャナ、プリンタに添付の取扱説明書では、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、危険を伴う操作・お取り扱いについて、次の記号で警告表示を行っています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

| | |
|---|---|
| **警告** | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
| **注意** | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

| | |
|---|---|
| | この記号は、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。 |
| | この記号は、分解禁止を示しています。 |
| | この記号は、濡れた手で製品に触れることの禁止を示しています。 |
| | この記号は、製品が水に濡れることの禁止を示しています。 |
| | この記号は、電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。 |

# 安全に正しくお使いいただくために

| 警告 | |
|---|---|
| | **煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。**<br>感電・火災の原因となります。<br>すぐに本機のACアダプタをコンセントから抜いて、販売店またはエプソンフィールドセンターにご相談ください。<br>お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。 |
| | **分解や改造はしないでください。**<br>けがや感電・火災の原因となります。 |
| | **本機のACアダプタは、表示されている電源（AC100V ）以外は使用しないでください。**<br>指定外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。<br>スキャナの電源とプリンタの電源は別のコンセントから取ってください。 |
| | **濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。**<br>感電の原因となります。 |
| | **開口部から内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。**<br>感電、火災の原因となります。 |
| | **異物や水などの液体が内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。**<br>感電、火災の原因となります。<br>すぐに電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、販売店またはエプソンフィールドセンターにご相談ください。 |
| | **破損した電源ケーブルを使用しないでください。**<br>感電・火災の原因となります。<br>電源ケーブルを取り扱う際は、次の点を守ってください。<br>・ 電源ケーブルを加工しない<br>・ 電源ケーブルの上に重いものを載せない<br>・ 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない<br>・ 熱器具の近くに配線しない<br>電源ケーブルが破損したら、販売店またはエプソンフィールドセンターにご相談ください。 |
| | **電源ケーブルのたこ足配線はしないでください。**<br>発熱し火災の原因となります。<br>電源コンセント（AC100V ）から直接電源を取ってください。 |
| | **プリンタの電源プラグは、定格電圧100V のコンセントに単独で差し込んでください。**また、たこ足配線、テーブルタップやコンピュータなどの裏側にある補助電源への接続、およびスキャナの電源を接続しているコンセントと同じコンセントには接続しないでください。<br>発熱による火災や感電のおそれがあります。 |

# 安全に正しくお使いいただくために

| 警告 | |
|---|---|
| | **電源プラグの取り扱いには注意してください。**<br>取り扱いを誤ると火災の原因となります。<br>電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。<br>・ 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない<br>・ 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む |
| | **添付されているＡＣアダプタ以外は使用しないでください。**<br>感電・火災の原因となります。 |

# 安全に正しくお使いいただくために

| ⚠注意 | |
|---|---|
| | **小さなお子さまの手の届く所には、設置、保管しないでください。**<br>落ちたり、倒れたりして、けがをするおそれがあります。 |
| | **不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。**<br>落ちたり、倒れたりして、けがをするおそれがあります。 |
| | **湿気やほこりの多い場所に置かないでください。**<br>感電・火災のおそれがあります。 |
| | **本製品の上に乗ったり、物を置かないでください。**<br>特に、小さなお子さまのいる家庭ではご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがをするおそれがあります。 |
| | **本製品背面の通風孔をふさがないでください。**<br>通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災のおそれがあります。<br>次のような場所には設置しないでください。<br>・ 押し入れや本箱など風通しの悪い狭いところ<br>・ じゅうたんや布団の上<br>・ 毛布やテーブルクロスのような布をかけない<br>また、壁際に設置する場合は、壁から10㎝ 以上（プリンタは15㎝ 以上）のすき間をあけてください。 |
| | **各種コード（ケーブル）は、取扱説明書で指示されている以外の配線をしないでください。**<br>配線を誤ると、火災のおそれがあります。 |
| | **本製品を移動する場合は、安全のためにACアダプタをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。** |
| | **他の機械の振動が伝わる所など、振動しがちな場所には置かないでください。**<br>落下によって、そばにいる人がけがをするおそれがあります |
| | **オプション類を装着するときは、表裏や前後を間違えないでください。**<br>まちがえて装着すると、故障の原因となります。取扱説明書の指示に従って、正しく装着してください。 |
| | **プリンタを紙詰まりの状態で放置しないでください。**<br>定着器が加熱し、発煙・発火の原因となります。 |
| | **使用中に、プリンタのカバーを開けたときは定着器部分に触れないでください。**<br>高温になっているため、火傷のおそれがあります。 |

# 安全に正しくお使いいただくために

| 注意 | |
|---|---|
| | **プリンタの電源投入時および印刷中は、排紙ローラ部に指を近づけないでください。**<br>指が排紙ローラに巻き込まれ、けがをするおそれがあります。用紙は、完全に排紙されてから手にとってください。 |
| | **使用済みのET カートリッジを、火の中に入れないでください。**<br>トナーが飛び散って発火し、火傷するおそれがあります。不燃物として処理してください。 |
| | **本機の電源を入れたままスキャナケーブルの抜き差しをしないでください。**<br>切らないで作業すると機器が故障する危険があります。 |

# 複写上の注意

以下の行為は、法律により禁止されています。
・紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券をコピーすること
（見本印があっても不可）
・日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類をコピーすること
・政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、官製はがきなどをコピーすること
・政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類をコピーすること

次のものは、コピーするにあたり注意が必要です。
・民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
・パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

著作権について
書籍、絵画、版画、図面、写真などの他人の著作物は、個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目的とする以外、著作権者の承認が必要です。

※本機設置にあたり、管理者は使用者が上記行為を行わないよう管理する必要があります。

# 取扱説明書の構成と使い方

＜本書の構成＞

本製品に付属の取扱説明書は、以下のように構成されています。

■巻頭の「安全に正しくお使いいただくために」では、本機をご利用いただくにあたり、あらかじめ知っておいていただきたい注意事項を記載しています。必ずお読みください。

■「1章 設置」「2章 概要」「3章 コピー」「4章 ファクス」は、本機の導入方法や、機能別に操作方法を記載しています。

■「5章 運用管理」「6章 困ったときは」「7章 付録」は、設定や日常の手入れ、トラブルの対処方法を記載しています。

＜目次で探す＞

■本機で行ないたいと思った事柄を目次で探してください。

●「目次」 → 14ページ

＜索引で探す＞

■キーワードを元に索引を利用して、目的のページへ素早くたどりつくことができます。

●「索引」→ 7-10 ページ

# 本文中のマーク、表記について

本書の中のマークや表記が付いている文章は、次のように重要な内容を記載しています。
必ずお読みください。

| | |
|---|---|
| | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、装置本体が損傷する可能性が想定される内容を示しています。 |
| | お取り扱い上のアドバイスを記載しています。 |
| | 知っておいていただきたいことを記載しています。 |
| 補足 | 補足事項を説明しています。 |
| | 関連した内容の参照ページを示しています。 |
| [終了] | ボタンを示しています。 |
| 「完了しました」 | 各種機能の設定値、及びLCDパネルに表示されるメッセージを示しています。 |

# 用語の説明

| 用語 | 説明 |
|---|---|
| ADF | Auto Document Feederの略。複数の原稿を自動的にスキャンするためのスキャナオプションです。ADFには原稿の両面を読み取れるタイプもあります。 |
| ECPモード | Extended Capabilitie Portモードの略称。パラレルインタフェースの規格の一つであり、非同期、バイト幅のデータを双方向に高速に通信する機能を提供するモードのこと。 |
| インタフェース | 二つ以上の機器をつなぐ際のデータ転送速度やタイミング、手順などの規格のことです。 |
| パラレル<br>インタフェース | 複数の信号線を用いて同時に数ビットまとめてデータを送るパラレル伝送で、外部機器と接続するためのインタフェースのことです。プリンタに装着して使用します。 |
| SCSI<br>インタフェース | Small Computer System Interface の略称。外部機器と接続するためのインタフェースのこと。SCSI機器は0～7番までのSCSI IDをもち、その番号によってSCSI機器へのアクセス制御を行ないます。7番はホストアダプタ(SCSIカード)に予約されているため使用できません。 |
| 解像度 | スキャナやプリンタの、きめの細かさのこと。解像度は普通1インチあたりにドットがいくつあるかを示すdpi（dot per inch）という単位であらわします。 |

# 目　次


はじめに .....3
同梱物の確認 .....4
安全に正しくお使いいただくために .....5
複写上の注意 .....10
取扱説明書の構成と使い方 .....11
本文中のマーク、表記について .....12
用語の説明 .....13
目　次 .....14

**1章　設置 .....1-1**

開梱から設置までの手順 .....1-2
設置上の注意 .....1-4
設置に必要なスペース .....1-5
　専用スキャナスタンド／
　　プリンタ台使用時 .....1-5
　専用スキャナスタンドを
　　使用しない場合 .....1-7
ＦＩＴＣＯＰＹの設置 .....1-8
　専用スタンドを使用する場合 .....1-8
　専用スタンドを使用しない場合 .....1-8
スキャナとプリンタの設置 .....1-9
　スキャナの設置 .....1-9
　プリンタの設置 .....1-10
接続の概要 .....1-11
　接続全体図 .....1-11
スキャナとプリンタの接続 .....1-12
　スキャナの接続 .....1-12
　プリンタの接続 .....1-13
電話回線の接続 .....1-16

**2章　概要 .....2-1**

各機能の概要 .....2-2
　本装置の機能概要 .....2-2
　コピー概要 .....2-2
　ファクス概要 .....2-3
　　■ファクス送信 .....2-3
　　■ファクス受信 .....2-3
　各部の名称とはたらき .....2-4
　　■操作パネル部（正面） .....2-4
　　■操作パネル部（前面） .....2-5
　　■操作パネル部（裏面） .....2-5
　CF カードの取り扱い .....2-6
ソフトウェアキーボード .....2-7
　ソフトウェアキーボード画面 .....2-7
　　■入力モードの切り替え .....2-7
　　■カーソルの移動 .....2-7
　　■空白の入力 .....2-7
　　■入力文字の消去 .....2-7
　　■入力の終了 .....2-7
　文字入力 .....2-8
　　■アルファベットの入力 .....2-8
　　■カタカナの入力 .....2-8
　　■記号の入力 .....2-9
　　■ひらがな／漢字の入力 .....2-9
　　■区点コードで入力 .....2-11
スキャナへセットする原稿の向き .....2-12
製品導入時の設定 .....2-13
　電源の投入 .....2-13
　タッチパネルディスプレイの
　　コントラスト調整 .....2-14
　タッチパネルの調整 .....2-15
　　■タッチパネルの再調整 .....2-16
　スキャナ接続処理 .....2-17
　プリンタ接続処理 .....2-18
　装置の設定 .....2-19
　　■環境設定画面 .....2-19
　　■日付設定 .....2-20
　　■時刻設定 .....2-21
　電源の遮断 .....2-22

**3章　コピー .....3-1**

画面 .....3-2
　コピー基本画面 .....3-2
　応用機能画面 .....3-3
コピーの準備 .....3-4
　設定項目一覧 .....3-4

プリンタの接続状態について .....3-4
コピー .....3-5
コピーの手順 .....3-5
基本コピーの設定 .....3-6
原稿サイズ .....3-6
縮小拡大 .....3-7
■定型サイズ変倍 .....3-7
■倍率指定 .....3-8
■「ちいさめ」について .....3-8
コピー品質 .....3-9
輪郭 .....3-10
濃度 .....3-11
応用コピーの設定 .....3-12
設定値保存 .....3-13
■設定値印刷 .....3-13
両面コピー .....3-14
■「とじ位置」とは .....3-15
■原稿台から両面原稿を
スキャンする .....3-15
とじ代 .....3-16
ページ連写 .....3-17
縮小レイアウト .....3-18
ページソート .....3-19
特殊機能 .....3-20
コピー解像度 .....3-21
給紙トレイ .....3-22
コピー履歴 .....3-23
コピー履歴の確認 .....3-23
■履歴を印刷する .....3-24

**4章　ファクス .....4-1**

画面 .....4-2
ファクス基本画面 .....4-2
応用機能画面 .....4-3
ファクス送受信の準備 .....4-4
設定項目一覧 .....4-4
受信モード .....4-5
端末登録 .....4-6
■自局番号登録 .....4-6
■自局名称登録 .....4-7
発信元記録 .....4-8
受信用紙 .....4-9
■「ちいさめ」について .....4-9
送受信速度 .....4-10
通信音量 .....4-11
回線種類 .....4-12
ADF 異常時 .....4-13
送信メモリフル時 .....4-14
呼出回数 .....4-15
リダイヤル .....4-16
■リダイヤル回数 .....4-16
■リダイヤル間隔 .....4-16
エラー訂正機能 .....4-17
ファクス送信 .....4-18
ファクス送信の手順 .....4-18
■テンキーからダイヤルする .....4-19
■リダイヤルする .....4-19
■アドレス帳からダイヤルする .....4-20
不達通知 .....4-21
ファクス受信 .....4-22
ファクス受信の手順 .....4-22
基本ファクスの設定 .....4-23
送信画質 .....4-23
送信解像度 .....4-24
送信濃度 .....4-25
応用ファクスの設定 .....4-26
設定値保存 .....4-27
■設定値印刷 .....4-27
両面読取 .....4-28
■原稿台から両面原稿を
スキャンする .....4-28
F コード送信 .....4-29
■F コードをつけて送信する .....4-29
タイマ送信 .....4-31
■タイマ送信を予約する .....4-31
■タイマ送信を解除する .....4-32

グループ送信 .....4-33
■グループからダイヤルする .....4-33
■グループの登録 .....4-35
■グループに送信先を
追加／削除する .....4-36
■グループ名を修正する .....4-37
■グループを削除する .....4-38
原稿サイズ .....4-40
■ ADF サイズ .....4-40
■原稿台サイズ .....4-41
輪郭設定 .....4-42
変倍送信 .....4-43
テスト送信 .....4-44
アドレス帳 .....4-45
アドレス帳の登録 .....4-45
アドレス帳の修正／削除 .....4-46
アドレス帳の印刷 .....4-47
ファクス履歴 .....4-48
ファクス履歴の確認 .....4-48
■送信／受信履歴を印刷する .....4-49
■メモリ受信を印刷する .....4-49
■履歴を初期化する .....4-49
■履歴印刷サンプル .....4-50

5章　運用管理 .....5-1
環境設定 .....5-2
環境設定とは .....5-2
■環境設定画面 .....5-3
日付設定 .....5-4
時刻設定 .....5-4
節電設定 .....5-5
オートクリア設定 .....5-6
排紙位置設定 .....5-7
音量設定 .....5-8
設定初期化 .....5-9
CF カード管理 .....5-10
機種選択 .....5-11
タッチパネルの再調整 .....5-12
印刷オフセット設定 .....5-13
IP アドレス設定 .....5-14
■自動設定 .....5-14
■手動設定 .....5-15
LPT ステータスシート .....5-17
信号送出 LV .....5-18
管理者メニュー .....5-19
設定内容バックアップ .....5-19
設定内容リストア .....5-20
ファームウェアの
バージョンアップについて .....5-22
■バージョンの確認 .....5-22
■バージョンアップ用
CF カードの作成 .....5-22
■バージョンアップ .....5-23

6章　困ったときは .....6-1
エラーメッセージ .....6-2
エラー発生について .....6-2
エラーメッセージ一覧 .....6-2
■共通編 .....6-2
■ CF カード編 .....6-3
■スキャナ編 .....6-4
■プリンタ編 .....6-5
■コピー編 .....6-7
■ファクス編 .....6-7
スキャナの ADF で原稿が詰まったときは .6-8
■排紙口で詰まった場合 .....6-9
プリンタが正常に給紙／
排紙しないときは .....6-10
■用紙が詰まる／給排紙されない .6-10
■紙を二重送りしてしまう .....6-10
プリント品質上のトラブル .....6-11
■端の部分がコピーされない .....6-11
■写真や絵がきれいに
プリントされない .....6-11
■文字がくっきりと
プリントされない .....6-11

■印刷が薄い
（薄くかすれる、不鮮明）.....6-12
■コピーの画像が傾いている .....6-12
■汚れ（点）が印刷される .....6-12
■周期的に汚れがある .....6-13
■指でこするとにじむ .....6-13
■塗りつぶし部分に白点がある ...6-13
■用紙全体が塗りつぶされてしまう . 6-14
■縦線が印刷される .....6-14
■何も印刷されない .....6-14
■白抜けがおこる .....6-14
■裏面が汚れる .....6-15
■用紙にしわがはいる .....6-15
ＦＡＱ .....6-16
サポートのご案内 .....6-19
保守サービスのご案内.....6-19
修理依頼票 .....6-21

**7章　付録 .....7-1**
日常のお手入れ .....7-2
移動時のご注意 .....7-3
ローマ字入力表 .....7-4
設定値一覧 .....7-5
コピー編 .....7-5
ファクス編 .....7-6
共通編 .....7-7
仕様 .....7-8
索引 .....7-10

ページ

# 白　紙

# 1章 設置

■目次


開梱から設置までの手順 ..... 1-2
設置上の注意 ..... 1-4
設置に必要なスペース ..... 1-5
　専用スキャナスタンド／
　　プリンタ台使用時 ..... 1-5
　専用スキャナスタンドを
　　使用しない場合 ..... 1-7
ＦＩＴＣＯＰＹの設置 ..... 1-8
　専用スタンドを使用する場合 ..... 1-8
　専用スタンドを使用しない場合 .... 1-8
スキャナとプリンタの設置 ..... 1-9
　スキャナの設置 ..... 1-9
　プリンタの設置 ..... 1-10
接続の概要 ..... 1-11
　接続全体図 ..... 1-11
スキャナとプリンタの接続 ..... 1-12
　スキャナの接続 ..... 1-12
　プリンタの接続 ..... 1-13
電話回線の接続 ..... 1-16

# 開梱から設置までの手順

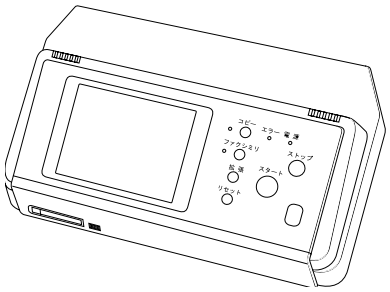
内容物の確認後、本機の電源をオンにするまでのおおまかな手順を紹介します。

## 1 注意事項の確認

参照

- 「安全に正しくお使いいただくために」 →5ページ
- 「設置上の注意」 →1-4ページ
- 「設置に必要なスペース」 →1-5ページ

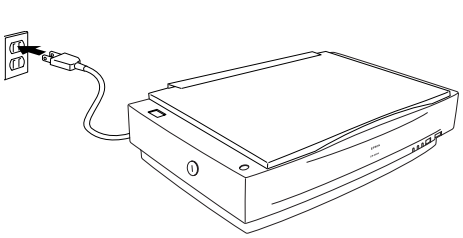
## 2 FITCOPY（本機）の設置

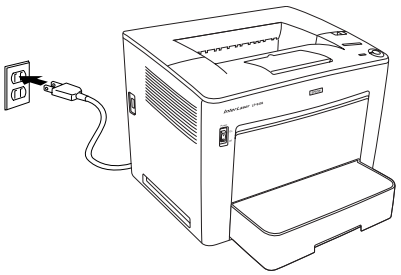


参照

- 「FITCOPYの設置」 →1-8ページ

## 3 スキャナ・プリンタの設置



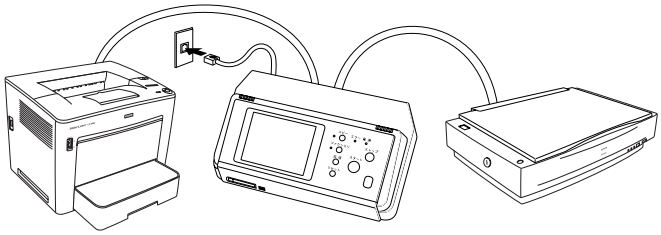


参照

- 「スキャナとプリンタの設置」 →1-9ページ

# 開梱から設置までの手順

## 4 本機に、スキャナ、プリンタ、電話回線を接続



参照

- 「接続の概要」 →1-11 ページ
- 「スキャナとプリンタの接続」 →1-12 ページ
- 「電話回線の接続」 →1-16 ページ

## 5 スキャナに原稿をセットし、プリンタに用紙をセット

参照

ご利用の製品に付属の取扱説明書ご覧になり、スキャナに原稿を、プリンタに用紙をセットします。
原稿の向きについては、「スキャナへセットする原稿の向き」→2-12 ページを参照してください。

## 6 本機を使用する準備が出来ました

参照

◇導入時の設定を行ないます

- 「製品導入時の設定」→2-13 ページ

◇コピー機能をご利用になるには

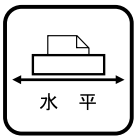
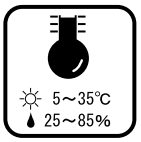
- 「3 章　コピー」→3-1 ページ

◇ファクス機能をご利用になるには

- 「4 章　ファクス」→4-1 ページ

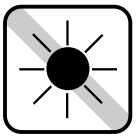
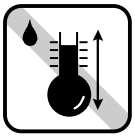
# 設置上の注意

## ◆次のような場所に設置してください。

| 水平で安定した場所 | 風通しの良い場所 | 次の気温と湿度の場所 |
|---|---|---|
|  | |  |

## ◆次のような場所に設置しないでください。

各機器は精密な機械・電子部品で作られています。次のような場所に設置すると動作不良や故障の原因となりますので、絶対に避けてください。

| 直射日光の当たる場所 | ほこりや塵の多い場所 | 温度変化の激しい場所 |
|---|---|---|
|  | | |
| **湿度変化の激しい場所** | **火気のある場所** | **水にぬれやすい場所** |
|  | | |
| **揮発性物質のある場所** | **冷暖房機具に近い場所** | **振動のある場所** |
| | | |

# 設置に必要なスペース

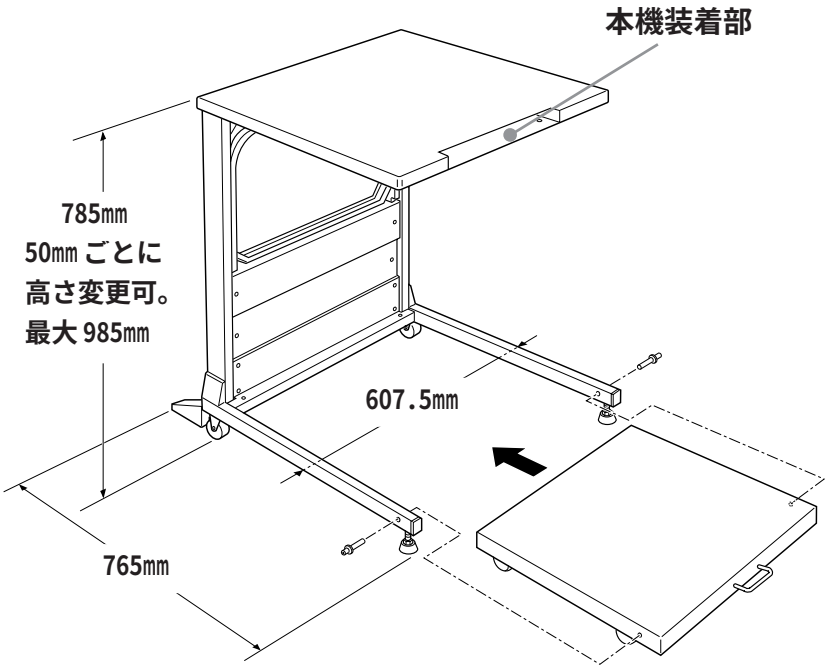
ここでは、システムを設置するために必要なスペースについて説明します。プリンタとスキャナの設置スペースについては、それぞれご使用の製品に同梱のマニュアルを参照してください。

注意

設置スペースについて、次の点に注意してください。
- プリンタ、スキャナの左右と上方には、作業がしやすいように十分なスペースを確保してください。
- プリンタの背面には通風口が設けられています。このためプリンタの背面には 15cm 以上のすき間が必要です。
  また、壁に押しつけて置くと、ケーブルの根元に無理な力がかかって断線したり、ケーブルがはずれる原因になりますのでご注意ください。
- スキャナの背面には電源コードやケーブルのために、10cm 以上のすき間が必要です。
  壁に押しつけて置くと、ケーブルの根元に無理な力がかかって断線したり、ケーブルがはずれる原因になりますのでご注意ください。

## 専用スキャナスタンド／プリンタ台使用時

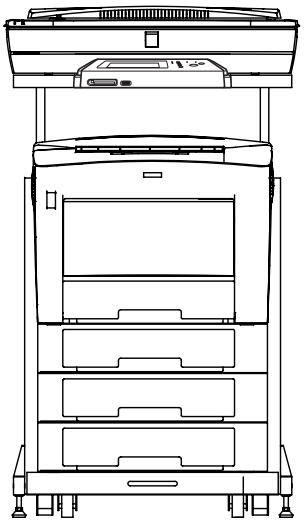
オプションの専用スキャナスタンド（FIT-CBN300、エプソン製 CSCBN7A）、専用プリンタ台（CSCBN7B）を使用すると、スペース効率の良い置き方ができます。
（下の図はエプソン製 CSCBN7A です。）



# 設置に必要なスペース

## ◆プリンタの設置例は右図のようになります。

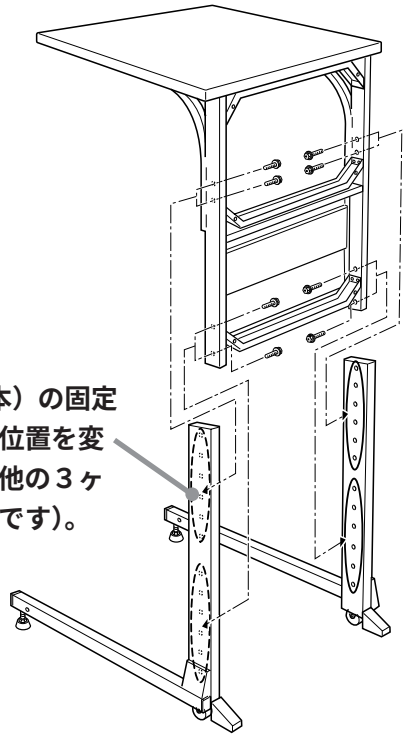
例） スキャナ（ES-9000H）
プリンタ（LP-9400）
プリンタ台（CSCBN7B）
スキャナ台（CSCBN7A）



専用スキャナスタンドは、スキャナを乗せる台の高さを変えることができます。
プリンタにオプションの給紙装置を装着する場合など、プリンタの高さに合わせて台の高さを変えてください。
台の高さは、図のように専用スキャナスタンドの上部と下部を固定するネジ（8本）の位置を変えることで変更します。

注意

- 専用スキャナスタンドの上部と下部は、必ず、図のすべてのネジ（8本）で固定してください。
- 高さを変える際は、スキャナを台から降ろし、本機およびケーブル類も取り外してください。
- 専用スキャナスタンドは重いため、高さを変える場合は、横に倒して作業を行ってください。

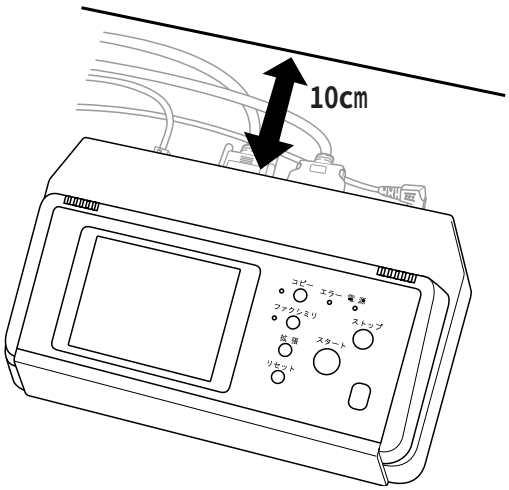



専用スキャナスタンド / プリンタ台の使用上の注意については、ご利用の製品に付属の取扱説明書をご覧ください。

# 設置に必要なスペース

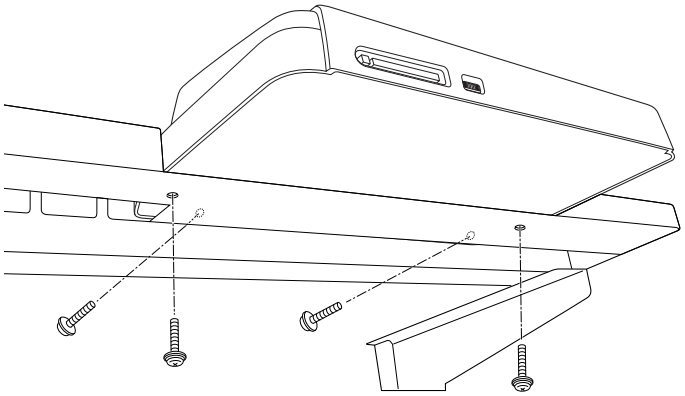
## 専用スキャナスタンドを使用しない場合

FITCOPY本体背面には、インタフェースケーブルの接続のために、10cmのすき間が必要です。壁や他の機器に押しつけるような状態で置くと、ケーブルの根元に無理な力がかかって断線したり、ケーブルがはずれる原因になりますのでご注意ください。



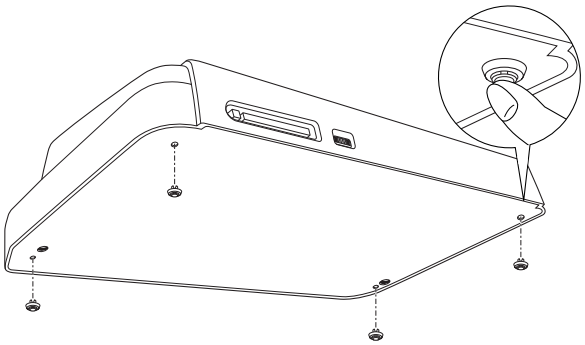
## 専用スタンドを使用する場合

専用スキャナスタンドを使用する場合、FITCOPYを下図のように専用スキャナスタンドに装着し、専用スキャナスタンドに同梱のネジ（4本）で固定します。



## 専用スタンドを使用しない場合

同梱のケース・レグ（樹脂脚4個）を本体底面の取付け穴に取付けます。



1 ケース・レグ（樹脂脚）を本体底面の取付け穴に差し込みます。

2 ケース・レグの灰色の突起部分を矢印の方向に奥まで押し込みます。
これで、取付け作業は終了です。

## スキャナの設置

ポイント

スキャナをFITCOPYに接続して使用するには、スキャナのインタフェースを以下のように設定してください。

SCSI ID：7番以外に設定
TERMINATOR S/W（ターミネータスイッチ）：ON

1 スキャナに同梱の、次の取扱説明書を参照して、スキャナを使用可能な状態にします。スキャナに付属の取扱説明書をご覧ください。

2 スキャナにオプションを取り付ける場合は、オプションの取扱説明書、およびスキャナの「ユーザーズガイド」の「オプションの使い方」を参照して、作業を行ってください。

3 以上の作業が完了したら、一旦スキャナの電源をオフにして、ケーブル類を取り外します。

4 スキャナを、設置したい場所に移動します。

オプションの専用スキャナスタンド（CSCBN7A）を使用する場合、あらかじめ専用スキャナスタンドを、設置したい場所に移動してから、スキャナを載せてください。

注意

専用スキャナスタンドの上にスキャナを載せる場合、次の点に注意してください。
- 作業の妨げにならないよう、十分なスペースを確保できる場所に専用スキャナスタンドを移動してください。
- スキャナは、必ず2人以上で持ち上げてください。
- スキャナの電源をオフにして、ケーブル類を取り外してください。
- スキャナ底面の脚（4個）が、確実に専用スキャナスタンドの上面に載るように設置してください。

設置が終わりましたら、スキャナのキャリッジ固定ノブをUNLOCKの位置へ回してください。

## プリンタの設置

ポイント

プリンタを FITCOPY に接続して使用するには、プリンタ側の操作パネルの設定で、以下のように設定してください。

パラレル I/F：使う
双方向設定：ECP

1 プリンタに同梱の取扱説明書を参照して、記載されている作業を行なってください。

2 プリンタにオプションを取り付ける場合は、オプションの取扱説明書、およびプリンタの「ユーザーズガイド」の「オプションと消耗品について」を参照して、作業を行なってください。

3 プリンタに同梱の取扱説明書を参照して、プリンタの操作パネルでパラレルインタフェースを ECP モードに設定します。

4 以上の作業が完了したら、一旦プリンタの電源をオフにして、ケーブル類を取り外します。

5 プリンタを、設置したい場所に移動します。

オプションの専用プリンタ台（CSCBN7B）を使用する場合、専用プリンタ台の上にプリンタを載せてください。

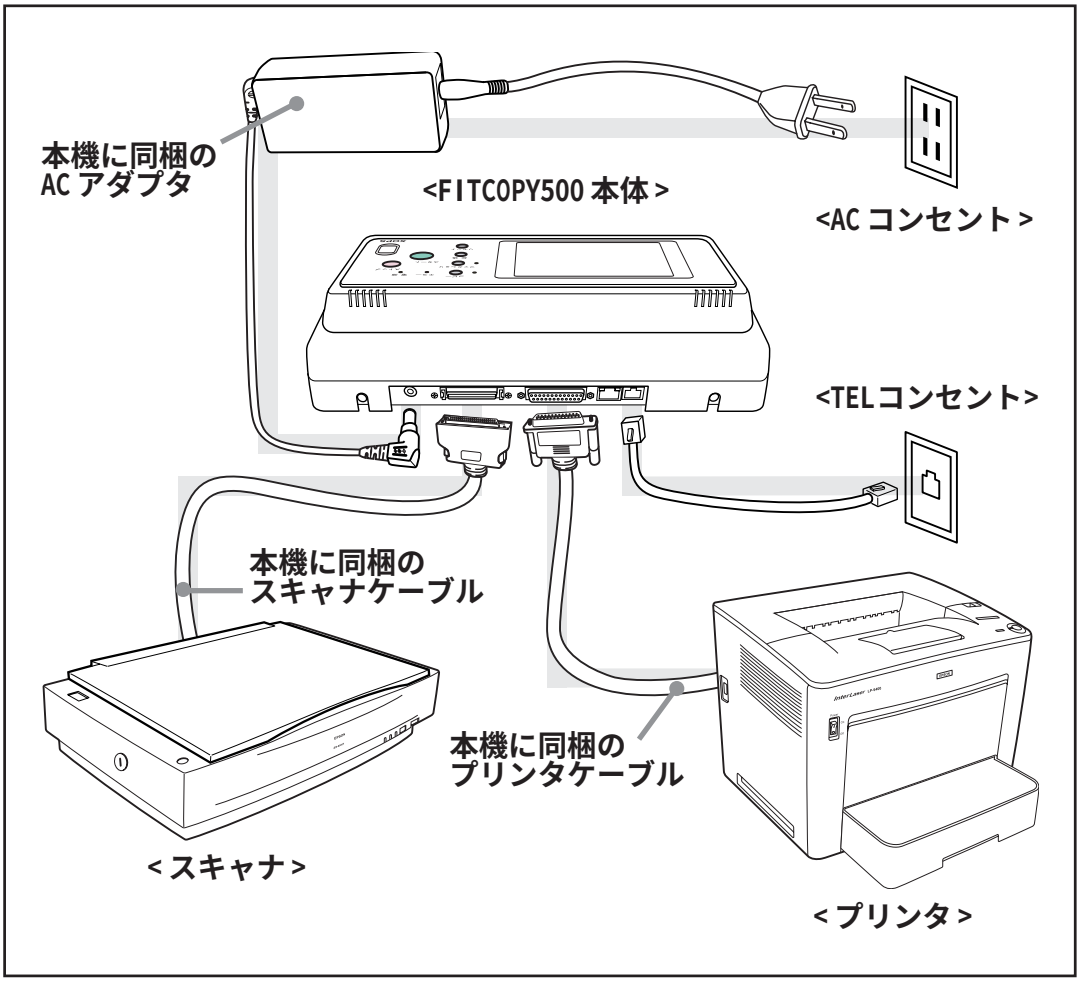
注意

専用プリンタ台の上にプリンタを載せる場合、次の点に注意してください。

- 作業の妨げにならないよう、十分なスペースを確保できる場所に専用プリンタ台を移動してください。
- 必ず専用プリンタ台のキャスターをロックしてください。
- プリンタは、必ず 2 人以上で持ち上げてください。
- プリンタの電源をオフにして、ケーブル類を取り外してください。
- プリンタ底面の脚（4 個）が、確実に専用プリンタ台の上面に載るように設置してください。

## 接続全体図

本機と、スキャナ、プリンタ、電話回線、LAN は次のように接続します。




注意

・プリンタケーブル、スキャナケーブルの接続は、各機器の電源をオフにしてから行なってください。

## スキャナの接続

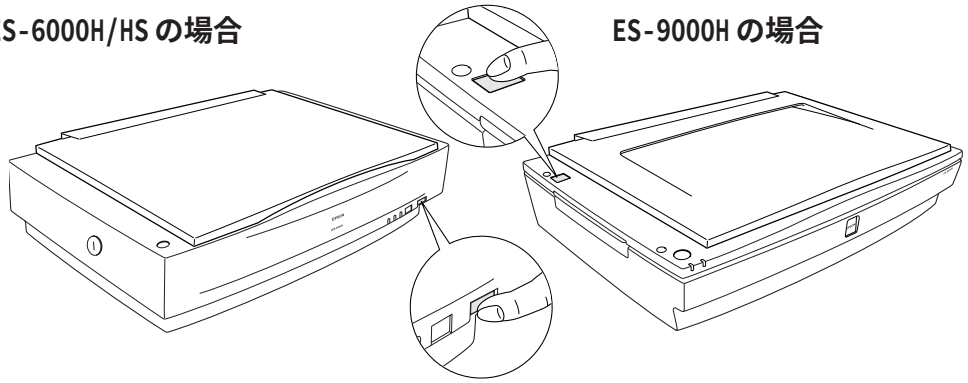
スキャナと本機の接続には、次のものが必要です。

- 本機に同梱のスキャナケーブル（SCSI ケーブル）

### 1 スキャナの電源がオフになっていることを確認します。

電源がオンになっている場合は、OPERATE ボタンを押してオフにしてください。スキャナの電源ボタンについては、ご利用のスキャナに付属の取扱説明書を参照してください。

ES-6000H/HS の場合



ES-9000H の場合

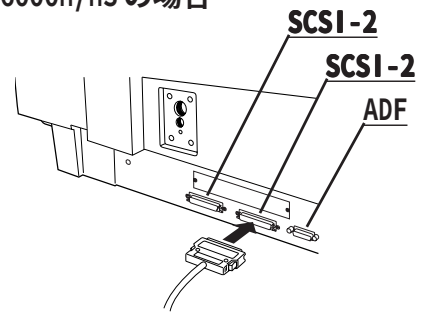
注意

スキャナの電源をオフにして、作業を行なってください。

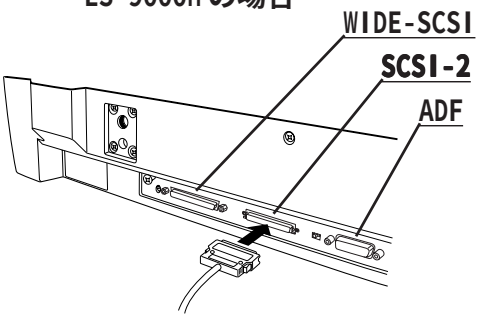
### 2 本機に同梱のスキャナケーブルの一方をスキャナのSCSI-2コネクタに接続します。

カチッと音がするまで差し込んでください。
SCSI-2 コネクタが 2 つある場合は、どちらに接続してもかまいません。

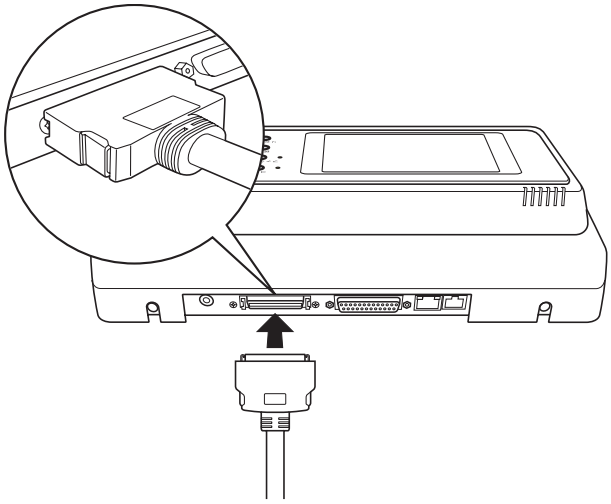
ES-6000H/HS の場合




ES-9000H の場合



3 スキャナケーブルのもう一方のコネクタを、本機背面のスキャナケーブル接続コネクタに接続します。カチッと音がするまで差し込んでください。



以上で、本機とスキャナの接続は終了です。

## プリンタの接続

プリンタと本機の接続には、次のものが必要です。

●本機に同梱のプリンタケーブル
（ECP モード対応 25P-36P プリンタケーブル）

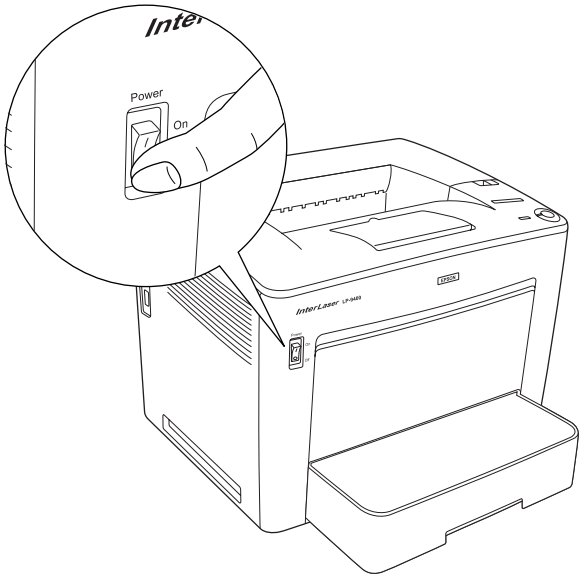
注意

接続上のご注意
- プリンタの電源は、必ずオフにして作業を行ってください。
- 同梱のプリンタケーブルを使用しない場合、ECP モードに対応したプリンタケーブルをお使いください。ケーブルが ECP モードに対応していないと、本機とプリンタが通信できないため、本機を使用することができません。
- プリンタをパソコンに直接接続して使用する場合は、本機と接続しているプリンタケーブルを外して、プリンタとパソコンを接続してください。
- プリンタ切り替え器等は使用しないでください。プリンタ切り替え器を介して接続していると、プリンタが正常に動作しない場合があります。
- プリンタに IEEE1284 双方向パラレルインタフェースカード（PRIF5E）を装着している場合、本機はプリンタ標準のパラレルインタフェースカードに接続してください。

# スキャナとプリンタの接続

**1** プリンタの電源がオフ（○）になっていることを確認します。
電源がオンになっている場合は、オフにしてください。

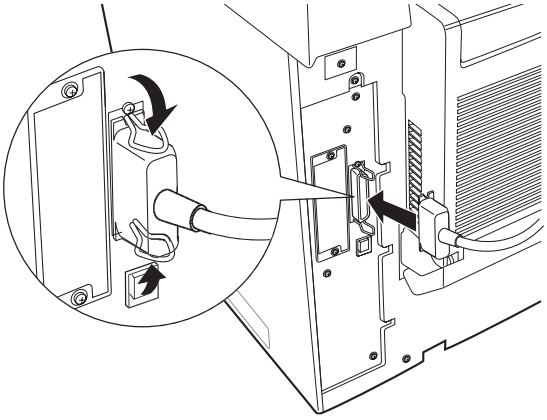
例）LP-9400



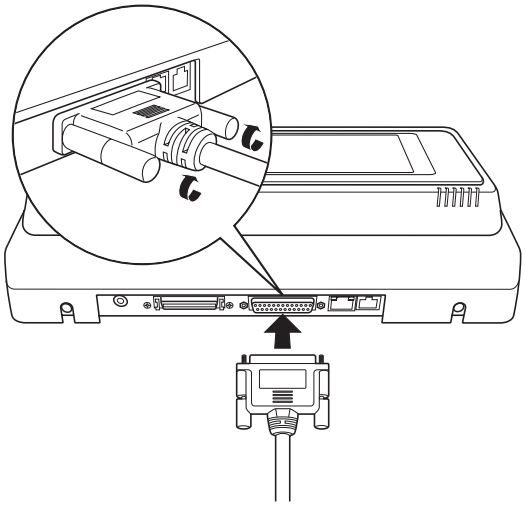

注意 プリンタの電源をオフにして、作業を行なってください。

**2** プリンタケーブルのコネクタ（ネジのない方）を、プリンタのパラレルインタフェースコネクタに接続し、コネクタ両脇のクリップで固定します。

例）LP-9400

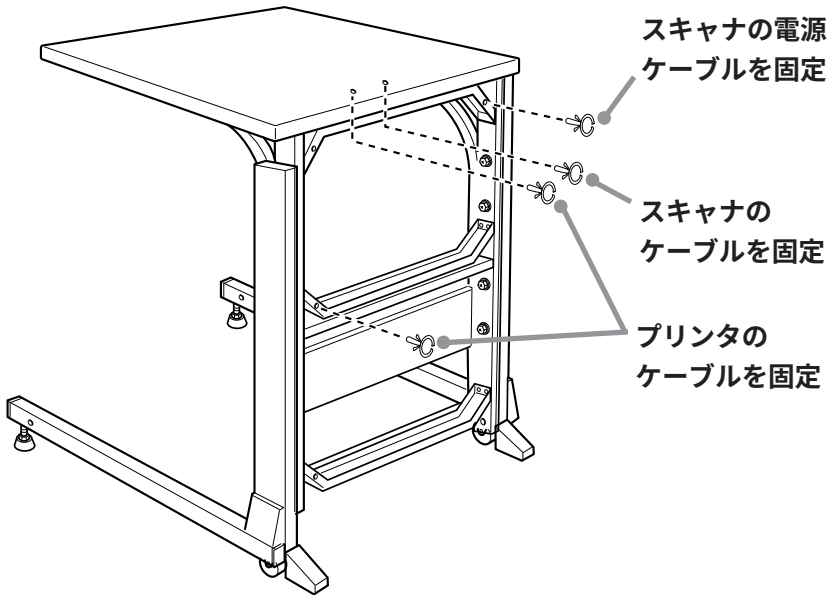


3 プリンタケーブルのもう一方のコネクタ（ネジのある方）を、FITCOPY背面右側のコネクタに接続し、コネクタ両脇のネジで固定します。



以上で、本機とプリンタの接続は終了です。

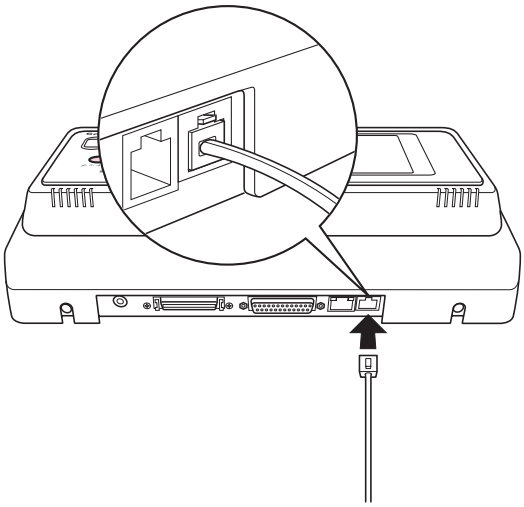
オプションの専用スキャナスタンド（エプソンCSCBN7A）を使用している場合、専用のスキャナスタンドのクランプを使って、下図のようにケーブルを固定してください。



# 電話回線の接続

本機に電話回線を接続します。電話線を準備してください。

**1** 電話線を図のように、本機の背面右端のコネクタに接続します。



注意

**接続上のご注意**

・ファクシミリ回線網、PBX 構内回線、ISDN 回線、NCC 回線には接続できません。

# 2章 概要

■目次


各機能の概要 ..... 2-2
本装置の機能概要 ..... 2-2
コピー概要 ..... 2-2
ファクス概要 ..... 2-3
■ファクス送信 ..... 2-3
■ファクス受信 ..... 2-3
各部の名称とはたらき ..... 2-4
■操作パネル部（正面） ..... 2-4
■操作パネル部（前面） ..... 2-5
■操作パネル部（裏面） ..... 2-5
CFカードの取り扱い ..... 2-6
ソフトウェアキーボード ..... 2-7
ソフトウェアキーボード画面 ..... 2-7
■入力モードの切り替え ..... 2-7
■カーソルの移動 ..... 2-7
■空白の入力 ..... 2-7
■入力文字の消去 ..... 2-7
■入力の終了 ..... 2-7
文字入力 ..... 2-8
■アルファベットの入力 ..... 2-8
■カタカナの入力 ..... 2-8
■記号の入力 ..... 2-9
■ひらがな／漢字の入力 ..... 2-9
■区点コードで入力 ..... 2-11
スキャナへセットする原稿の向き .... 2-12
製品導入時の設定 ..... 2-13
電源の投入 ..... 2-13
タッチパネルディスプレイの
コントラスト調整 ..... 2-14
タッチパネルの調整 ..... 2-15
■タッチパネルの再調整 ..... 2-16
スキャナ接続処理 ..... 2-17
プリンタ接続処理 ..... 2-18
装置の設定 ..... 2-19
■環境設定画面 ..... 2-19
■日付設定 ..... 2-20
■時刻設定 ..... 2-21
電源の遮断 ..... 2-22

## 本装置の機能概要

本装置には以下の機能が搭載されています。

### 主機能

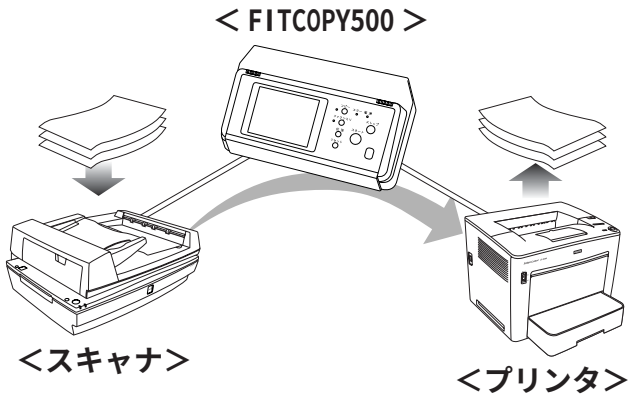
■コピー
■ファクス
（G3 ファクス送信／ファクス受信）

### 補助機能

■アドレス帳
■グループ送信
■環境設定

## コピー概要

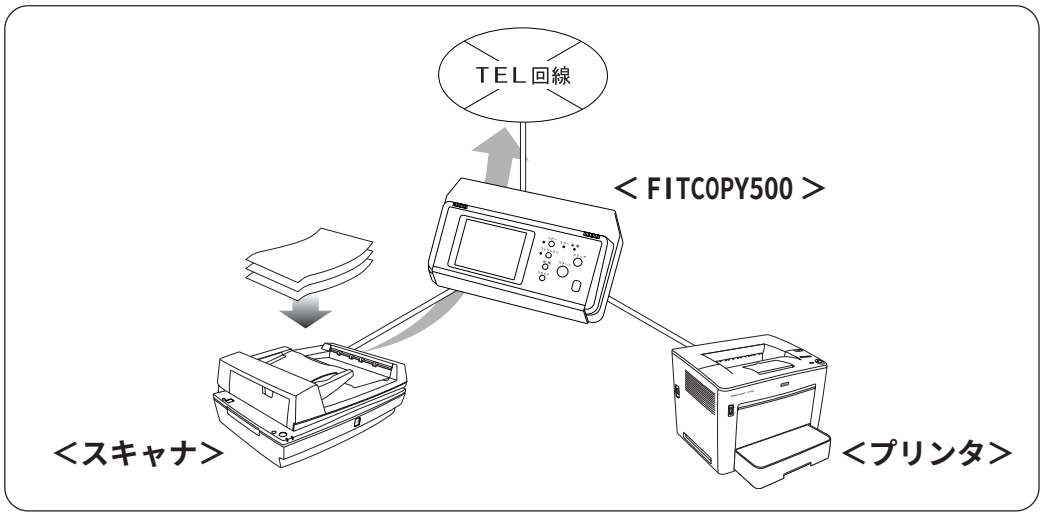
スキャナよりスキャンしたデータを、プリンタから印刷することにより、コピーをとることができます。また、スキャナにオプションの ADF を装着、プリンタにオプションの両面印刷ユニットを装着することで、両面原稿のコピーが行なえます。



# ファクス概要

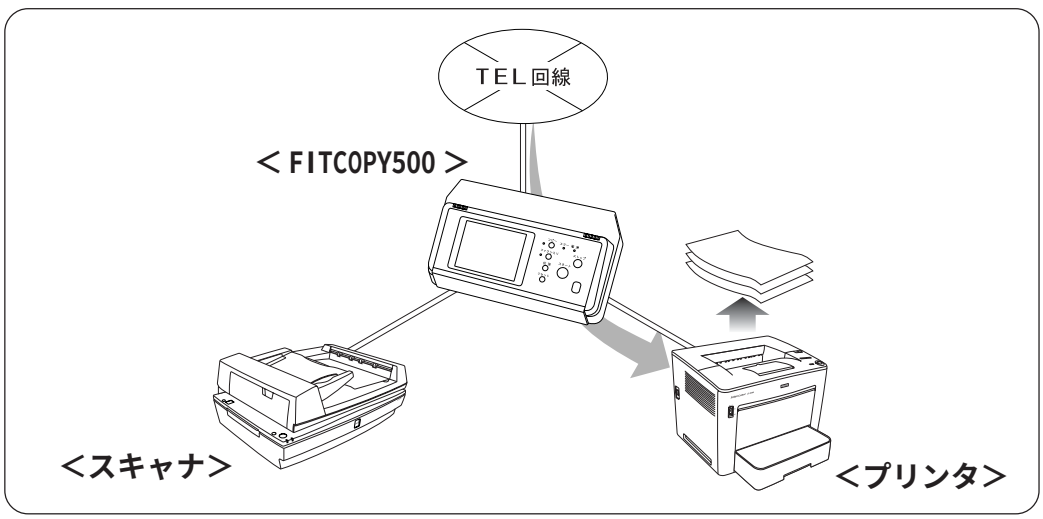
## ■ファクス送信

スキャナよりスキャンしたデータを、ファクス送信します。スキャナにオプションのADFを装着することで、両面原稿のファクス送信が行なえます。また、Fコード送信にも対応しています。



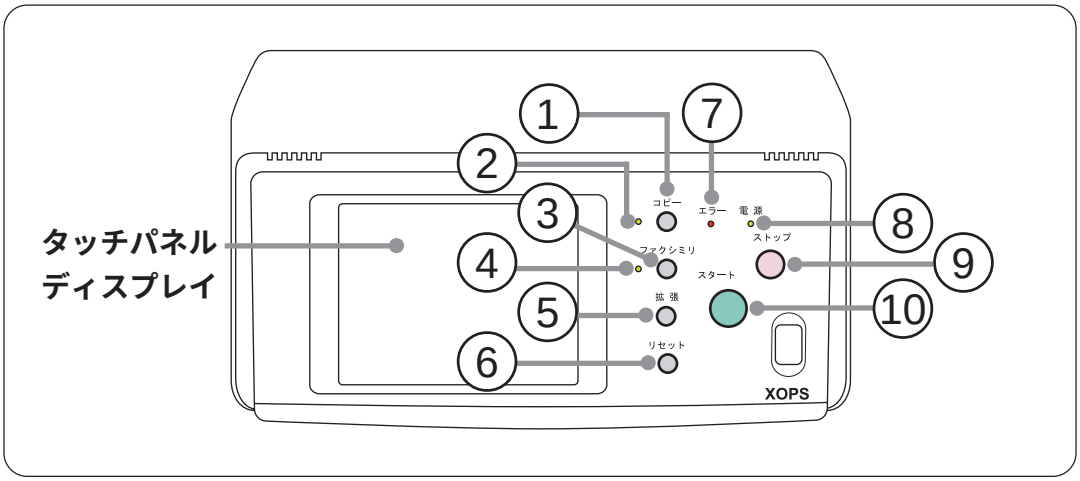

## ■ファクス受信

受信ファクスは、本機内のCFカードに一度保存したあと、モノクロレーザプリンタで印刷します。また、ファクス受信時にプリンタの電源がオフなっていた場合は、自動的にメモリ受信となり、後でメモリ印刷を行なうことで、受信ファクスを取り出させます。



## 各部の名称とはたらき

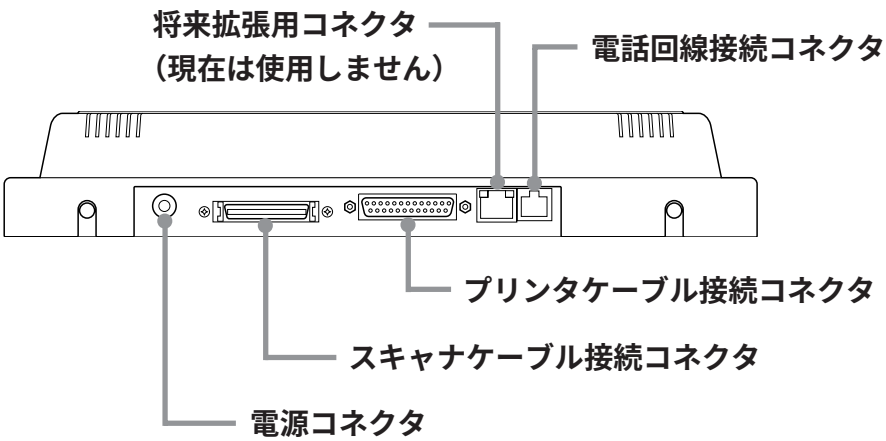
### ■操作パネル部（正面）




| No | 名称 | 説明 |
|---|---|---|
| ① | 「コピー」ボタン | コピーモードに切り替えます。 |
| ② | 「コピー」ランプ | 点灯：コピーモードです。<br>点滅：コピー動作中です。 |
| ③ | 「ファクシミリ」ボタン | ファクスモードに切り替えます。 |
| ④ | 「ファクシミリ」ランプ | 点灯：ファクスモードです。<br>点滅：ファクス送受信中です。 |
| ⑤ | 「拡張」ボタン | 他のボタンと組み合わせて使用します。 |
| ⑥ | 「リセット」ボタン | 設定などを設定保存された状態にリセットします。<br>データ入力中は、入力エリアのデータをクリアします。 |
| ⑦ | 「エラー」ランプ | 何らかのエラーが発生したことを示します。<br>消灯：本機は正常に動作しています。<br>点灯／点滅：本機にエラーが発生しています。<br>●「エラーメッセージ一覧」→6-2ページ |
| ⑧ | 「電源」ランプ | 本機の動作状態を示します。<br>消灯：本機が電源オフの状態です。<br>点灯：本機を使用可能な状態です。<br>点滅：ファクス受信データがあります。 |
| ⑨ | 「ストップ」ボタン | コピー／ファクス送信を中断します。 |
| ⑩ | 「スタート」ボタン | コピー／ファクス送信を開始します。 |

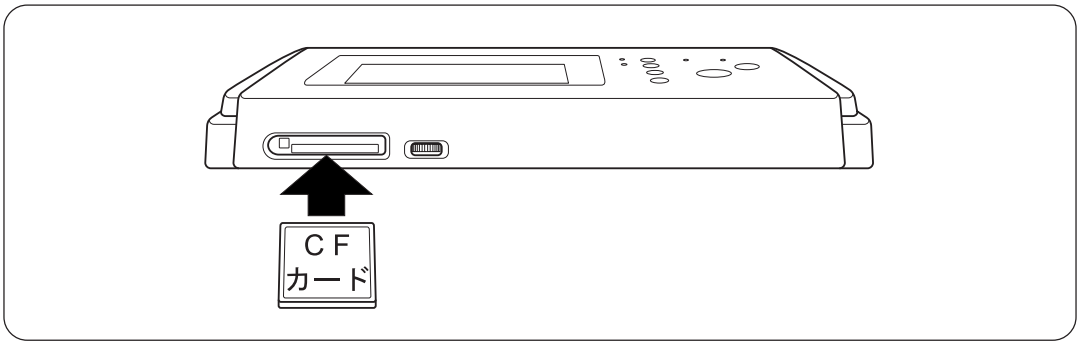
## ■操作パネル部（前面）

## ■操作パネル部（裏面）



## CF カードの取り扱い

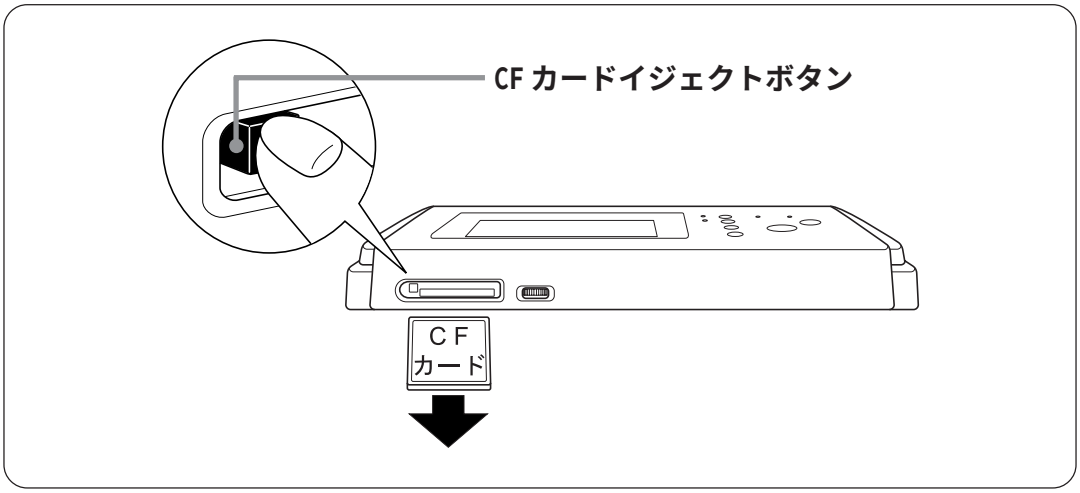
本機には、コンパクトフラッシュカード（以下 CF カード）が装着されています。




注意

CF カードの向きを間違えると、スロットの奥まで差し込めません。CF カードを奥まで差し込めないときは、無理に差し込まないでください。破損する場合があります。奥まで差し込めないときは、CF カードの方向を確かめ、再度挿入してください。

CF カードを抜く場合は、本機の電源をオフにしてから、CF カードスロットの横にある CF カードイジェクトボタンを押してください。また、CF カードを挿入するときも、本機の電源がオフの状態で行なってください。 ●「電源の遮断」 →2-22 ページ




メモ

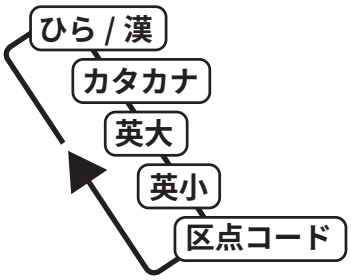
起動時に CF カードが本機に装着されていない場合、CF カードエラーを通知する画面を表示します。CF カードを本機に挿入して［再チェック］ボタンを押してください。
また、本機の電源の遮断を正しく行なわなかった場合にも、同様の画面が表示されます。この場合は、［CF 初期化］ボタンを押して CF カードの初期化を行なってください。

## ソフトウェアキーボード画面

タッチパネルディスプレイにソフトウェアキーボードが表示された場合は、ソフトウェアキーボードから文字入力を行なうことができます。

### ■入力モードの切り替え

入力モード切替ボタン［ひら / 漢］を押すと、次の順に入力モードとボタン表示が切り替わります。入力場面によっては、表示されないボタンがあります。



### ■カーソルの移動

[←]，[→] ボタンを押すと、カーソルがそれぞれ一文字分、左右に移動します。

### ■空白の入力

[空白] ボタンを押すと、空白（半角）が入力されます。

### ■入力文字の消去

[Back space] ボタンを押すと、入力済みの文字列を、後ろから一文字削除します。

リセット ボタンを押すと、入力済みの文字列を全て削除します。

### ■入力の終了

[終了] ボタンを押します。

# 文字入力

## ■アルファベットの入力

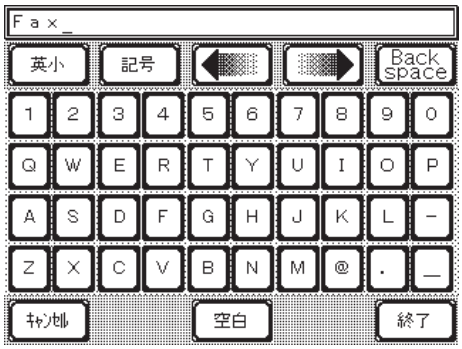
例：「Ｆａｘ」を入力

1 入力モード切替ボタンを押して、「英大」モードへ切り替えます。

2 ［F］を入力します。

3 入力モード切替ボタンを押して、「英小」モードへ切り替えます。

4 ［A］［X］と入力します。
「Ｆａｘ」と表示されます。



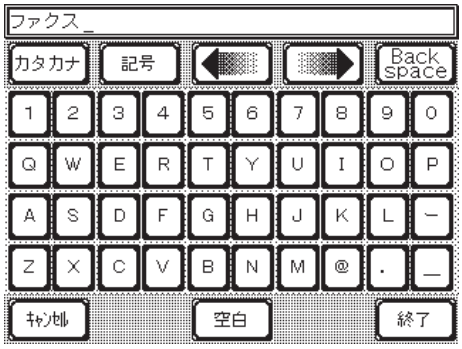

## ■カタカナの入力

例：「ファクス」を入力

1 入力モード切替ボタンを押して、「カタカナ」モードへ切り替えます。

2 ［F］［A］［K］［U］［S］［U］と入力します。

3 「ファクス」と表示されます。



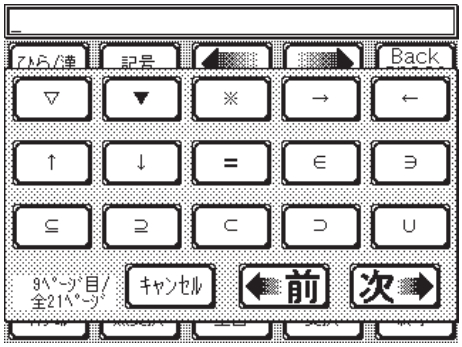
## ■記号の入力

例：「※」を入力

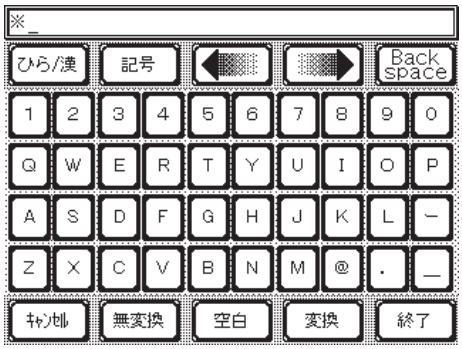
1 ［記号］ボタンを押し、記号モードへ切り替えます。

2 ［次→］ボタンを 8 回押し、
「9 ページ目 /21 ページ」へ切り替えます。

3 画面中央の［※］ボタンを押して、
選択します。
［キャンセル］ボタンを押すと、前の画面に戻ります。




「 ※ 」と表示されます。

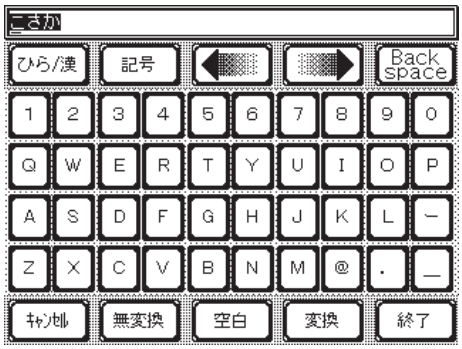



## ■ひらがな／漢字の入力

例：「こさか支店」を入力

1 入力モード切替ボタンを押して、「ひら / 漢」モードへ切り替えます。

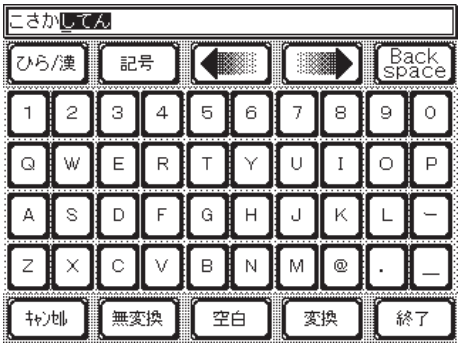
2 ［K］［O］［S］［A］［K］［A］と入力し、
［無変換］ボタンを押してください。
「こさか」が確定されます。



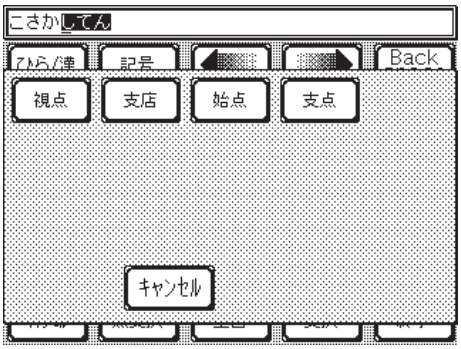
# ソフトウェアキーボード

**3** **[S] [I] [T] [E] [N] [N] と入力します。**
**「してん」と表示されます。**

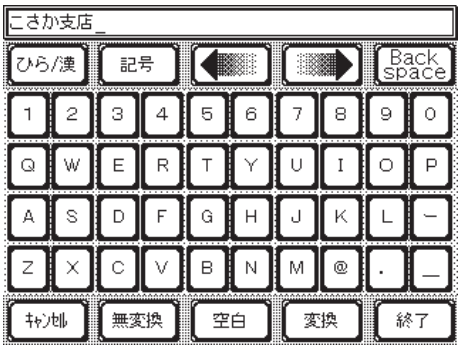
**[変換] ボタンを押してください。**




**4** **変換候補が表示されます。**
**変換候補の中から、[支店] ボタンを**
**押してください。**
**[キャンセル] ボタンを押すと、変換を確定**
**せずに、前の画面に戻ります。**




**5** **変換が確定され、「こさか支店」と**
**表示されます。**



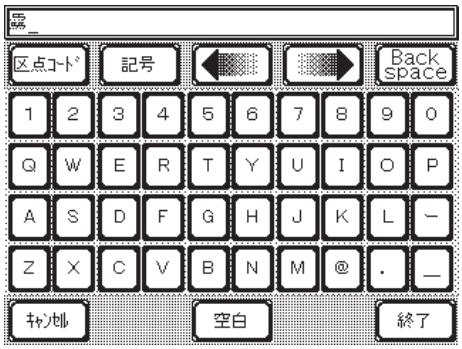
## ■区点コードで入力

区点コードで、文字を入力することができます。区点コード表を参照して入力してください。　（※本書には区点コード表はありません。）

例:「 鱶(とどろ) 」 区点コード[8174]を入力

1 入力モード切替ボタンを押して、
「区点コード」モードへ切り替えます。

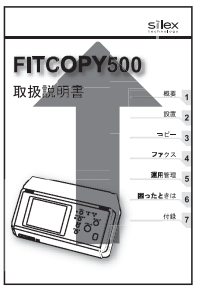
2 [8] [1] [7] [4] と入力すると、
「 鱶 」が表示されます。



# スキャナへセットする原稿の向き

◆スキャナへセットする原稿の向き

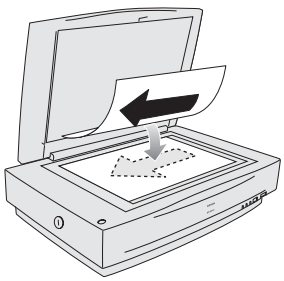
＜スキャン原稿＞



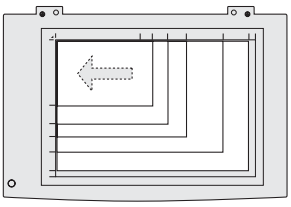

**原稿台**にセットする場合は、原稿の**表面を下**に、
**ADF** にセットする場合は、原稿の**表面を上**にして、
矢印の向きにセットします。



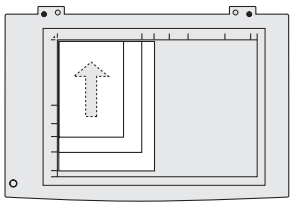
## 原稿台にセットする場合



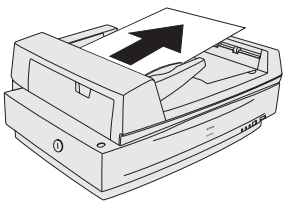
A3・B4・A4 横・
B5 横・A5 横



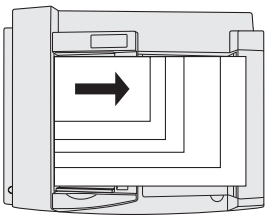
A4 縦・B5 縦・
A5 縦



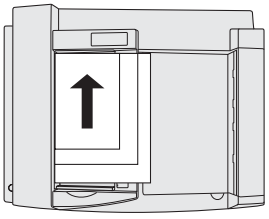
## ADF にセットする場合



A3・B4・A4 横・
B5 横・A5 横



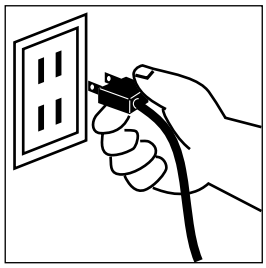
A4 縦・B5 縦・
A5 縦



## 電源の投入

1 プリンタ、スキャナの電源を投入します。

2 本機の AC アダプタをコンセントに差し込みます。

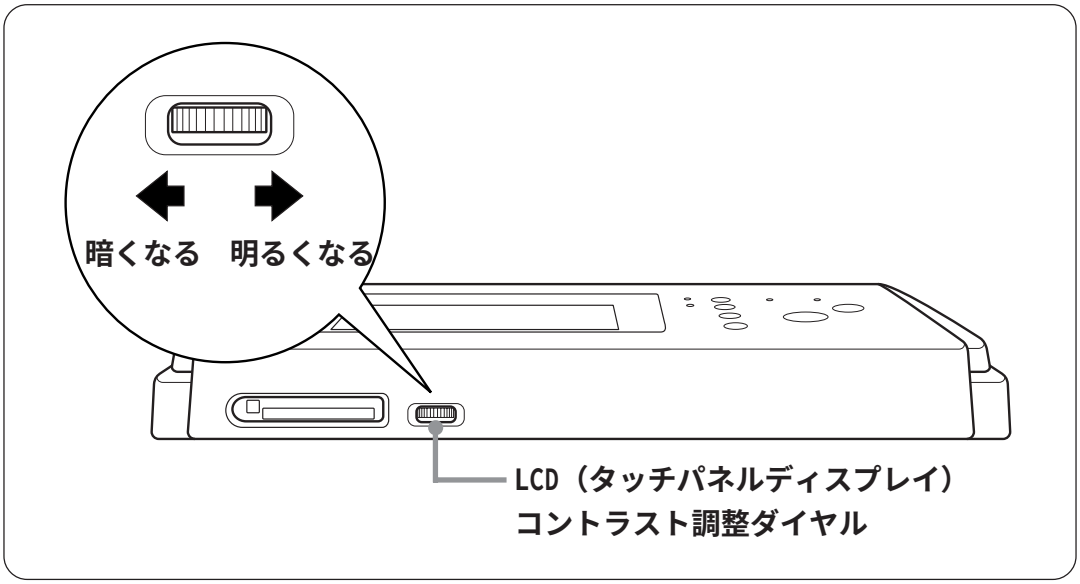


注意

起動が完了して、コピー基本画面が表示されるまで、本機の電源をオフにしないでください。

## タッチパネルディスプレイのコントラスト調整

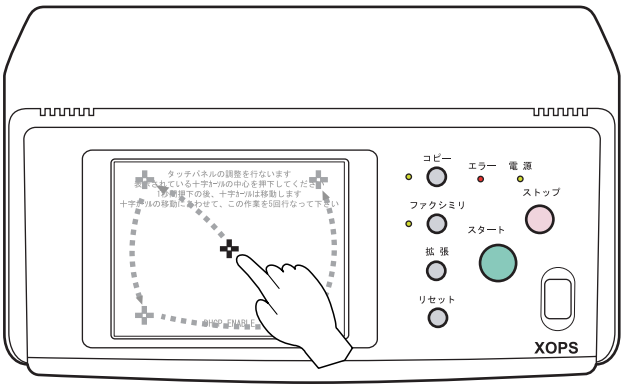
タッチパネルディスプレイのコントラスト調整は、操作パネルの前面にあるダイヤルで行ないます。本装置を使用する場所の環境に合わせて調整してください。



## タッチパネルの調整

電源を投入すると、タッチパネル調整値を保存していない場合、タッチパネルの調整画面が起動します。

**1** 画面中央に“＋”マークが表示されます。“＋”マークの中心を正確に指先で約1秒間押してください。“＋”マークは画面の「中央」→「左上」→「左下」→「右下」→「右上」の順に表示されます。5箇所のマークを順に押してください。




**2** その後、調整情報を保存するか否かの選択画面が表示されます。ここで［保存］ボタンを押して調整情報を保存してください。

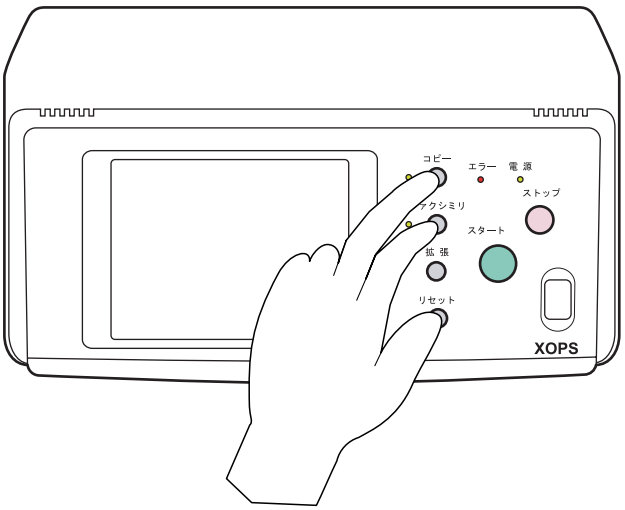
メモ

補正値を保存することで、次回以降の電源投入時におけるタッチパネルの補正操作が発生しなくなります。また、一度保存した補正値を再度調節することができます。

## ■タッチパネルの再調整

タッチパネルのボタンがききにくい、位置がずれている等の現象が発生する場合は、タッチパネルの再調整を行なってください。

1 ［コピー］＋［ファクシミリ］＋［リセット］ボタンを同時に押しながら電源を投入してください。ボタンは、タッチパネル調整画面が表示されるまで押しつづけてください。




2 再度タッチパネル調整の設定を行なった後、［保存］ボタンを押して調整情報を保存してください。

## スキャナ接続処理

**1** 電源を投入すると、本機はスキャナとの接続処理を行ないます。

スキャナとの接続が成功すると、本機はプリンタ接続処理を行ないます。
次のページの「プリンタ接続処理」へ進んでください。

**2** スキャナとの接続に失敗した場合は、右の画面が表示されます。
[再検索] ボタンを押すと、本機は再度スキャナとの接続を行ないます。
[検索スキップ] ボタンを押すと、本機はスキャナを検索せずに起動します。

メモ

検索をスキップした場合、起動後、スキャナ利用時にスキャナ接続処理を行ないます。

注意

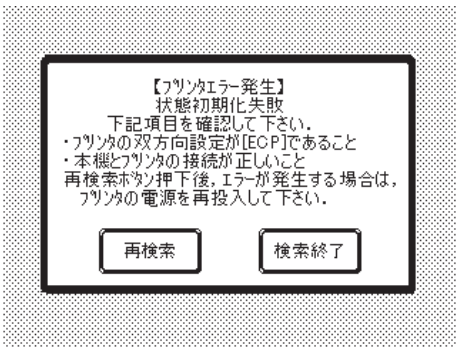
・スキャナの SCSI ID は 7 番以外に設定してください。
・TERMINATOR S/W（ターミネータスイッチ）を ON に設定してください。
設定方法につきましては、ご利用の製品に付属の取扱説明書をご覧ください。

## プリンタ接続処理

**1** スキャナとの接続処理が終わると、次にプリンタ接続処理を行ないます。

プリンタとの接続が成功すると、本機はファクスモードで起動します。
次のページの「装置の設定」へ進んでください。

**2** プリンタとの接続に失敗した場合は、右の画面が表示されます。
[再検索] ボタンを押すと、本機は再度プリンタとの接続を行ないます。
[検索終了] ボタンを押すと、本機はプリンタを検索せずに起動します。




メモ

検索をスキップして本機を起動することができますが、プリンタをご利用になられる場合は、電源投入時にプリンタ接続処理を完了させてください。

注意

- 本機に同梱のプリンタケーブルを使用しない場合、ECP モードに対応したプリンタケーブルをお使いください。ケーブルが ECP モードに対応していないと、本機とプリンタが通信できないため、本機を使用することができません。
- プリンタをパソコンに直接接続して使用する場合は、本機と接続しているプリンタケーブルを外して、プリンタとパソコンを接続してください。
- プリンタ切り替え器等は使用しないでください。プリンタ切り替え器を介して接続していると、プリンタが正常に動作しない場合があります。
- プリンタに IEEE1284 双方向パラレルインタフェースカード（PRIF5E）を装着している場合、本機はプリンタ標準のパラレルインタフェースに接続してください。
- プリンタのパラレル I/F を「使う」にしてください。
- プリンタの双方向設定を「ECP」モードにしてください。

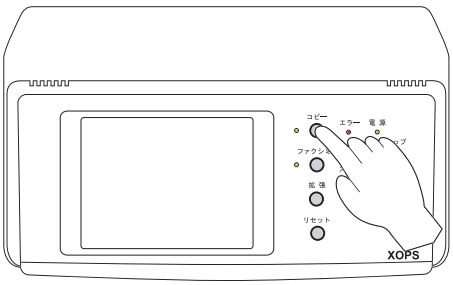
設定方法につきましては、ご利用の製品に付属の取扱説明書をご覧ください。

## 装置の設定

環境設定画面で、本機の環境設定を行ないます。

### ■環境設定画面

**1** コピーモード中に[コピー]ボタンを押します。

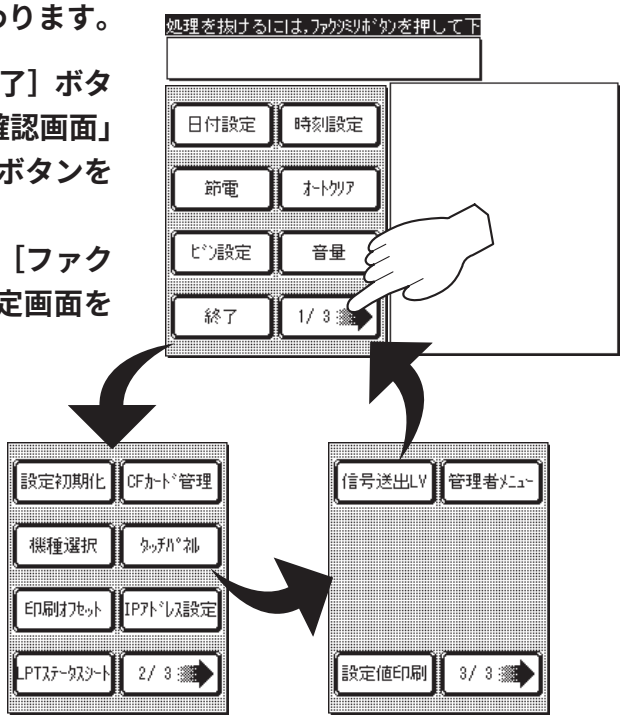



メモ

ファクスモード中に［ファクシミリ］ボタを押しても、環境設定画面に入ることができます。

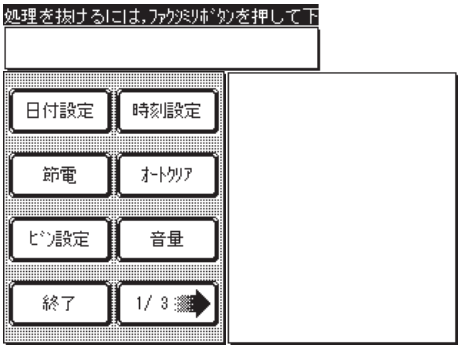
**2** 環境設定画面が表示されます。
［1／3→］ボタンを押すごとに、
「2／3→」、「3／3→」と切り替わります。

環境設定画面を抜ける場合は、［終了］ボタン押下後に表示される「電源遮断確認画面」にて［コピー画面］／［FAX画面］ボタンを押してください。
また、操作パネル上の［コピー］／［ファクシミリ］ボタンを押しても環境設定画面を抜けることができます。

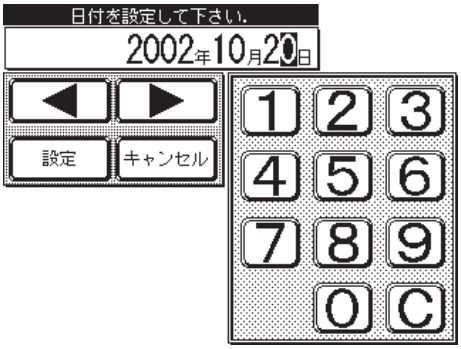


## ■日付設定

**1** 環境設定画面－1／3ページにて、
［日付設定］ボタンを押します。




**2** ［◀］または［▶］ボタンでカーソルを移動させ、テンキーで日付を入力してから、［設定］ボタンを押します。
環境設定画面に戻ります。

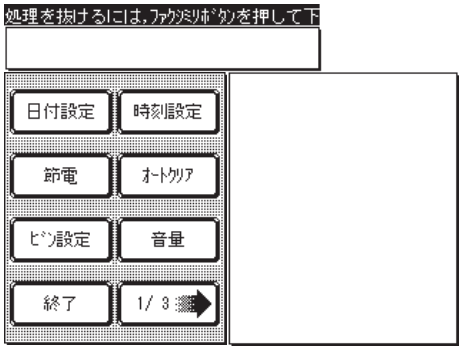



メモ

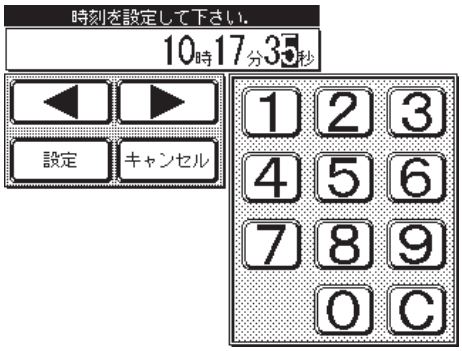
西暦は4桁、月日は2桁で入力してください。入力した値が不正な場合は、入力が受け付けられません。　例：7月→07月

## ■時刻設定

**1** 環境設定画面－1／3ページにて、[時刻設定] ボタンを押します。



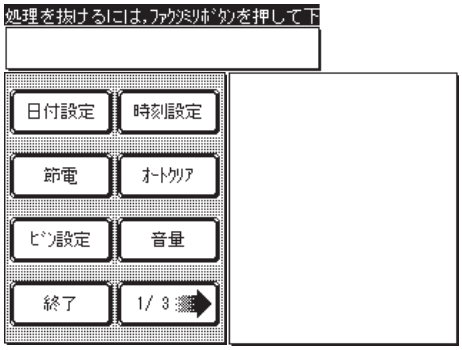

**2** [◀] または [▶] ボタンでカーソルを移動させ、テンキーで時刻を入力してから、[設定] ボタンを押します。




メモ

時刻は、24時間形式の2桁で入力してください。入力した値が不正な場合は、入力が受け付けられません。
例：午後3時→15時
例：午前9時→09時

**3** [終了] ボタン押下後に表示される「電源遮断確認画面」にて [FAX画面] ボタンを押して環境設定画面を抜けます。
[ファクシミリ] ボタンを押しても環境設定画面を抜けることができます。




これで製品導入時の設定は終わりです。
本機の電源をオフにする場合は、次のページの「電源の遮断」の指示に従ってください。

## 電源の遮断

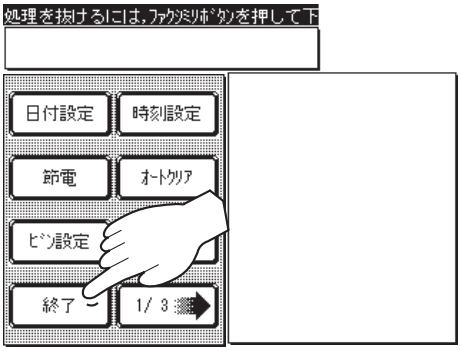
本機の電源をオフにします。

注意

本機の電源をオフにする場合は、必ず以下の手順で行なってください。
次回電源投入前に、プリンタと、スキャナをリセットしてください。
リセットの方法につきましては、ご利用の製品に付属の取扱説明書をご覧ください。



**1** 環境設定画面－1／3ページにて、［終了］ボタンを押します。




**2** ［電源オフ］ボタンを押します。

**3** 本機の電源をオフにする準備ができました。

**4** AC アダプタをコンセントから抜きます。

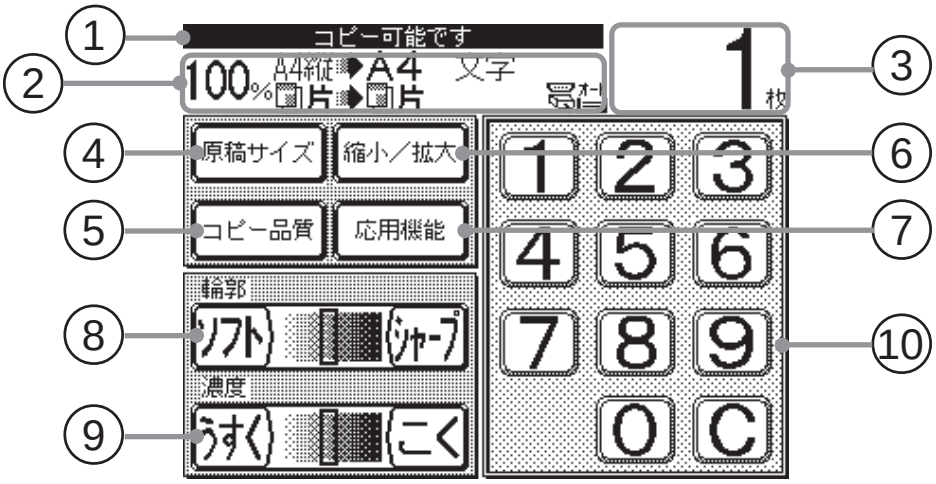
# 3章 コピー

## ■目次


画面 ..... 3-2
コピー基本画面 ..... 3-2
応用機能画面 ..... 3-3
コピーの準備 ..... 3-4
設定項目一覧 ..... 3-4
プリンタの接続状態について ..... 3-4
コピー ..... 3-5
コピーの手順 ..... 3-5
基本コピーの設定 ..... 3-6
原稿サイズ ..... 3-6
縮小拡大 ..... 3-7
■定型サイズ変倍 ..... 3-7
■倍率指定 ..... 3-8
■「ちいさめ」について ..... 3-8
コピー品質 ..... 3-9
輪郭 ..... 3-10
濃度 ..... 3-11
応用コピーの設定 ..... 3-12
設定値保存 ..... 3-13
■設定値印刷 ..... 3-13
両面コピー ..... 3-14
■「とじ位置」とは ..... 3-15
■原稿台から両面原稿を
スキャンする ..... 3-15
とじ代 ..... 3-16
ページ連写 ..... 3-17
縮小レイアウト ..... 3-18
ページソート ..... 3-19
特殊機能 ..... 3-20
コピー解像度 ..... 3-21
給紙トレイ ..... 3-22
コピー履歴 ..... 3-23
コピー履歴の確認 ..... 3-23
■履歴を印刷する ..... 3-24

## コピー基本画面

**1** コピー **ボタンを押して、コピーモードに切り替えます。**

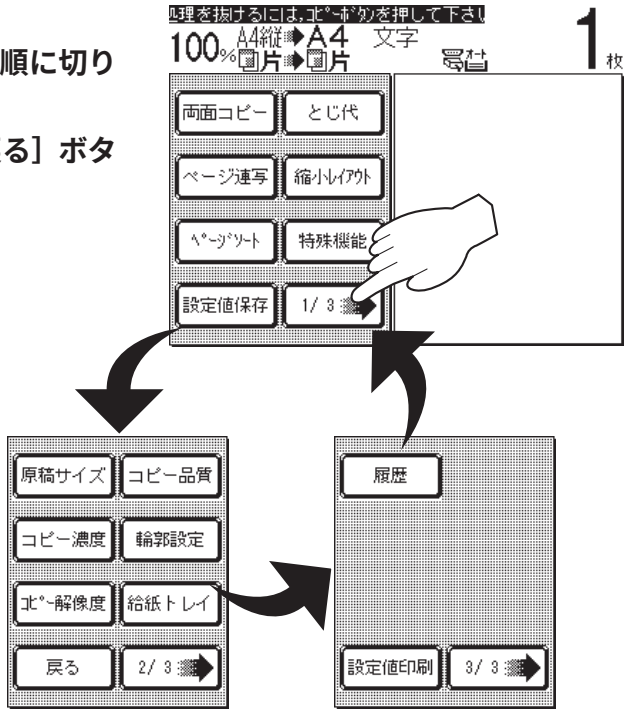



| No | 名称 | 説明 |
|---|---|---|
| ① | メッセージ表示 | メッセージや動作状況を表示します。 |
| ② | ステータス表示 | 設定されている機能や状態を、アイコンで表示します。 |
| ③ | コピー部数表示 | コピー部数を表示します。 |
| ④ | 原稿サイズ | 原稿のサイズを設定します。 |
| ⑤ | コピー品質 | コピーの品質を設定します。 |
| ⑥ | 縮小／拡大 | コピーの縮小／拡大を設定します。 |
| ⑦ | 応用機能 | 応用機能を呼び出します。 |
| ⑧ | 輪郭 | コピーの輪郭を設定します。 |
| ⑨ | 濃度 | コピーの濃度を設定します。 |
| ⑩ | テンキー | コピー枚数を入力します。 |

# 応用機能画面

**1** コピー基本画面にて、［応用機能］ボタンを押します。

**2** ［1／3→］ボタンを押すごとに、「2／3ページ」、「3／3ページ」と順に切り替わります。
コピー基本画面に戻る場合は、［戻る］ボタンを押します。



## 設定項目一覧

コピー機能をご利用になる場合は、管理者が以下の設定を行なう必要があります。
表を参考にして、プリンタの接続形態に必要な設定を行なってください。

◆コピー機能の設定

○:必須／△:任意

| 設定項目 | ページ | 重要度 |
|---|---|---|
| コピー解像度 | 3-21 | △ |
| 給紙トレイ | 3-22 | ○ |

◆環境設定

○:必須／△:任意

| 設定項目 | ページ | 重要度 |
|---|---|---|
| 排紙位置 | 5-7 | △ |
| 印刷オフセット | 5-13 | △ |

スキャナの状態は、スキャナ使用時に本機が自動的に取得します。

## プリンタの接続状態について

本機は、選択中のプリンタの接続状態を監視しています。プリンタの接続状態は、
ステータス表示エリアにアイコンで表示します。

| アイコン | 説明 |
|---|---|
| | プリンタ接続中です。 |
| | プリンタ検索中です。 |
| | プリンタ接続失敗です。<br>プリンタの接続・設定を確認してください。または、<br>プリンタをオンライン（印刷可）にしてください。 |

## コピーの手順

**1** モード切り替え

コピー ボタンを押して、コピーモードに切り替えます。

**2** 原稿のセット

スキャナの原稿台、または ADF に原稿をセットします。

**3** コピー部数の入力

テンキーでコピー部数を入力します。

**4** 基本機能の設定

- ■原稿サイズ
- ■縮小拡大
- ■コピー品質
- ■輪郭
- ■濃度

→ 3-6 ～ 3-11 ページ

**5** 応用機能の設定

- ■両面コピー
- ■とじ代
- ■ページ連写
- ■縮小レイアウト
- ■ページソート
- ■特殊機能
- ■コピー解像度
- ■給紙トレイ

→ 3-14 ～ 3-22 ページ

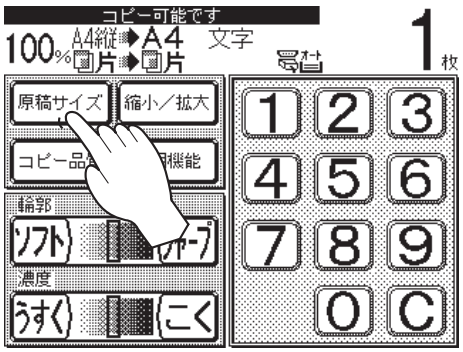
**6** コピースタート

スタート ボタンを押して、コピーを開始します。

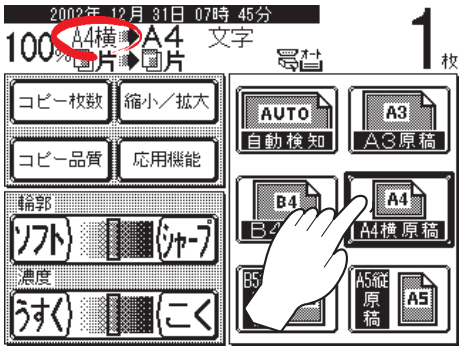
## 原稿サイズ

原稿サイズを設定します。

**1** コピー基本画面にて、
［原稿サイズ］ボタンを押します。




**2** 目的のサイズのボタンを押します。
選択中の設定は、ステータス表示のアイコンで確認できます。




| ボタン | 説明 |
|---|---|
| AUTO 自動検知 | 原稿台にセットされた原稿サイズに、自動設定します。原稿サイズ自動検知機能付きのADFや、原稿台での原稿サイズ検知対応スキャナをご利用時に選択できます。 |
| A3 A3原稿 / B4 B4原稿 | A3、B4原稿です。<br>A3、B4原稿の向きは横方向だけです。 |
| A4 A4横原稿 / B5 B5横原稿 / A5 A5横原稿 | A4、B5、A5、ハガキの横原稿です。<br>続けて押すと、原稿の向きが変わります。 |
| A4縦原稿 A4 / B5縦原稿 B5 / A5縦原稿 A5 | A4、B5、A5、ハガキの縦原稿です。<br>続けて押すと、原稿の向きが変わります。 |

メモ

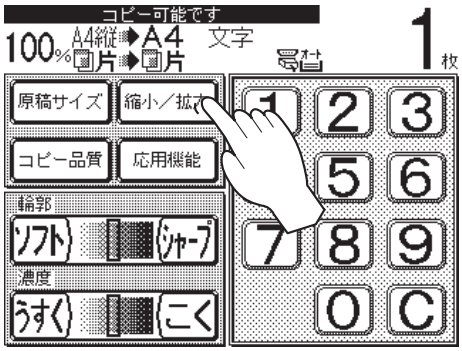
ここで設定した内容は、一時的な使用のための変更であり、設定時間が経過するとオートクリアされます。設定を保存するには、応用機能画面で「設定値保存」を行なう必要があります。
原稿サイズ設定で表示されるボタンは、本機に接続されているスキャナの能力により異なります。

# 縮小拡大

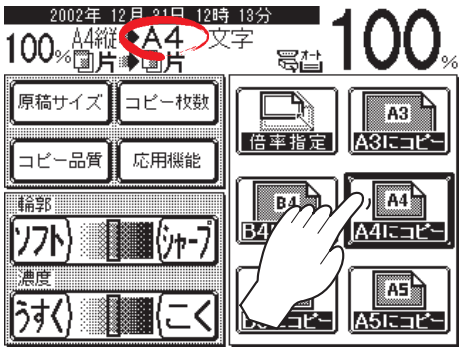
## ■定型サイズ変倍

スキャンした原稿を定型サイズに縮小／拡大します。

**1** コピー基本画面にて、
［縮小／拡大］ボタンを押します。




**2** サイズを選択します。
選択中の設定は、ステータス表示のアイコンで確認できます。




メモ

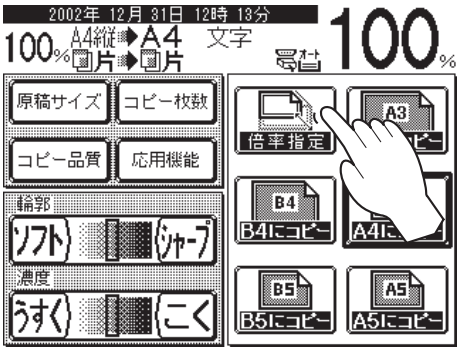
定型サイズを選択した後に「倍率指定」を行なうと、“A3用紙にA4原稿を120%拡大してコピーする”といったコピーが行なえます。この場合、スキャナの原稿サイズ自動検知機能は利用できません。

| ボタン | 説明 |
|---|---|
| A3 A3にコピー / B4 B4にコピー / A4 A4にコピー / B5 B5にコピー / A5 A5にコピー | スキャンした原稿を、選択したサイズに「縮小」／「拡大」してコピーします。<br>原稿と同じ大きさを選択した場合は、等倍になります。<br>ボタンを続けて押すと「ちいさめ」になります。 |
| A3 ちいさめ A3にコピー / B4 ちいさめ B4にコピー / A4 ちいさめ A4にコピー / B5 ちいさめ B5にコピー / A5 ちいさめ A5にコピー | スキャンした原稿を、選択したサイズより少し小さくコピーします。 |
| 倍率指定 | 倍率を指定してコピーします。<br>定形サイズ変倍と組み合わせることもできます。 |

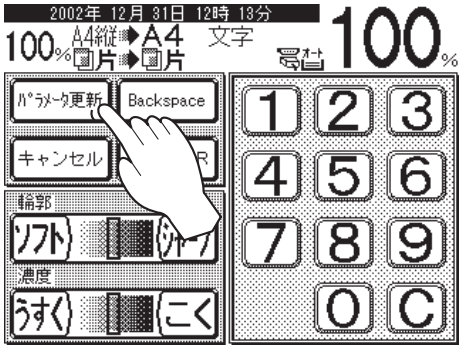
## ■倍率指定

倍率を指定します。

**1** ［倍率指定］ボタンを押します。




**2** テンキーで倍率を入力し、
［パラメータ更新］ボタンを押します。




メモ

倍率は1%刻みで、50%～200%の間で指定できます。

## ■「ちいさめ」について

プリンタは用紙の端の四辺（各5mm）を印刷できません。
「ちいさめ」は、原稿全体がプリンタの印刷範囲に収まるように、少し縮小してコピーする機能です。
用紙の端まで印刷されている原稿をコピーする場合に［ちいさめ］を選択すると、原稿より数%小さくなりますが、原稿全体をコピーすることができます。

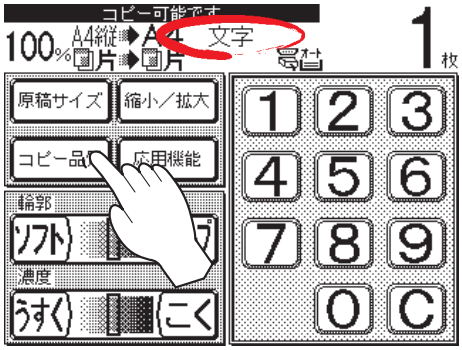
メモ

ここで設定した内容は、一時的な使用のための変更であり、設定時間が経過するとオートクリアされます。設定を保存するには、応用機能画面で「設定値保存」を行なう必要があります。

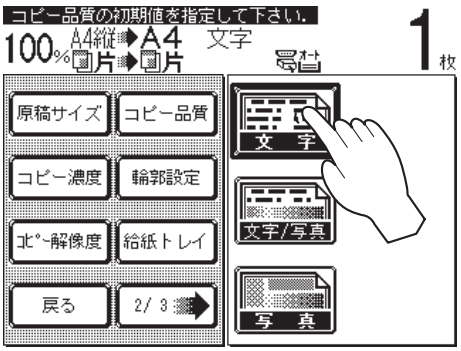
## コピー品質

原稿に合わせて、コピー品質を選択します。

**1** コピー基本画面にて、
［コピー品質］ボタンを押します。
ボタンを押すごとに、ステータス表示のアイコンが「文字」／「文字・写真」／「写真」に変わります。




◆応用機能からコピー品質を変更する場合は、[文字]／[文字・写真]／[写真]ボタンを押して、コピー品質を設定します。



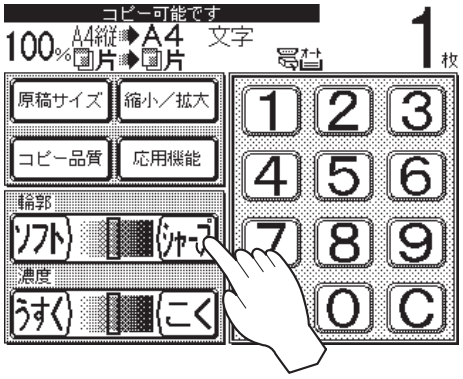

| ボタン | アイコン | 説明 |
|---|---|---|
| 文字 | 文字 | 通常の文字原稿に適しています。 |
| 写真 | 写真 | 写真のような濃淡のある原稿に適しています。 |
| 文字/写真 | 文字写真 | 文字と写真が混在した原稿に適しています。 |

メモ ここで設定した内容は、一時的な使用のための変更であり、設定時間が経過するとオートクリアされます。設定を保存するには、応用機能画面で「設定値保存」を行なう必要があります。

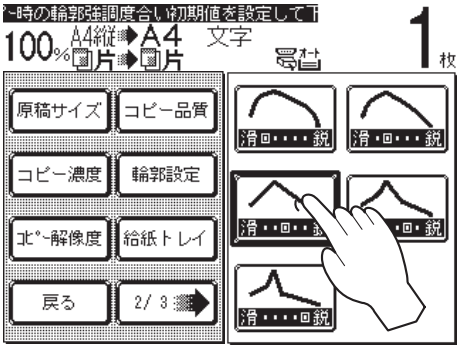
## 輪郭

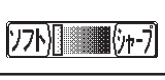
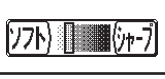
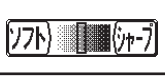
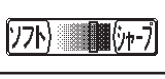
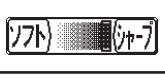
スキャナから原稿を読み込む際の輪郭強調レベルを設定することにより、画像全体をシャープ／ソフトな状態でコピーすることができます。

**1** コピー基本画面にて、
[ソフト] ／ [シャープ] ボタンを押します。




◆応用機能から輪郭を変更する場合は、それぞれの輪郭のボタンを押します。



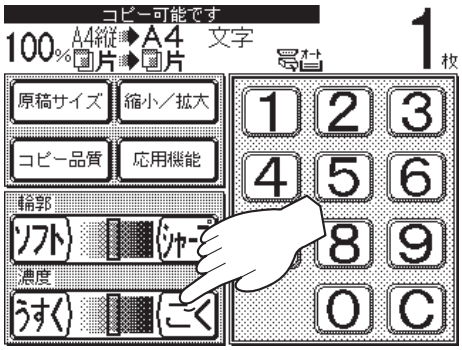

| ボタン | アイコン | 説明 |
|---|---|---|
| |  | ソフトな輪郭でコピーします。 |
| |  | ややソフトな輪郭でコピーします。 |
| |  | スキャンした輪郭のままコピーします。 |
| |  | ややシャープな輪郭でコピーします。 |
| |  | シャープな輪郭でコピーします。 |

メモ ここで設定した内容は、一時的な使用のための変更であり、設定時間が経過するとオートクリアされます。設定を保存するには、応用機能画面で「設定値保存」を行なう必要があります。

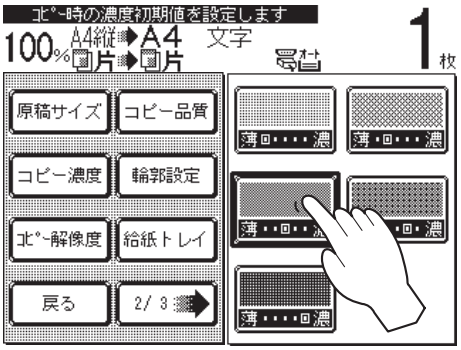
## 濃度

コピーの濃度を 5 段階で設定できます。

**1** コピー基本画面にて、
［うすく］／［こく］ボタンを押します。



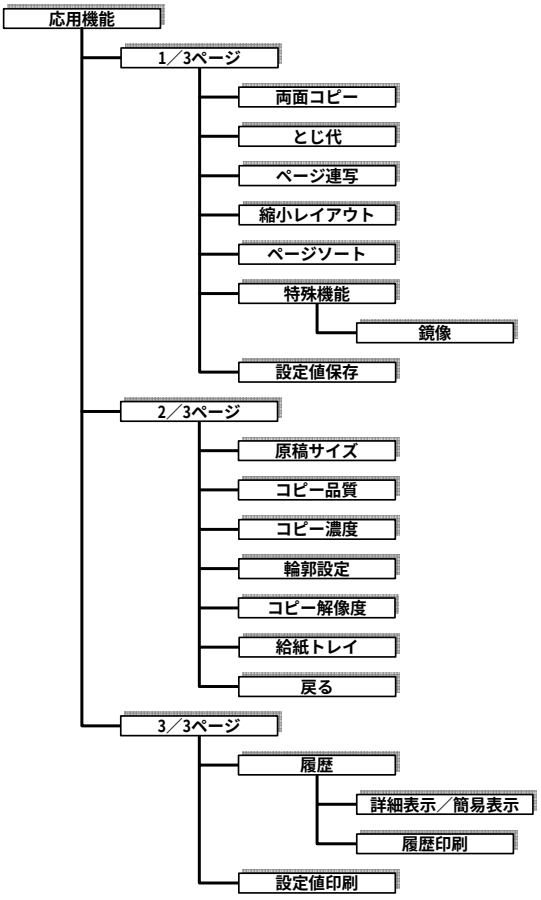

◆応用機能から濃度を変更する場合は、それぞれの濃度のボタンを押します。




| ボタン | アイコン | 説明 |
|---|---|---|
| 薄 濃 | うすく こく | うすい濃度でコピーします。 |
| 薄 濃 | うすく こく | ややうすい濃度でコピーします。 |
| 薄 濃 | うすく こく | スキャンした濃度のままコピーします。 |
| 薄 濃 | うすく こく | ややこい濃度でコピーします。 |
| 薄 濃 | うすく こく | こい濃度でコピーします。 |

メモ ここで設定した内容は、一時的な使用のための変更であり、設定時間が経過するとオートクリアされます。設定を保存するには、応用機能画面で「設定値保存」を行なう必要があります。

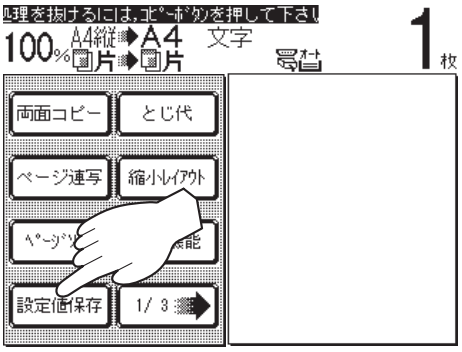
# 応用コピーの設定


応用機能
1／3ページ
両面コピー
とじ代
ページ連写
縮小レイアウト
ページソート
特殊機能
鏡像
設定値保存
2／3ページ
原稿サイズ
コピー品質
コピー濃度
輪郭設定
コピー解像度
給紙トレイ
戻る
3／3ページ
履歴
詳細表示／簡易表示
履歴印刷
設定値印刷

## 設定値保存

応用機能で行なった各種変更は、「設定値保存」を行なうことにより、本機のメモリに記憶されます。［リセット］ボタン押下やオートクリア、再起動を行なうと、設定保存されている状態に戻ります。

**1** コピー応用画面－1／3ページにて、［設定値保存］ボタンを押します。



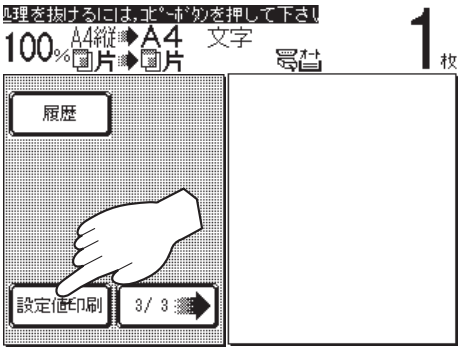

メモ

設定保存を行なわない場合は、［リセット］ボタン押下やオートクリア、再起動を行なうと設定値が失なわれます。

## ■設定値印刷

本機に設定されている設定値と設定保存値の印刷を行ないます。

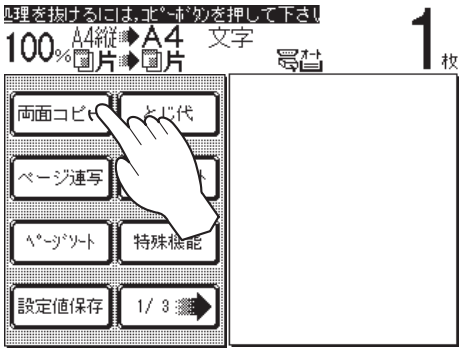
**1** コピー応用画面－3／3ページにて、［設定値印刷］ボタンを押します。



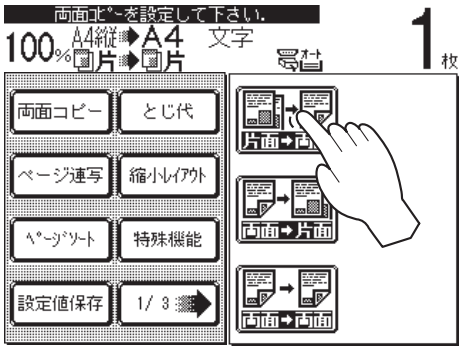
## 両面コピー

両面→片面、または片面→両面のコピーを行ないます。本機は両面読取式のADFを装着していないスキャナからも両面原稿のコピーができます。また、プリンタに両面ユニットが装着されている場合は、両面に印刷することができます。

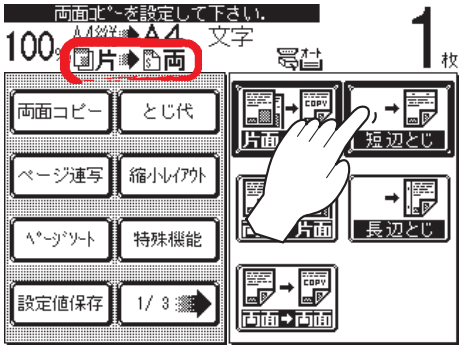
**1** コピー応用画面－1／3ページにて、［両面コピー］ボタンを押します。




**2** 両面の種類を選択します。




**3** とじ位置を選択します。
選択中の設定は、ステータス表示のアイコンで確認できます。



| ボタン | アイコン | 説明 |
|---|---|---|
| 選択なし | 片→片 | 原稿の片面を、用紙の片面にコピーします。 |
| 両面→片面 | 両→片 | 1枚の両面原稿を、2枚の用紙の片面にコピーします。<br>※スキャナに両面読取式のADF装着時のみ表示します。 |
| 片面→両面 | 片→両 | 2枚の片面原稿を、1枚の用紙の裏表にコピーします。<br>※プリンタに両面ユニット装着時のみ表示します。 |
| 両面→両面 | 両→両 | 両面原稿を、用紙の両面にコピーします。<br>※プリンタに両面ユニット装着時のみ表示します。 |
| 長辺とじ | | とじ位置を長辺に設定します。 |
| 短辺とじ | | とじ位置を短辺に設定します。 |

## ■「とじ位置」とは

両面原稿や両面に印刷を行なうとき、紙を裏返す支点となる所を指します。
[両面→片面] へコピーを行なうときにとじ位置を設定することにより、印刷の向きをそろえることができます。また、[片面→両面] へコピーを行なうときには、両面の印刷物のページをめくる向きを指定することができます。

## ■原稿台から両面原稿をスキャンする

1 両面原稿をスキャナにセットし、スタート ボタンを押します。

2 片面のスキャンが終ると、LCDパネルに原稿の裏返しを促すメッセージが表示されますので、指示にしたがって原稿を裏返します。

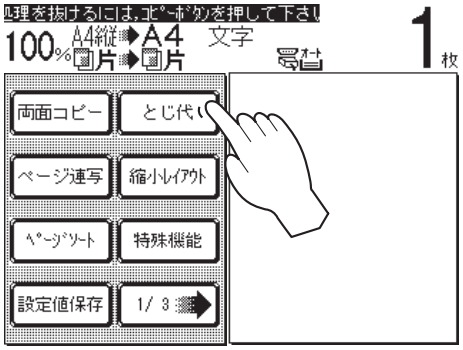
ポイント

[継続] ボタンを押すと裏面のスキャンを開始します。
[終了] ボタンを押すと、スキャン済みのコピーを印刷します。

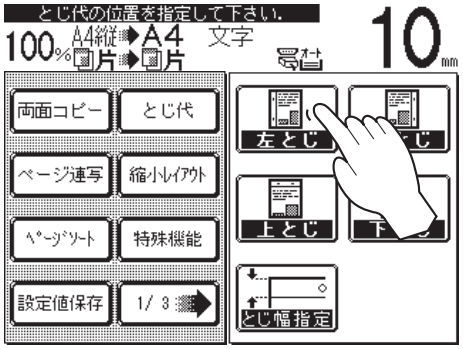
## とじ代

用紙の一辺に、とじるための余白を設けてコピーします。

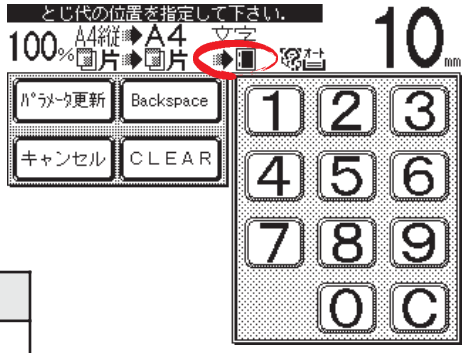
**1** コピー応用画面－1／3ページにて、
［とじ代］ボタンを押します。




**2** とじ位置を選択します。
とじ幅を変更する場合は、
［とじ幅指定］ボタンを押します。




**3** テンキーでとじ幅を入力し、
［パラメータ更新］ボタンを押します。

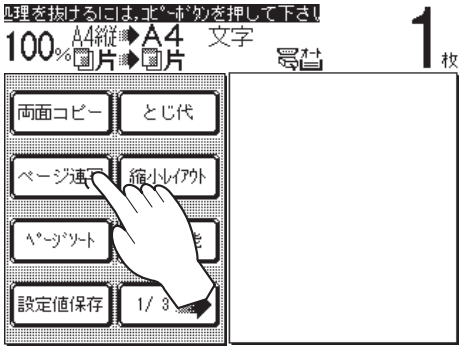



| ボタン | アイコン | 説明 |
|---|---|---|
| 左とじ | | 用紙の左側に余白を設けます。 |
| 右とじ | | 用紙の右側に余白を設けます。 |
| 上とじ | | 用紙の上側に余白を設けます。 |
| 下とじ | | 用紙の下側に余白を設けます。 |
| とじ幅指定 | | とじ幅を指定できます。<br>設定範囲は、0～99㎜です。 |

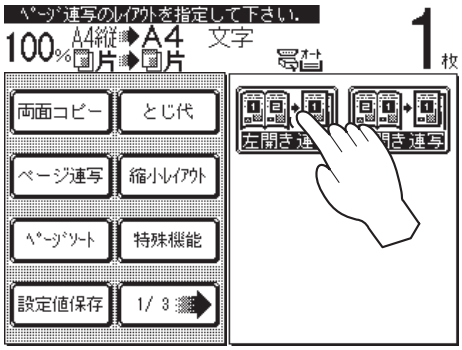
## ページ連写

雑誌や本などの見開き 2 ページの原稿を、2 枚の用紙に分割してコピーします。

**1** コピー応用画面－ 1 ／ 3 ページにて、
［ページ連写］ボタンを押します。




**2** ページ連写のレイアウトを選択します。
どちらも選択されていない場合は、ページ連写なしです。

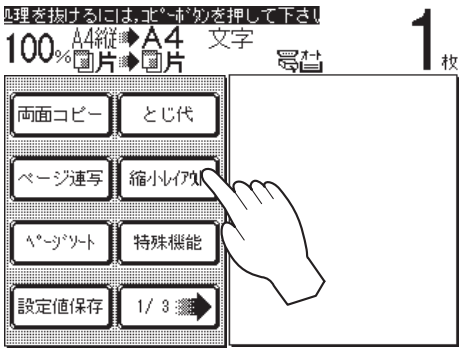



| ボタン | アイコン | 説明 |
|---|---|---|
| | | 左開き原稿をコピーします。<br>左ページが1枚目になります。 |
| | | 右開き原稿をコピーします。<br>右ページが1枚目になります。 |

## 縮小レイアウト

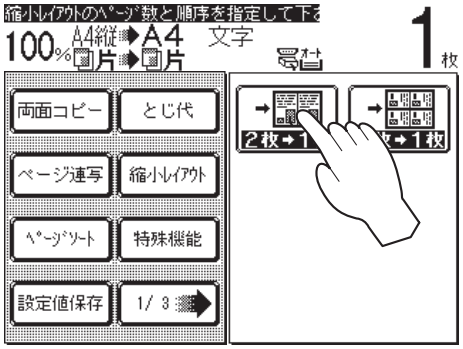
2枚／4枚の原稿を縮小して、1枚の用紙にコピーします。

**1** コピー応用画面－1／3ページにて、
［縮小レイアウト］ボタンを押します。

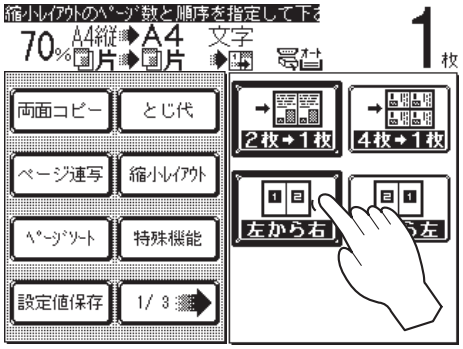



**2** ［2枚→1枚］／［4枚→1枚］を選択します。

| ボタン | 説明 |
|---|---|
| 2枚→1枚 | 原稿2枚を1枚の用紙にコピーします。 |
| 4枚→1枚 | 原稿4枚を1枚の用紙にコピーします。 |




**3** レイアウトのパターンを選択します。



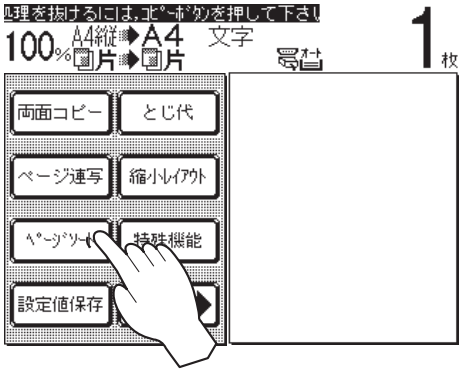

| ボタン | アイコン | 説明 |
|---|---|---|
| 左から右 | | 左から右の順にコピーします。 |
| 右から左 | | 右から左の順にコピーします。 |
| 上から下 | | 上から下の順にコピーします。 |
| 下から上 | | 下から上の順にコピーします。 |

| ボタン | アイコン | 説明 |
|---|---|---|
| 左上から右 | | 左上から右上、左下から右下の順にコピーします。 |
| 左上から下 | | 左上から左下、右上から右下の順にコピーします。 |
| 右上から左 | | 右上から左上、右下から左下の順にコピーします。 |
| 右上から下 | | 右上から右下、左上から左下の順にコピーします。 |

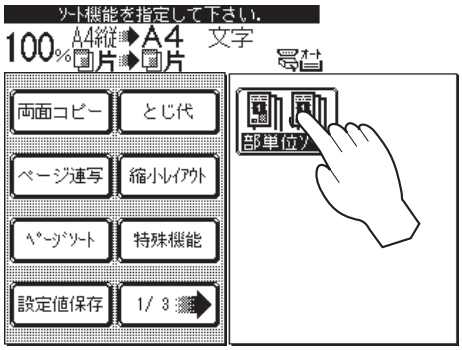
## ページソート

部数ごとにソートを行ない、コピーすることができます。

**1** コピー応用画面－1／3ページにて、[ページソート] ボタンを押します。




**2** ページソートの種類を選択します。
どちらも選択されていない場合は、ページソートなしです。

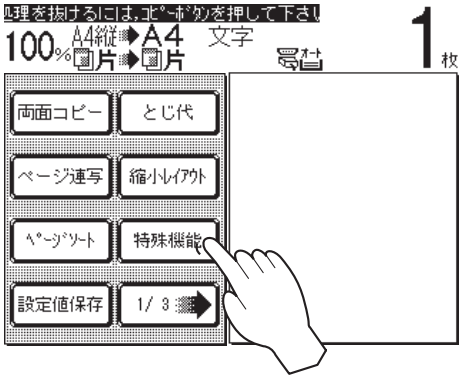



| ボタン | アイコン | 説明 |
|---|---|---|
| | | ご利用のプリンタのメモリを利用して、部単位ごとにソートコピーを行ないます。プリンタに搭載されているメモリが少ない場合は、ソートコピーを行なえないことがあります。メモリの増設方法については、ご利用のプリンタに付属の取扱説明書をご覧ください。 |

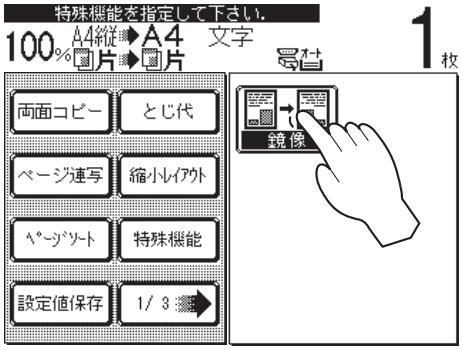
## 特殊機能

原稿に特殊な処理を加えてコピーすることができます。

**1** コピー応用画面－2／3ページにて、
［特殊機能］ボタンを押します。




**2** 特殊機能のオン／オフを選択します。

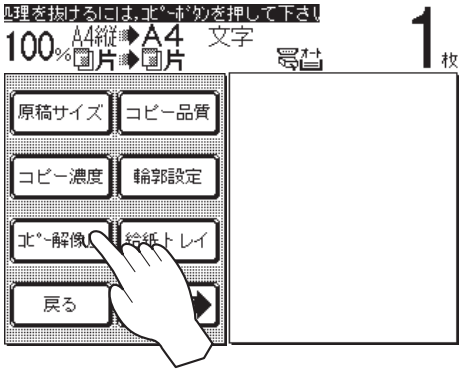



| ボタン | アイコン | 説明 |
|---|---|---|
| | 鏡 | 原稿の左右を反転させてコピーします。 |

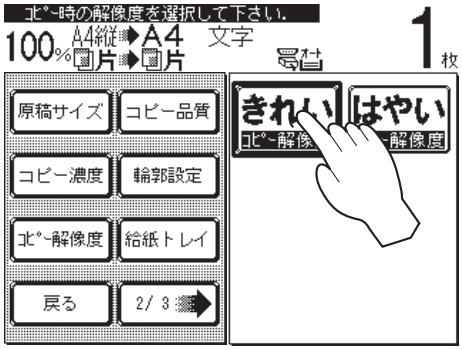
## コピー解像度

コピーの解像度を設定します。

**1** コピー応用画面－2／3ページにて、［コピー解像度］ボタンを押します。




**2** ［きれい］／［はやい］を選択します。

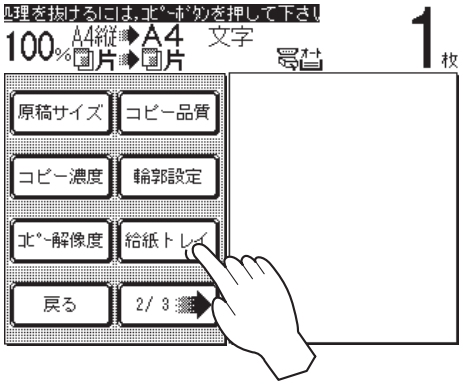



| ボタン | 説明 |
|---|---|
| はやい ｺﾋﾟｰ解像度 | 「きれい」に比べて解像度を落とすことで、コピー速度を速くします。 |
| きれい ｺﾋﾟｰ解像度 | 通常の解像度でコピーします。 |

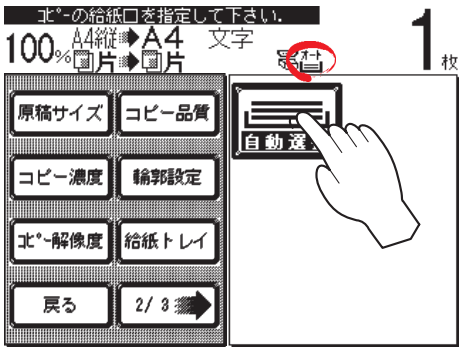
## 給紙トレイ

コピー用紙の給紙トレイを設定します。

**1** コピー応用画面－2／3ページにて、［給紙トレイ］ボタンを押します。




**2** 給紙モードを選択します。
［カセット優先］を選択した場合は、給紙するカセットも選択します。




メモ

プリンタの給紙装置から、用紙のセット状態を検出してボタン表示します。

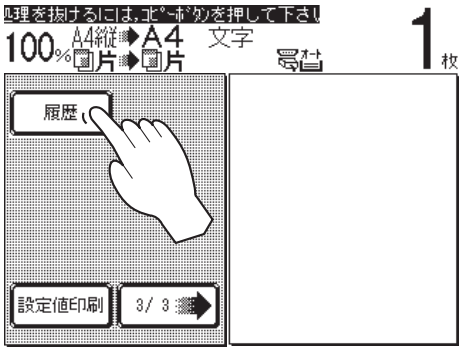
| ボタン | アイコン | 説明 |
|---|---|---|
| 自動選択 | オート | 給紙トレイ設定で選択したサイズの用紙がセットされている給紙装置を検出し、その給紙装置から給紙します。 |
| トレイ優先 | トレイ | 用紙トレイを優先して給紙します。トレイに用紙がセットされていない場合は、［自動選択］モードで給紙します。 |
| カセット優先 | 0 | 選択中の用紙カセットを優先して給紙します。選択したカセットに原稿サイズの用紙がセットされていない場合は、［自動選択］モードで給紙します。 |
| カセット1 | 0 | 上記の［カセット優先］を選択した場合の給紙カセットを指定します。ボタンに用紙サイズ、アイコンの上にカセットの番号を表示します。 |

# コピー履歴

## コピー履歴の確認

コピーの履歴を確認します。

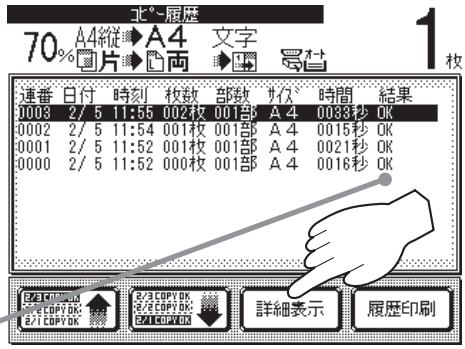
**1** コピー応用画面－３／３ページにて、
［履歴］ボタンを押します。




**2** コピー履歴が表示されます。
［↑］［↓］ボタンを押すとスクロールします。
詳細な履歴を確認する場合は、［詳細表示］
ボタンを押してください。

メモ

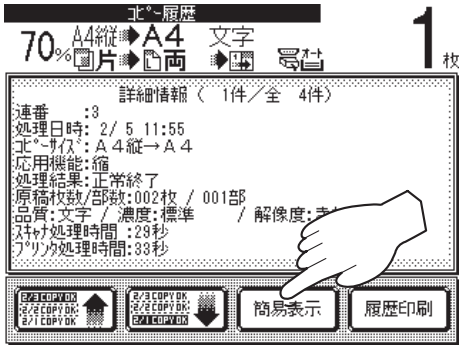
最大表示件数は、100 件です。




**結果について**

| | | |
|---|---|---|
| OK ：正常終了 | NGS1：異常終了Ｓ１ | SORTNG：ソート異常 |
| STOP：強制停止 | NGS2：異常終了Ｓ２ | P-JAM ：紙詰まり |
| NG ：異常終了 | NGP ：プリンタ異常 | BINNG ：ビン異常 |

**3** 履歴の詳細を表示します。
簡易表示に戻るには、［簡易表示］ボタンを
押してください。



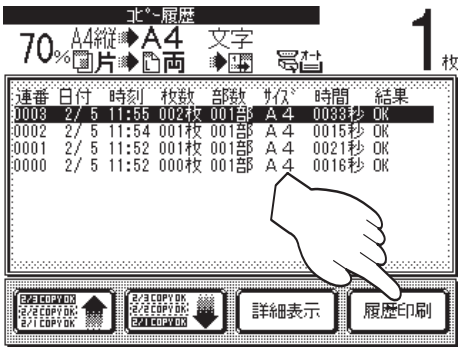

メモ

本機の電源を一度オフにすると、コピー履歴は消去されます。

## ■履歴を印刷する

コピー履歴を印刷します。

**1** コピー履歴画面にて、
［履歴印刷］ボタンを押します。




メモ

履歴印刷は、A4 用紙に行ないます。

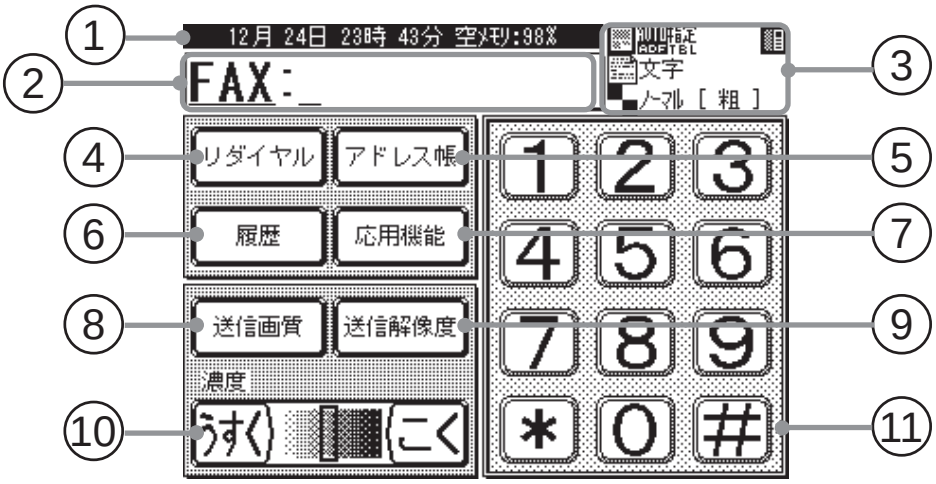
# 4章 ファクス

## ■目次


画面 ..... 4-2
ファクス基本画面 ..... 4-2
応用機能画面 ..... 4-3
ファクス送受信の準備 ..... 4-4
設定項目一覧 ..... 4-4
受信モード ..... 4-5
端末登録 ..... 4-6
■自局番号登録 ..... 4-6
■自局名称登録 ..... 4-7
発信元記録 ..... 4-8
受信用紙 ..... 4-9
■「ちいさめ」について ..... 4-9
送受信速度 ..... 4-10
通信音量 ..... 4-11
回線種類 ..... 4-12
ADF異常時 ..... 4-13
送信メモリフル時 ..... 4-14
呼出回数 ..... 4-15
リダイヤル ..... 4-16
■リダイヤル回数 ..... 4-16
■リダイヤル間隔 ..... 4-16
エラー訂正機能 ..... 4-17
ファクス送信 ..... 4-18
ファクス送信の手順 ..... 4-18
■テンキーからダイヤルする ..... 4-19
■リダイヤルする ..... 4-19
■アドレス帳からダイヤルする ..... 4-20
不達通知 ..... 4-21
ファクス受信 ..... 4-22
ファクス受信の手順 ..... 4-22
基本ファクスの設定 ..... 4-23
送信画質 ..... 4-23
送信解像度 ..... 4-24
送信濃度 ..... 4-25
応用ファクスの設定 ..... 4-26
設定値保存 ..... 4-27
■設定値印刷 ..... 4-27
両面読取 ..... 4-28
■原稿台から両面原稿をスキャンする ..... 4-28
Fコード送信 ..... 4-29
■Fコードをつけて送信する ..... 4-29
タイマ送信 ..... 4-31
■タイマ送信を予約する ..... 4-31
■タイマ送信を解除する ..... 4-32
グループ送信 ..... 4-33
■グループからダイヤルする ..... 4-33
■グループの登録 ..... 4-35
■グループに送信先を追加／削除する ..... 4-36
■グループ名を修正する ..... 4-37
■グループを削除する ..... 4-38
原稿サイズ ..... 4-40
■ADFサイズ ..... 4-40
■原稿台サイズ ..... 4-41
輪郭設定 ..... 4-42
変倍送信 ..... 4-43
テスト送信 ..... 4-44
アドレス帳 ..... 4-45
アドレス帳の登録 ..... 4-45
アドレス帳の修正／削除 ..... 4-46
アドレス帳の印刷 ..... 4-47
ファクス履歴 ..... 4-48
ファクス履歴の確認 ..... 4-48
■送信／受信履歴を印刷する ..... 4-49
■メモリ受信を印刷する ..... 4-49
■履歴を初期化する ..... 4-49
■履歴印刷サンプル ..... 4-50

## ファクス基本画面

**1** ファクシミリ **ボタンを押して、ファクスモードに切り替えます。**

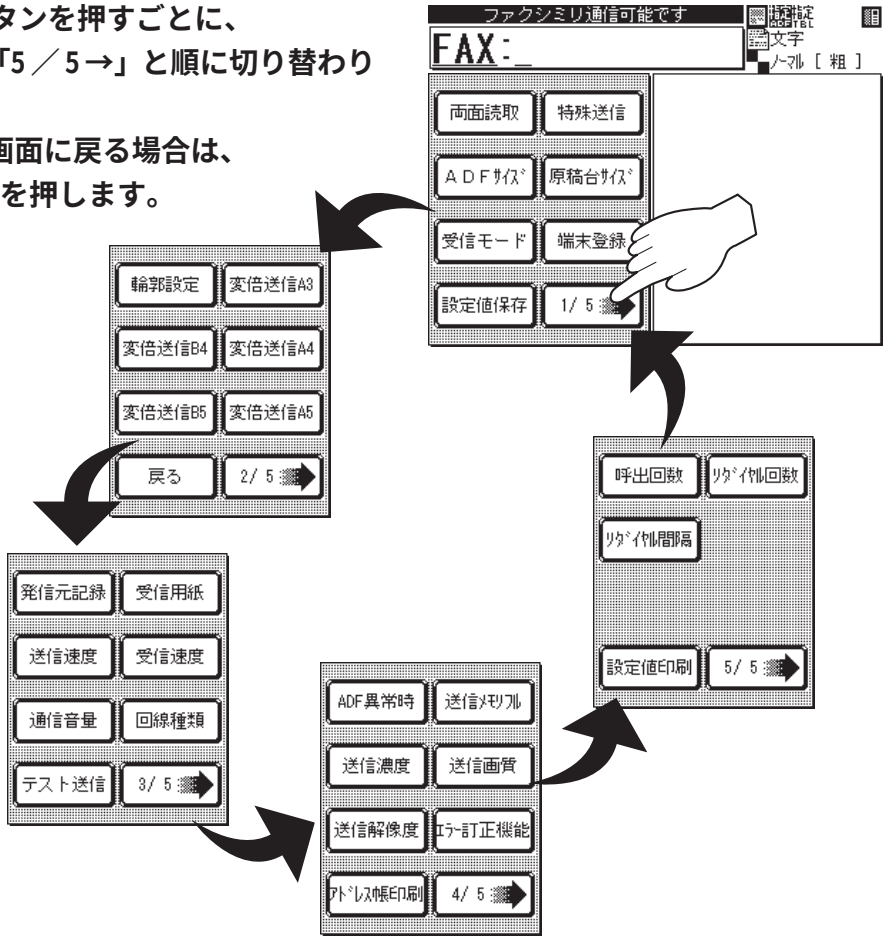



| No | 名称 | 説明 |
|---|---|---|
| ① | メッセージ表示 | メッセージや動作状況、メモリ使用量を表示します。 |
| ② | ダイヤル番号表示 | ダイヤル番号を表示します。 |
| ③ | ステータス表示 | 設定されている機能や状態を、アイコンで表示します。 |
| ④ | リダイヤル | 直前にダイヤルした番号を呼び出します。 |
| ⑤ | アドレス帳 | アドレス帳を呼び出します。 |
| ⑥ | 履歴 | ファクス送受信の履歴、メモリ受信の表示と印刷、タイマ送信の確認と解除を行ないます。 |
| ⑦ | 応用機能 | 応用機能を呼び出します。 |
| ⑧ | 送信画質 | ファクス送信の画質を設定します。 |
| ⑨ | 送信解像度 | ファクス送信の解像度を設定します。 |
| ⑩ | 濃度 | ファクス送信の濃度を設定します |
| ⑪ | テンキー | ダイヤル番号を入力します。 |

# 応用機能画面

**1** ファクス基本画面にて、[応用機能] ボタンを押します。

**2** [1／5→] ボタンを押すごとに、「2／5→」～「5／5→」と順に切り替わります。
ファクス基本画面に戻る場合は、[戻る] ボタンを押します。



## 設定項目一覧

ファクス機能をご利用になる場合は、管理者が以下の設定を行なう必要があります。
表を参考にして設定を行なってください。

### ◆ファクス機能の設定

○:必須／△:任意

| 設定項目 | ページ | 重要度 |
|---|---|---|
| 受信モード | 4-5 | △ |
| 端末登録 | 4-6 | ○ |
| 発信元記録 | 4-8 | ○ |
| 受信用紙 | 4-9 | △ |
| 送受信速度 | 4-10 | △ |
| 通信音量 | 4-11 | △ |
| 回線種類 | 4-12 | ○ |
| ADF異常時 | 4-13 | △ |
| 送信メモリフル | 4-14 | △ |
| 呼出回数 | 4-15 | △ |
| リダイヤル | 4-16 | △ |
| エラー訂正機能 | 4-17 | △ |

### ◆環境設定

○:必須／△:任意

| 設定項目 | ページ | 重要度 |
|---|---|---|
| 排紙位置 | 5-7 | △ |
| 印刷オフセット | 5-13 | △ |
| 信号送出LV | 5-18 | △ |

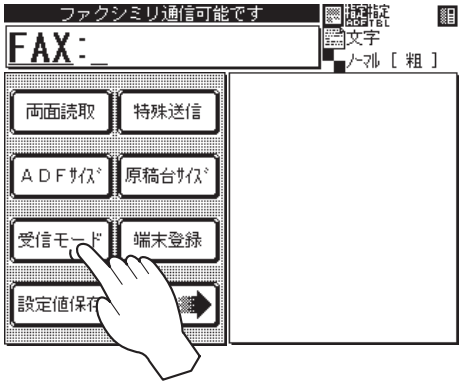
メモ

スキャナの状態は、スキャナ使用時に本機が自動的に取得します。

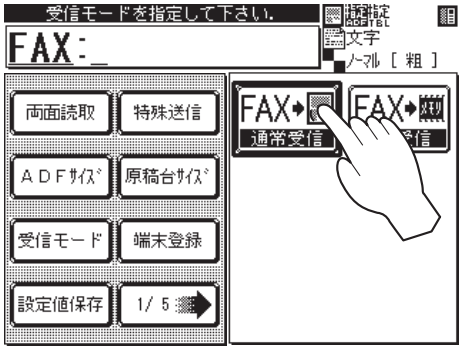
## 受信モード

受信ファクスを印刷せずに本機のメモリに蓄積する、メモリ受信ができます。

**1** ファクス応用画面－1／5ページにて、［受信モード］ボタンを押します。




**2** 受信モードを選択します。




| ボタン | アイコン | 説明 |
|---|---|---|
| FAX 通常受信 | | 受信ファクスをプリンタから印刷します。 |
| FAX メモリ受信 | 受 | 受信ファクスを本機のメモリに蓄積し、プリンタから印刷しません。 |

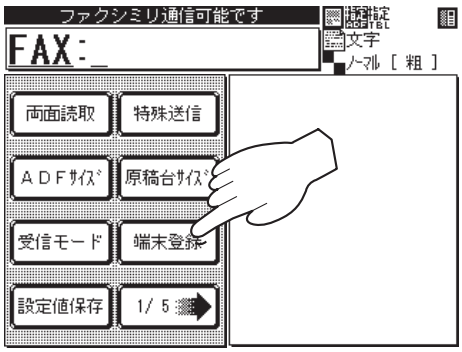
ポイント

メモリ受信したファクスは、履歴画面のメモリ受信タブにある［メモリ印刷］ボタンを押すと、メモリ受信ファクスの印刷を開始し、ファクスを取り出すことができます。

## 端末登録

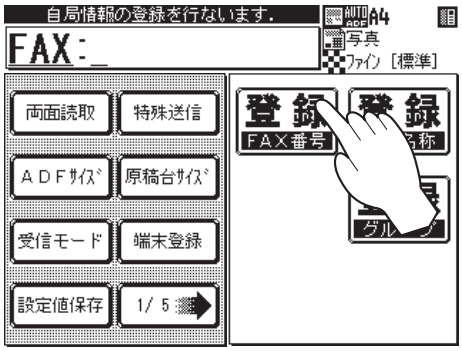
送信した相手の記録紙の上端（ヘッダ）に印刷される発信元の情報を登録します。

**1** ファクス応用画面－１／５ページにて、
［端末登録］ボタンを押します。

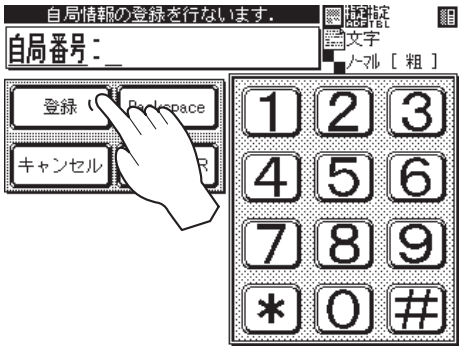



### ■自局番号登録

**2** ［FAX 番号］ボタンを押します。




**3** テンキーで自局番号を入力し、
［登録］ボタンを押します。

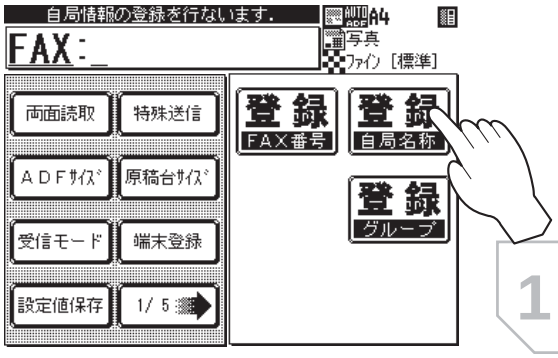



メモ

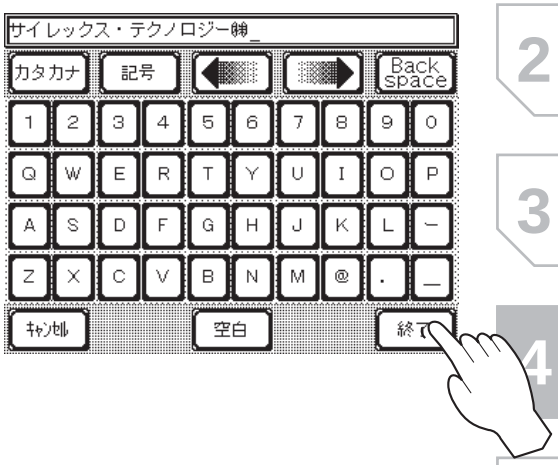
自局番号は、20桁まで登録できます。

## ■自局名称登録

**4** ［自局名称］ボタンを押します。




**5** ソフトウェアキーボードで自局名称を入力し、［終了］ボタンを押します。



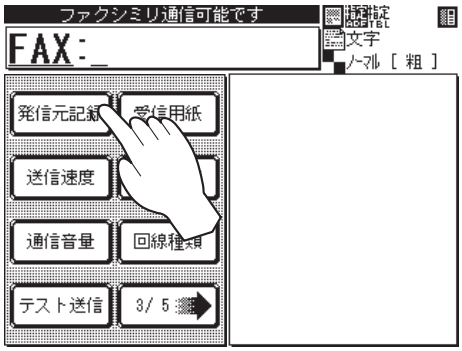

メモ

自局名称は、31文字まで登録できます。

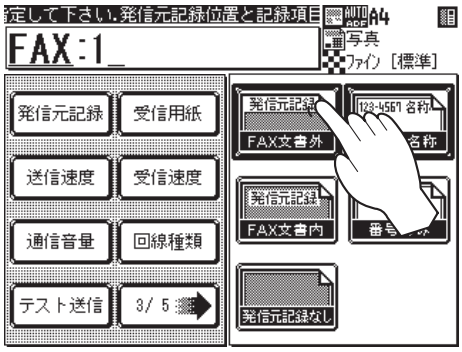
## 発信元記録

登録した発信元情報の印刷位置と、印刷内容を設定します。

**1** ファクス応用画面－3／5ページにて、[発信元記録] ボタンを押します。




**2** 印刷位置と、印刷内容を選択します。

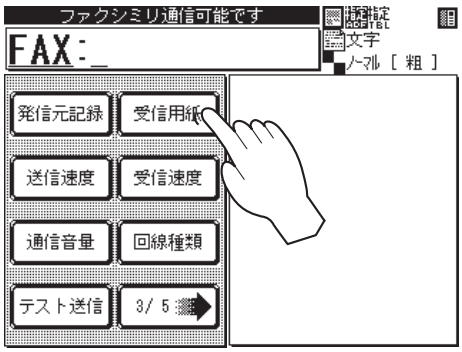



| ボタン | 説明 |
|---|---|
| 発信元記録 FAX文書外 | ファクス原稿の外側に、発信元情報を印刷します。<br>発信元情報が挿入された分、ファクス原稿が縮小されます。 |
| 発信元記録 FAX文書内 | ファクス原稿の内側に、発信元情報を印刷します。 |
| 発信元記録なし | 発信元情報を印刷しません。 |
| 123-4567 名称 番号と名称 | 発信元情報として、自局番号と自局名称を使用します。 |
| 123-4567 番号のみ | 発信元情報として、自局番号を使用します。 |

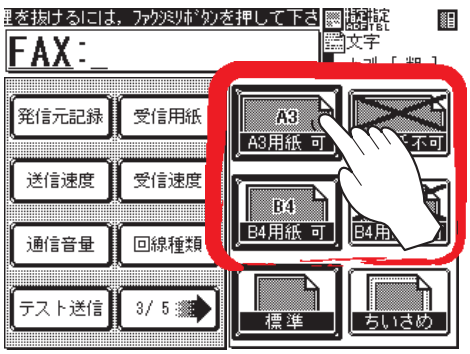
## 受信用紙

ファクス受信を許可する、最大の受信用紙サイズを設定することができます。

**1** ファクス応用画面－3／5ページにて、［受信用紙］ボタンを押します。




**2** 受信用紙サイズを選択します。




### ■「ちいさめ」について

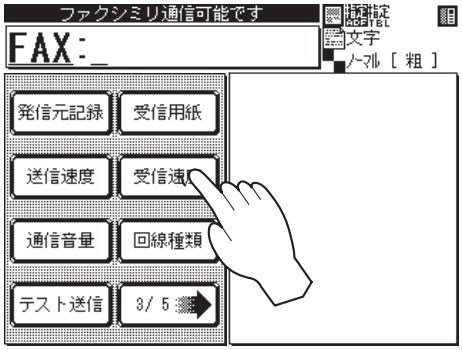
プリンタは用紙の端の四辺（各5mm）を印刷できません。
「ちいさめ」は、原稿全体がプリンタの印刷範囲に収まるように、少し縮小して印刷する機能です。

| ボタン | 説明 |
|---|---|
| A3 A3用紙 可 | 最大受信サイズがA3になり、A3、B4、A4サイズを受信します。 |
| A3用紙不可 | A3サイズの受信を拒否し、B4、A4サイズを受信します。<br>相手機がA3サイズで送信しようとした場合、本機のA3不可設定によりB4サイズで送信することになります。 |
| B4 B4用紙 可 | B4サイズの受信を許可します。A3サイズが不可となっている場合は、B4、A4サイズのみ受信可となります。 |
| B4用紙不可 | 最大受信サイズがA4となり、A4サイズのみ受信可となります。<br>相手機がA3／B4サイズで送信しようとした場合、本機のB4不可設定によりA4サイズで送信することになります。 |
| 標準 | 受信ファクスを、そのままの大きさで印刷します。 |
| ちいさめ | 受信ファクスを、プリンタの印刷可能範囲に縮小して印刷します。 |

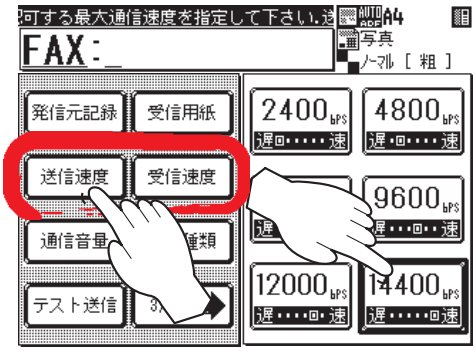
## 送受信速度

ファクス送信／受信の速度を設定します。ご利用の電話回線の状態に応じて、送受信の速度を設定してください。

**1** ファクス応用画面－3／5ページにて、[送信速度]／[受信速度]ボタンを押します。




**2** 送信速度／受信速度の速度を選択します。

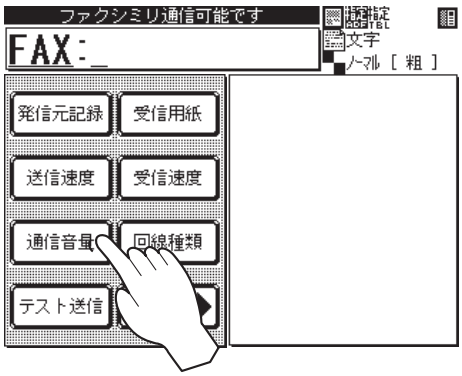



| ボタン | 説明 |
|---|---|
| 2400bps 遅・・・・・速 | 2400bpsまでの速度で通信します。 |
| 4800bps 遅・回・・・速 | 4800bpsまでの速度で通信します。 |
| 7200bps 遅・・回・・速 | 7200bpsまでの速度で通信します。 |
| 9600bps 遅・・・回・速 | 9600bpsまでの速度で通信します。 |
| 12000bps 遅・・・回速 | 12000bpsまでの速度で通信します。 |
| 14400bps 遅・・・・回速 | 14400bpsまでの速度で通信します。 |

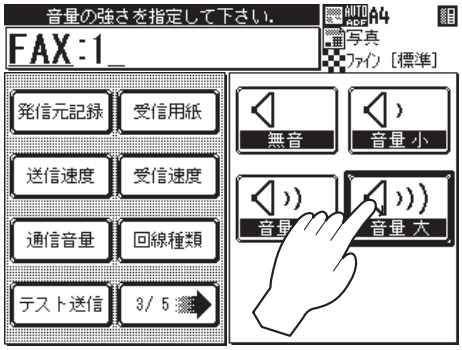
## 通信音量

ファクス通信の音量を設定します。この音量設定は、通信結果に影響しません。

**1** ファクス応用画面－3／5ページにて、［通信音量］ボタンを押します。




**2** 通信音量を選択します。

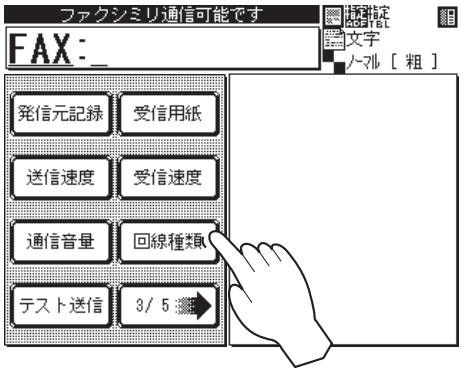



| ボタン | 説明 |
|---|---|
| 無音 | 音が出ません。 |
| 音量小 | 小さい音が出ます。 |
| 音量中 | 中の音が出ます。 |
| 音量大 | 大きな音が出ます。 |

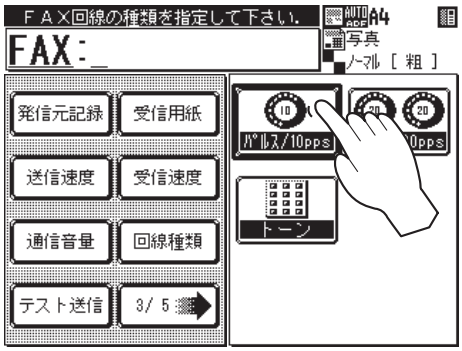
## 回線種類

本機が接続する電話回線の種類を設定します。

**1** ファクス応用画面－3／5ページにて、[回線種類] ボタンを押します。




**2** 回線種類を選択します。

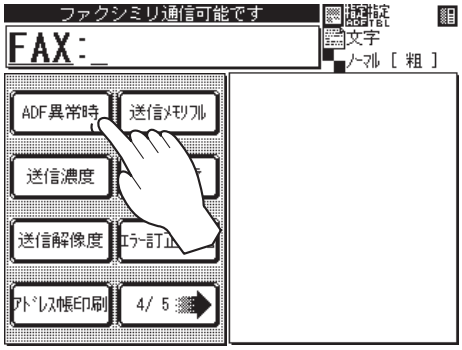



| ボタン | 説明 |
|---|---|
| | ダイヤル回線をご利用の場合で、［パルス／20pps］を選択して話中になる場合は、この設定にしてください。 |
| | ダイヤル回線をご利用の場合に選択してください。 |
| | プッシュ回線をご利用の場合に選択してください。 |

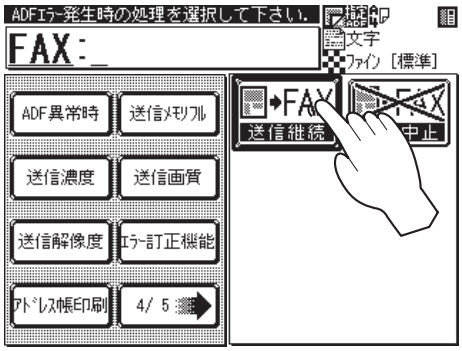
## ADF 異常時

ADFから原稿をスキャンしながらファクス送信を行なっている途中に、ADFで紙詰まり等のエラーが発生した場合の処理を設定します。

**1** ファクス応用画面－4／5ページにて、[ADF 異常時] ボタンを押します。




**2** [送信継続] ／ [送信中止] を選択します。



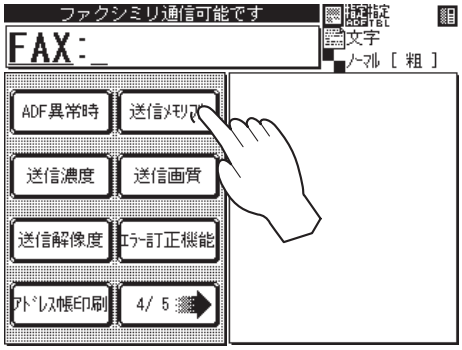

| ボタン | 説明 |
|---|---|
| FAX 送信継続 | ADFで異常が発生するまでに正常スキャンした原稿については、ファクス送信します。 |
| FAX 送信中止 | ADF異常が発生した場合、送信を中断します。 |

## 送信メモリフル時

ファクス送信は、通信時間を短くするためにスキャンした画像の圧縮を行なっています。この圧縮処理時に、原稿が非常に細かい等の特性により、圧縮後のデータサイズが圧縮前のデータサイズより大きくなることがあります。このときの、ファクス送信の継続／中止を選択できます。



**1** ファクス応用画面－4／5ページにて、［送信メモリフル］ボタンを押します。



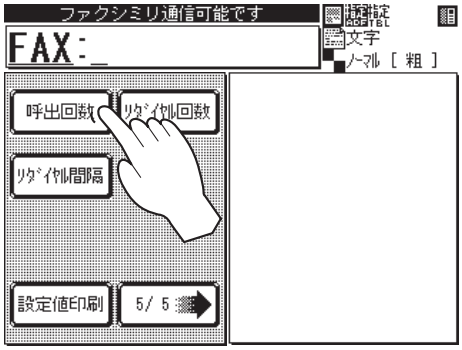

**2** ［送信継続］／［送信中止］を選択します。

| ボタン | 説明 |
|---|---|
| FAX 送信継続 | 圧縮後のデータサイズが圧縮前より大きくなるまでにスキャンした原稿については、ファクス送信します。 |
| FAX 送信中止 | 圧縮後のデータサイズが圧縮前より大きくなった場合、送信を中断します。 |

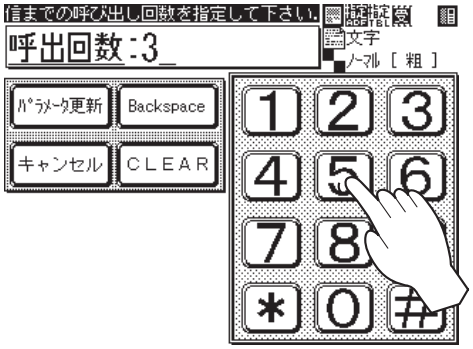
## 呼出回数

ファクス着信時の呼出回数を設定します。

**1** ファクス応用画面－5／5ページにて、
［呼出回数］ボタンを押します。




**2** テンキーで呼出回数を入力し、
［パラメータ更新］ボタンを押します。




メモ

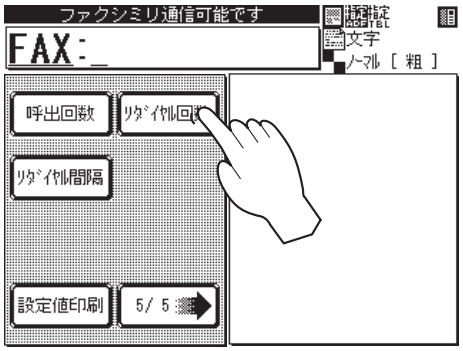
呼出回数の設定範囲は、1～9回です。

# リダイヤル

## ■リダイヤル回数

ファクス送信でエラーが発生した場合の、リダイヤル回数を設定します。

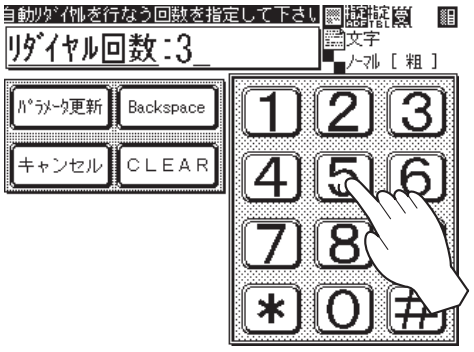
**1** ファクス応用画面－5／5ページにて、
［リダイヤル回数］ボタンを押します。




**2** テンキーでリダイヤル回数を入力し、
［パラメータ更新］ボタンを押します。

メモ

リダイヤル回数の設定範囲は、
0～9回です。



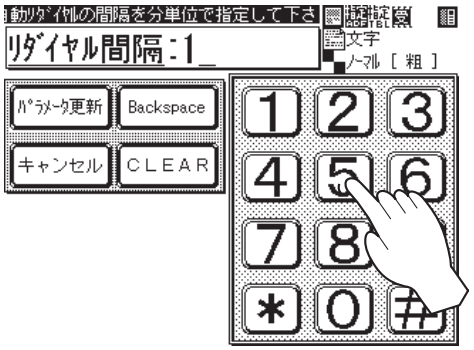

## ■リダイヤル間隔

**3** ファクス応用画面－5／5ページにて、
［リダイヤル間隔］ボタンを押します。

**4** テンキーでリダイヤル間隔を入力し、
［パラメータ更新］ボタンを押します。

メモ

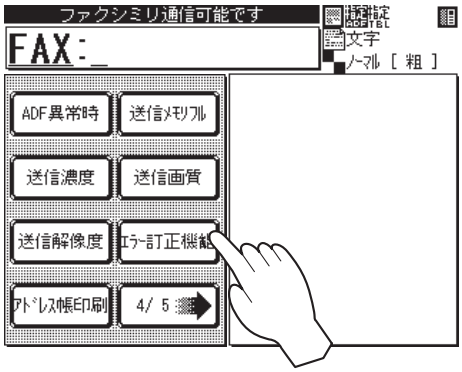
リダイヤル間隔の設定範囲は、
1～9分です。



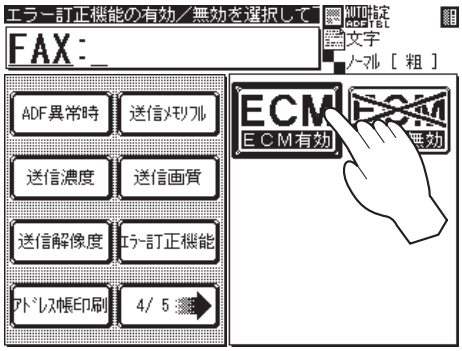
## エラー訂正機能

本機は、エラー訂正機能（ECM）を利用したファクスの送受信ができます。

**1** ファクス応用画面－4／5ページにて、[エラー訂正機能] ボタンを押します。




**2** [ECM 有効] ／ [ECM 無効] を選択します。




メモ

通常は、[ECM 有効] に設定して使用します。

これでファクス送受信の準備は終了です。
ここまでに設定した内容は、設定時間が経過するとオートクリアされます。
設定を保存するには、「設定値保存」（→ 4-27 ページ）を行なう必要があります。

## ファクス送信の手順

**1** モード切り替え

ファクシミリ ボタンを押して、ファクスモードに切り替えます。

**2** 原稿のセット

スキャナの原稿台、または ADF に原稿をセットします。

**3** 基本機能の設定

■送信画質　■送信濃度
■送信解像度
→ 4-23 ～ 4-25 ページ

**4** 応用機能の設定

■両面読取　■輪郭設定
■ F コード送信　■変倍送信
■タイマ送信
■原稿サイズ
→ 4-28 ～ 4-43 ページ

**5** ダイヤル

■テンキーからダイヤルする → 4-19 ページ
■リダイヤルする → 4-19 ページ
■アドレス帳からダイヤルする → 4-20 ページ
■グループからダイヤルする → 4-33 ページ

**6** ファクス送信スタート

スタート ボタンを押して、ファクス送信を開始します。

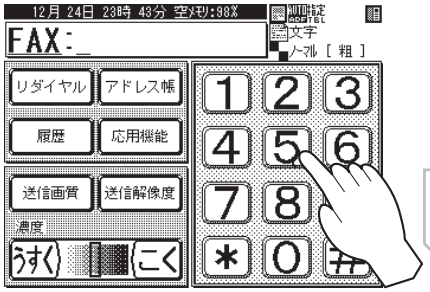
メモ

ストップ ボタンを押すと、送信を中断します。スキャン中の原稿は、スキャンを中断して排紙します。ファクス送信中は、回線を切断し送信を中断します。スキャンした原稿の全ページ送信できなかった場合は、「不達通知」（→4-21 ページ）が印刷されます。

## ■テンキーからダイヤルする

タッチパネルディスプレイのテンキーから、相手先の番号をダイヤルします。

**1** テンキーで相手先の番号を入力します。



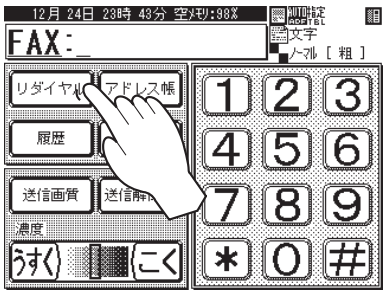

**2** 相手先の番号入力を始めると、下の表のボタンが表示されますので、必要に応じて入力してください。

| ボタン | 説明 |
|---|---|
| ポーズ | 本機が内線に接続されていて、外線にダイヤルする場合や、海外にダイヤルする場合は、番号の間に待ち時間（ポーズ）を入れてください。 |
| オフフック | フックを上げた状態になります。 |
| Backspace | 番号を後ろから一つ削除します。 |
| CLEAR | 入力されている番号を全て削除します。 |

## ■リダイヤルする

直前にダイヤルした番号にダイヤルします。

**1** ［リダイヤル］ボタンを押します。



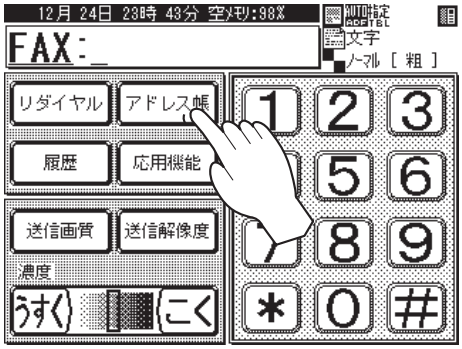

メモ

オートクリアにより、リダイヤル番号は消去されます。

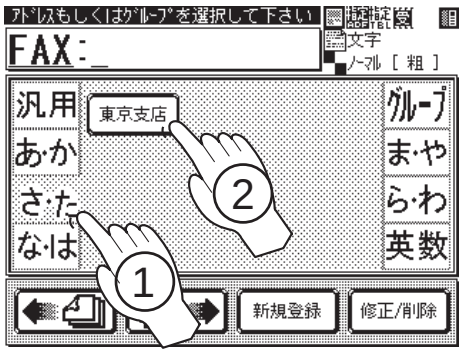
## ■アドレス帳からダイヤルする

本機に登録されているアドレス帳から、相手先の番号を呼出してダイヤルします。

**1** ［アドレス帳］ボタンを押します。




**2** ①送信先の登録されているタブを選択し、
②送信先のボタンを押します。




参照

アドレス帳をご利用になるまえに、「アドレス帳の登録」（→4-45ページ）で送信先を登録する必要があります。

## 不達通知

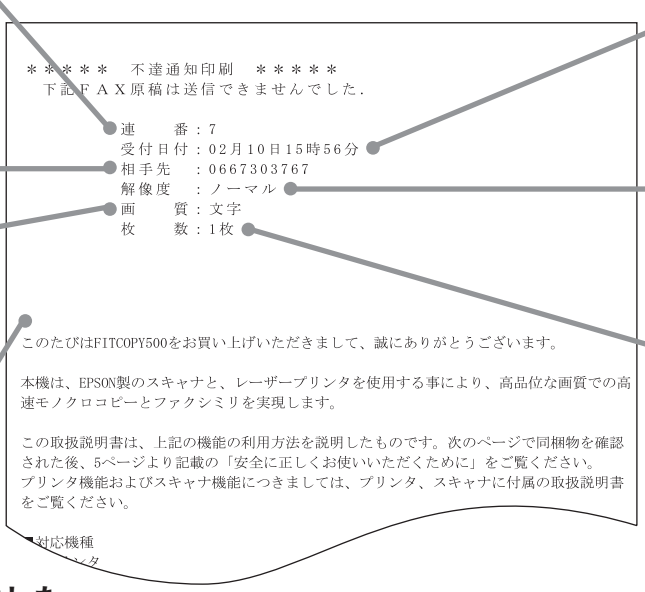
不達通知とは、ファクス原稿を全ページ送信できなかった場合に、送信エラーを通知する機能です。不達通知は、送信エラーが発生する度に印刷されます。

**連番**
ファクス送受信履歴の管理番号です。

**相手先**
送信先のファクス番号です。

**画質**
送信時の画質です。

**送信エラーが発生したページを印刷します。**


＊＊＊＊＊　不達通知印刷　＊＊＊＊＊
下記ＦＡＸ原稿は送信できませんでした.

連　　番：7
受付日付：02月10日15時56分
相手先　：0667303767
解像度　：ノーマル
画　　質：文字
枚　　数：1枚

このたびはFITCOPY500をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

本機は、EPSON製のスキャナと、レーザープリンタを使用する事により、高品位な画質での高速モノクロコピーとファクシミリを実現します。

この取扱説明書は、上記の機能の利用方法を説明したものです。次のページで同梱物を確認された後、5ページより記載の「安全に正しくお使いいただくために」をご覧ください。
プリンタ機能およびスキャナ機能につきましては、プリンタ、スキャナに付属の取扱説明書をご覧ください。

■対応機種

**受付日時**
送信を受け付けた日時です。

**解像度**
送信時の解像度です。

**枚数**
送信しようとした枚数です。

## ファクス受信の手順

**1** 受信モードの設定

■受信モード　→4-5 ページ

ファクス
受信時

**2** 受信ファクス印刷

◆通常受信

◆メモリ受信
受信ファクスを印刷せずに、
CF カードに蓄積します。

メモリ印刷
■メモリ受信を印刷する
→4-49 ページ

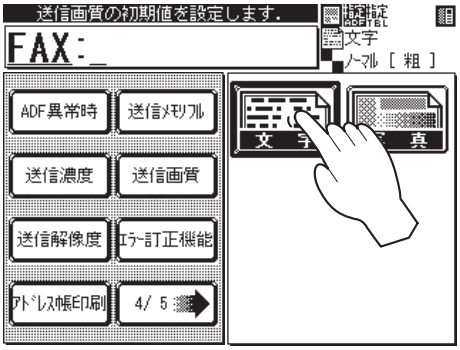
プリンタから
印刷開始

## 送信画質

原稿にあわせて、ファクス送信の画質を選択します。

**1** ファクス基本画面にて、
［送信画質］ボタンを押します。
ボタンを押すごとに、ステータス表示のアイコンが「文字」⇔「写真」に変わります。

◆応用機能から送信品質を変更する場合は、［文字］［写真］ボタンを押して、送信品質を設定します。




| ボタン | アイコン | 説明 |
|---|---|---|
| 文字 | 文字 | 通常の文字原稿に適しています。 |
| 写真 | 写真 | 写真のような濃淡のある原稿に適しています。<br>送信時間は［文字］にくらべて長くなります。 |

メモ

ここで設定した内容は、一時的な使用のための変更であり、設定時間が経過するとオートクリアされます。設定を保存するには、応用機能画面で「設定値保存」を行なう必要があります。

## 送信解像度

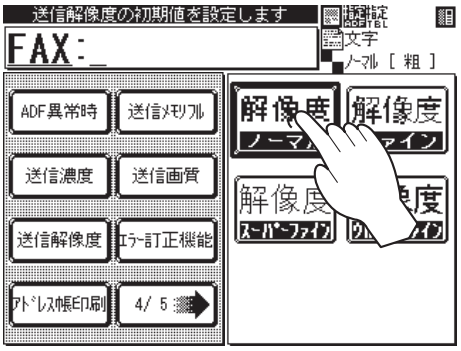
ファクスの送信解像度を選択します。高解像度になるほど、ファクス送信にかかる時間が長くなります。

**1** ファクス基本画面にて、
［送信解像度］ボタンを押します。
ボタンを押すごとに、ステータス表示のアイコンが順に変わります。

メモ

送信相手がこちらの指定した解像度に対応していない場合は、相手の能力に合わせた解像度で送信します。

◆応用機能から送信解像度を変更する場合は、それぞれの解像度ボタンを押します。




| ボタン | アイコン | 説明 |
|---|---|---|
| 解像度 ノーマル | ノーマル［ 粗 ］ | 通常の文字原稿に適しています。 |
| 解像度 ファイン | ファイン［標準］ | 細かい文字原稿に適しています。<br>［ノーマル］の約2倍の細かさで送信します。 |
| 解像度 スーパーファイン | Sファイン［ 密 ］ | ［ノーマル］の約4倍の細かさで送信します。 |
| 解像度 ウルトラファイン | Uファイン［細密］ | ［ノーマル］の約8倍の細かさで送信します。 |

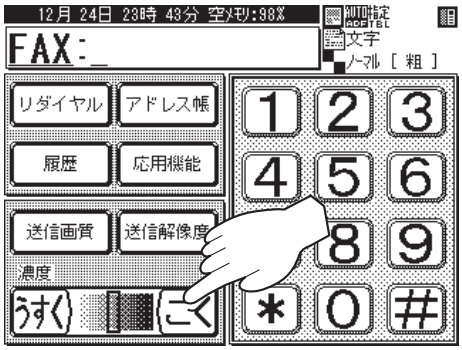
メモ

ここで設定した内容は、一時的な使用のための変更であり、設定時間が経過するとオートクリアされます。設定を保存するには、応用機能画面で「設定値保存」を行なう必要があります。

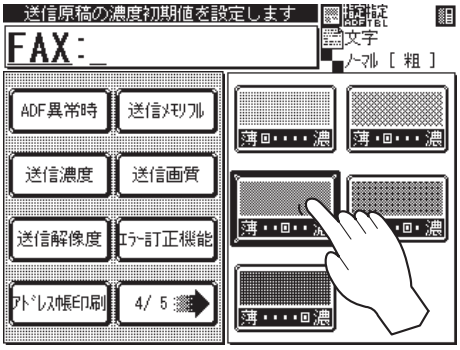
## 送信濃度

ファクスの送信濃度を 5 段階で設定できます。

**1** ファクス基本画面にて、
［うすく］／［こく］ボタンを押します。




◆応用機能から送信濃度を変更する場合は、それぞれの濃度ボタンを押します。

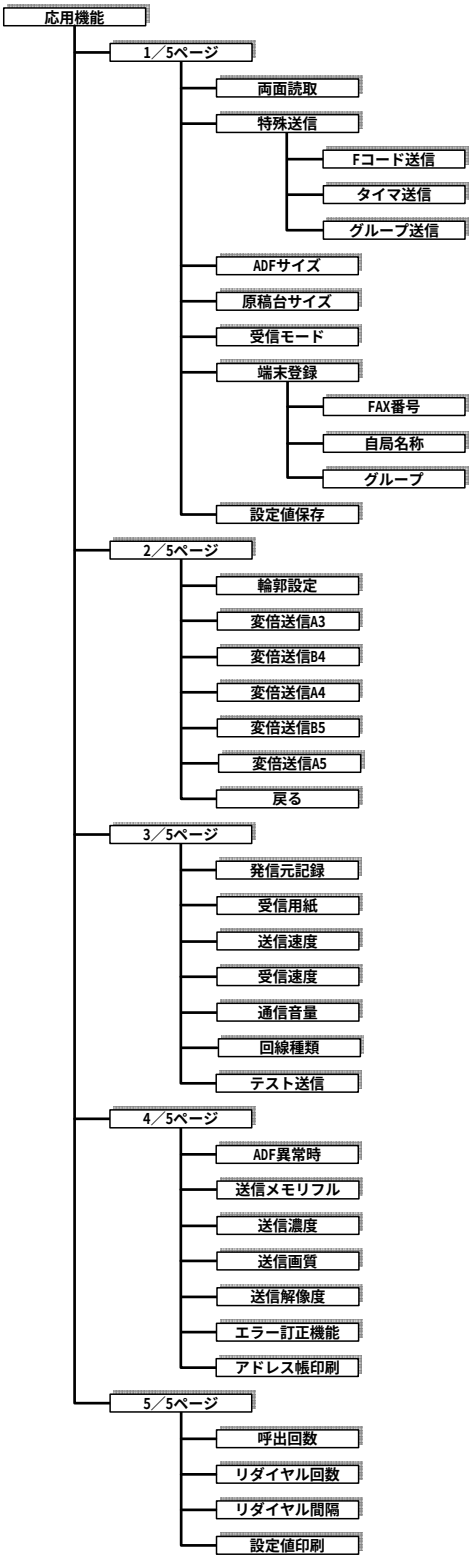



| ボタン | アイコン | 説明 |
|---|---|---|
| 薄・・・・濃 | うすく こく | スキャンした原稿をうすくして送信します。 |
| 薄・・・・濃 | うすく こく | スキャンした原稿をややうすくして送信します。 |
| 薄・・・・濃 | うすく こく | スキャンした原稿のまま送信します。 |
| 薄・・・・濃 | うすく こく | スキャンした原稿をややこくして送信します。 |
| 薄・・・・濃 | うすく こく | スキャンした原稿をこくして送信します。 |

メモ

ここで設定した内容は、一時的な使用のための変更であり、設定時間が経過するとオートクリアされます。設定を保存するには、応用機能画面で「設定値保存」を行なう必要があります。

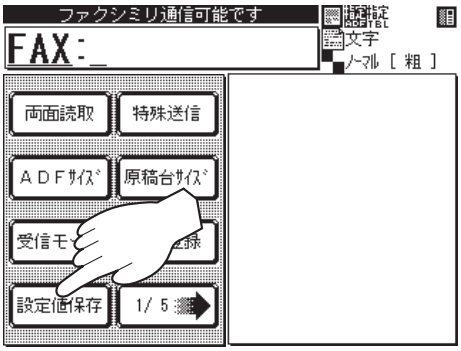
# 応用ファクスの設定


応用機能
1／5ページ
両面読取
特殊送信
Fコード送信
タイマ送信
グループ送信
ADFサイズ
原稿台サイズ
受信モード
端末登録
FAX番号
自局名称
グループ
設定値保存
2／5ページ
輪郭設定
変倍送信A3
変倍送信B4
変倍送信A4
変倍送信B5
変倍送信A5
戻る
3／5ページ
発信元記録
受信用紙
送信速度
受信速度
通信音量
回線種類
テスト送信
4／5ページ
ADF異常時
送信メモリフル
送信濃度
送信画質
送信解像度
エラー訂正機能
アドレス帳印刷
5／5ページ
呼出回数
リダイヤル回数
リダイヤル間隔
設定値印刷

## 設定値保存

応用機能で行なった各種変更は、「設定値保存」を行なうことにより、本機のメモリに記憶されます。[リセット] ボタン押下やオートクリア、再起動を行なうと、設定値保存されている状態に戻ります。

1 ファクス応用画面－1／5ページにて、[設定値保存] ボタンを押します。



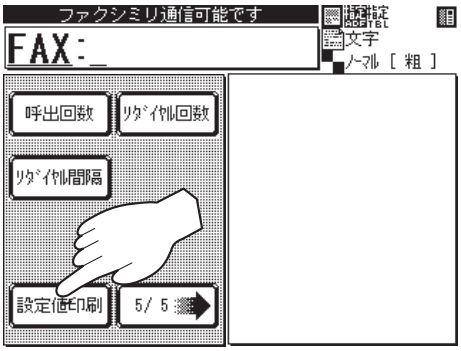

メモ

設定値保存を行なわない場合は、[リセット] ボタン押下やオートクリア、再起動を行なうと設定値が失なわれます。

## ■設定値印刷

ファクスモードに設定されている設定値と設定保存値の印刷を行ないます。

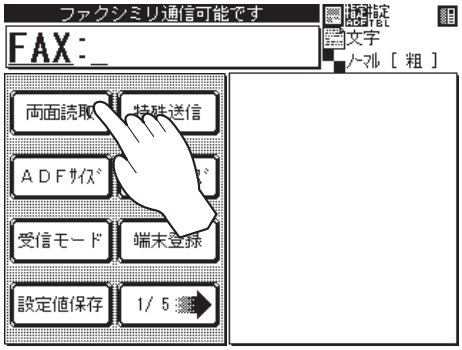
1 ファクス応用画面－5／5ページにて、[設定値印刷] ボタンを押します。



# 両面読取

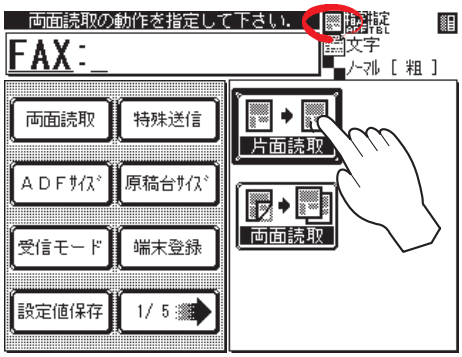
両面原稿の表面と裏面を 2 ページに分割して、ファクス送信することができます。
両面読取は、スキャナの原稿台と両面読取式の自動原稿読取装置から行なえます。

**1** ファクス応用画面－ 1 ／ 5 ページにて、
［両面読取］ボタンを押します。




**2** ［片面読取］／［両面読取］を選択します。
選択中の設定は、ステータス表示のアイコンで確認できます。

| ボタン | アイコン | 説明 |
|---|---|---|
| 片面読取 | | 原稿の片面をスキャンします。 |
| 両面読取 | | 原稿の両面をスキャンします。 |




## ■原稿台から両面原稿をスキャンする

**1** 両面原稿をスキャナにセットし、相手先番号をダイヤルしてから
スタート
ボタンを押します。

**2** 片面のスキャンが終ると、LCD パネルに原稿の裏返しを促すメッセージが表示されますので、指示にしたがって原稿を裏返します。

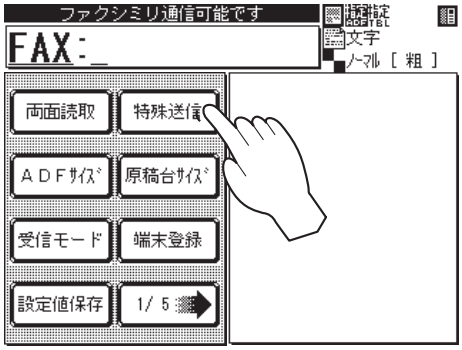
ポイント

［継続］ボタンを押すと裏面のスキャンを開始します。
［終了］ボタンを押すと、スキャン済みのファクスを送信します。

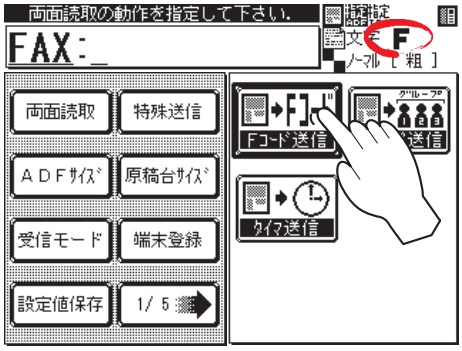
# Fコード送信

ファクスにFコードとパスワードを付けて送信することができます。

**1** ファクス応用画面－1／5ページにて、
[特殊送信] ボタンを押します。




**2** [Fコード送信] ボタンを押して、
オン／オフを選択します。
Fコード送信オン時は、「F」アイコンが表示されます。



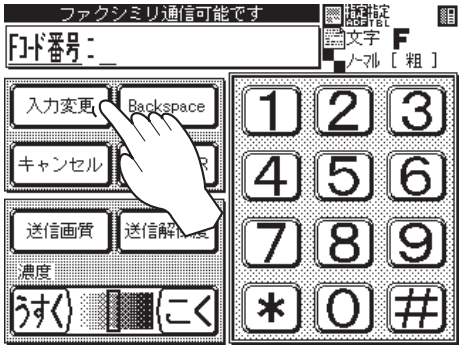

メモ

Fコード送信を行なう場合は、送信毎に「Fコード送信」をオンにする必要があります。

## ■Fコードをつけて送信する

**1** 原稿をスキャナにセットし、「Fコード送信」をオンにしてから
スタート ボタンを押すと、「Fコード番号」入力画面が表示されます。

**2** テンキーでFコードを入力します。
続けてFコードパスワードを入力する場合は、
[入力変更] ボタンを押します。



◆F コードパスワードの入力

**3** テンキーでFコードパスワードを入力しします。

ポイント

［入力変更］ボタンを押すと、「F コード」「パスワード」「ダイヤル番号」の順に切り替わります。

**4** 「ダイヤル番号」「F コード」「パスワード」の入力後、

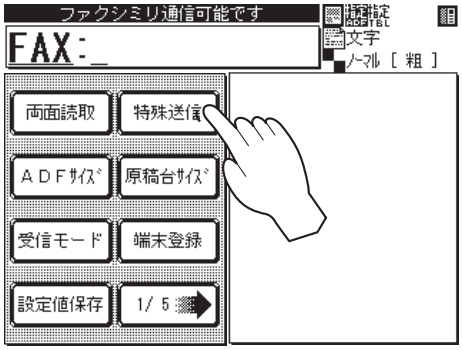
スタート ボタンを押してファクス送信を開始します。

# タイマ送信

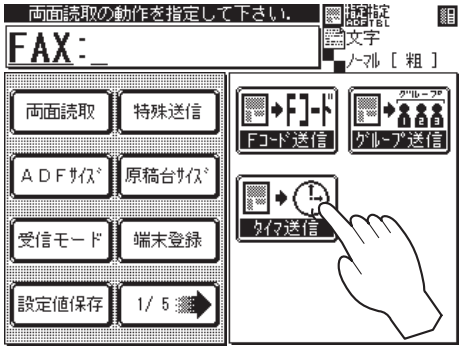
設定した日時に、ファクス送信することができます。通信料の安い時間帯にタイマ送信すると、ファクス送信コストを削減することができます。

## ■タイマ送信を予約する

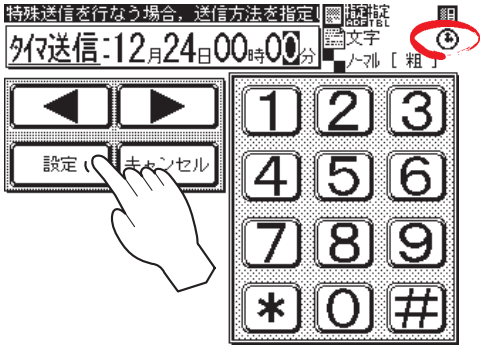
**1** ファクス応用画面－1／5ページにて、[特殊送信] ボタンを押します。




**2** [タイマ送信] ボタンを押します。
タイマ送信設定時は、「⏲」アイコンが表示されます。




**3** テンキーで送信日時を入力して、[設定] ボタンを押します。




メモ

日付は2桁で、時刻は24時間形式の2桁で入力してください。入力した値が不正な場合は、入力が受け付けられません。

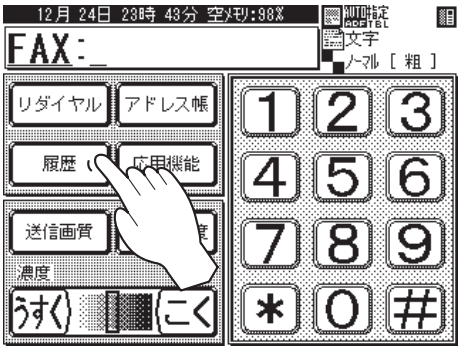
**4** 原稿をスキャナにセットしてから
スタート
ボタンを押してファクス送信を開始します。

メモ

タイマ送信時刻に、本機の電源がオフになっていた場合は、電源投入時にファクス送信を開始します。

## ■タイマ送信を解除する

**1** ファクス基本画面にて、
［履歴］ボタンを押します。

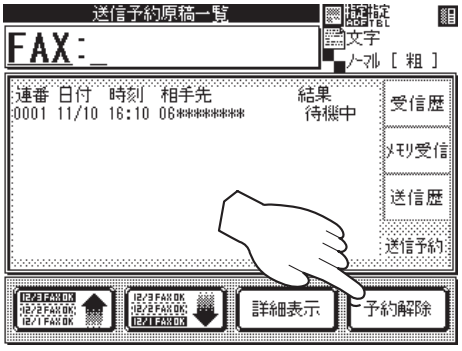



**2** ［送信予約］タブを押します。

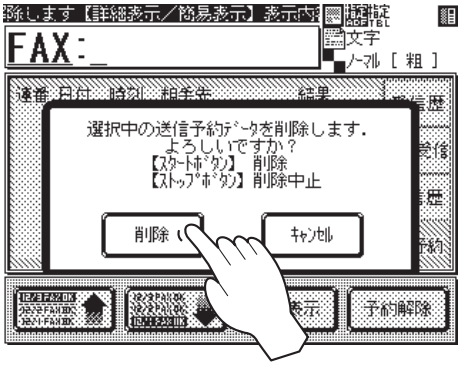
**3** ［予約解除］ボタンを押します。

メモ

［詳細表示］ボタンを押すと、送信予約の詳細を確認できます。詳細表示画面で［簡易表示］ボタンを押すと簡易表示画面に戻ります。




**4** ［削除］ボタンを押して、送信予約を削除します。

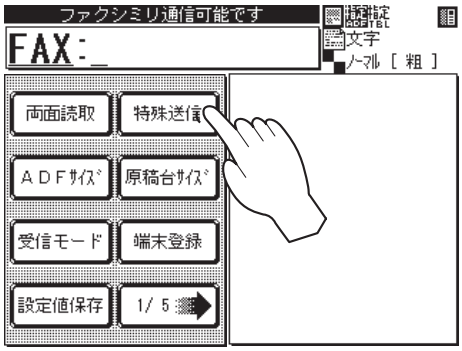


# グループ送信

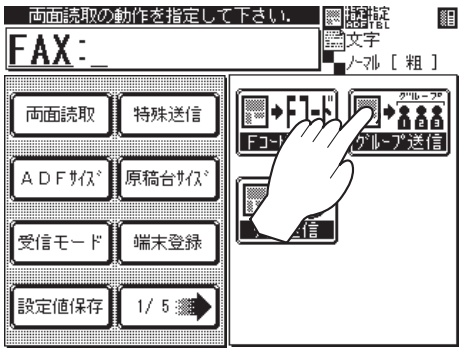
グループに登録されている複数の送信先（最大128件）に、一括してファクス送信します。グループ送信を利用するには、あらかじめアドレス帳に登録されている送信先をグループに登録する必要があります。

## ■グループからダイヤルする

**1** ファクス応用画面－1／5ページにて、
[特殊送信] ボタンを押します。




**2** [グループ送信] ボタンを押します。
グループ送信設定時は、「 」アイコンが表示されます。

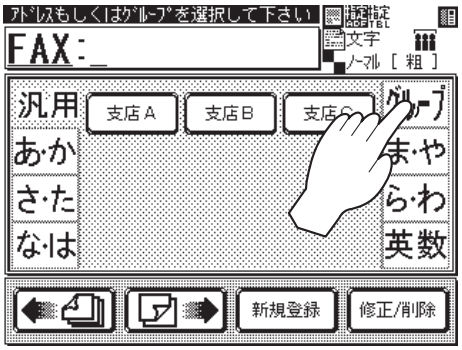



**3** ファクス基本画面にて、
[アドレス帳] ボタンを押します。

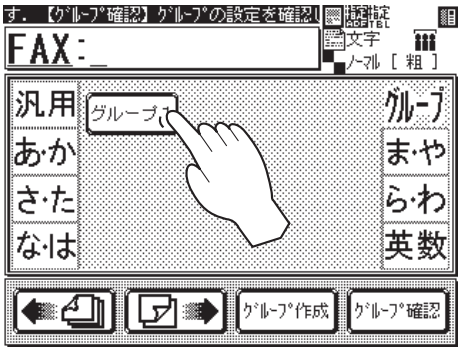
メモ

グループ送信アイコン未表示時は、
グループ送信できません。

**4** アドレス帳画面にて、
［グループ］タブを押します。



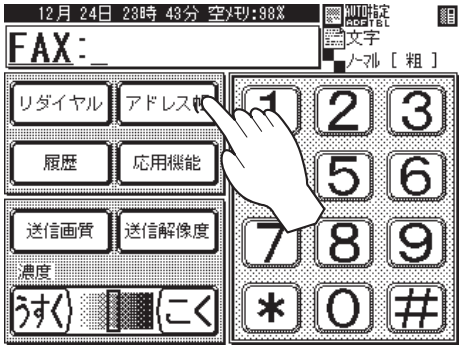

**5** グループを選択します。



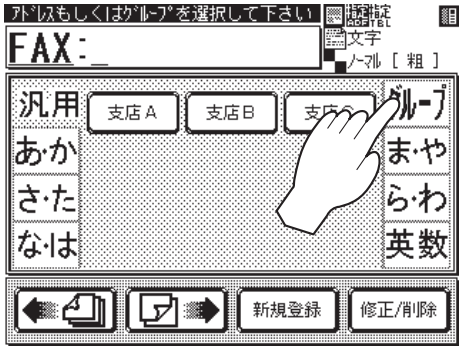

**6** 原稿をスキャナにセットしてから
スタート
ボタンを押してファクス送信を開始します。

## ■グループの登録

**1** ファクス基本画面にて、
［アドレス帳］ボタンを押します。

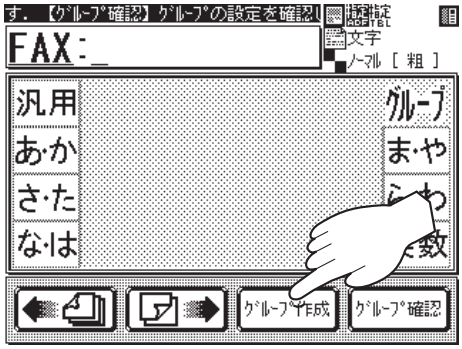



**2** ［グループ］タブを押します。

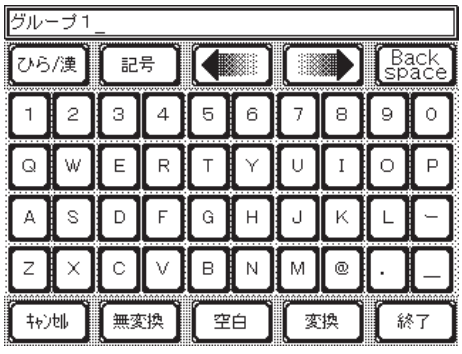



**3** ［グループ作成］ボタンを押します。

メモ　最大64件のグループが作成できます。

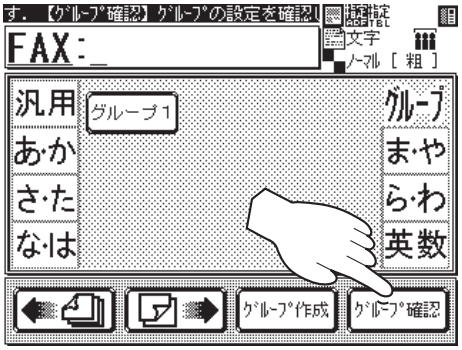



**4** グループ名を入力し、
［終了］ボタンを押します。

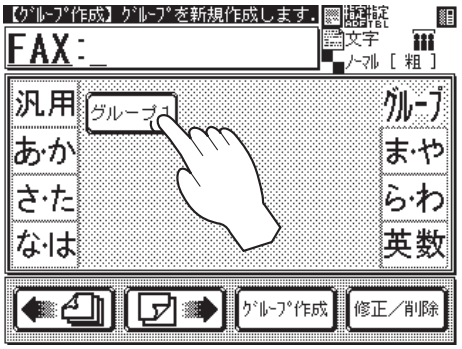


## ■グループに送信先を追加／削除する

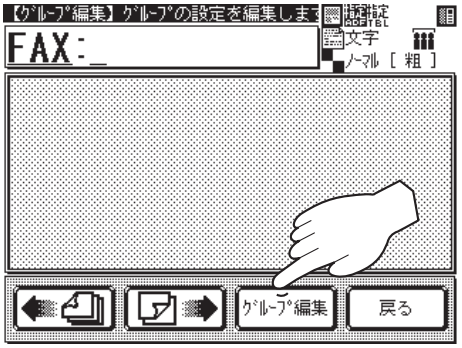
**1** アドレス帳－グループタブ画面にて、[グループ確認] ボタンを押します。



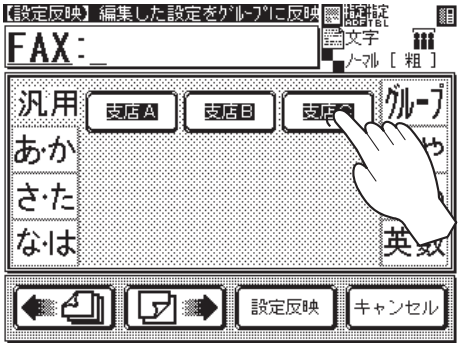

**2** グループを選択します。




**3** [グループ編集] ボタンを押します。



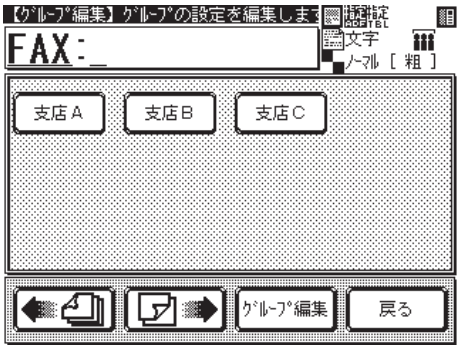

**4** タグボタンと［←］［→］ボタンを押して、追加する送信先を探し、グループに登録するボタンを押して、表示を反転させます。設定終了後に、[設定反映] ボタンを押します。




メモ

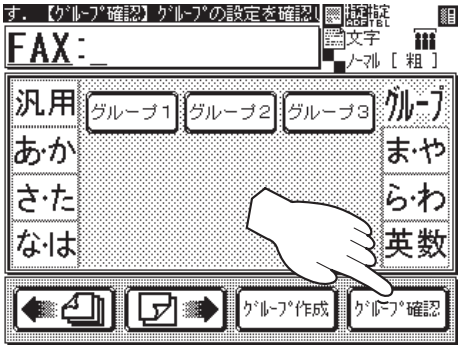
反転表示を解除すると、グループから削除できます。

5 選択した送信先がグループに反映されます。[戻る]ボタンを押して、アドレス帳画面に戻ります。

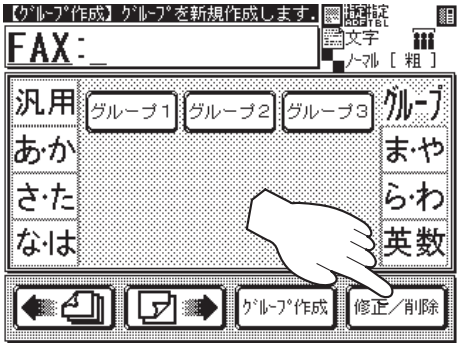



## ■グループ名を修正する

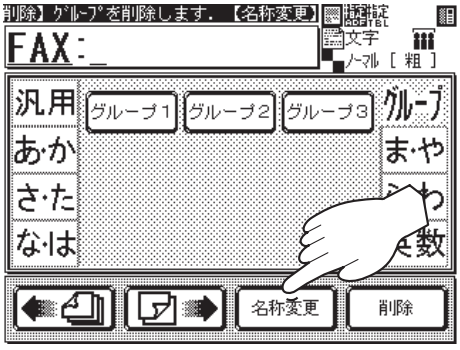
1 アドレス帳－グループタブ画面にて、[グループ確認] ボタンを押します。



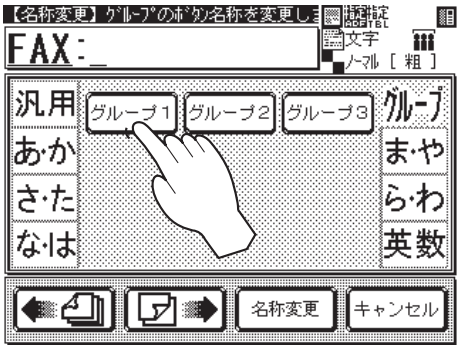

2 [修正／削除] ボタンを押します。



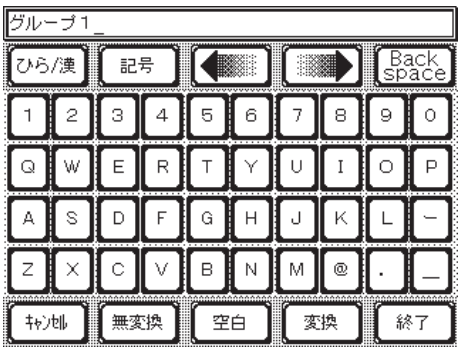

3 [名称変更] ボタンを押します。



**4** 名称変更するグループを選択します。

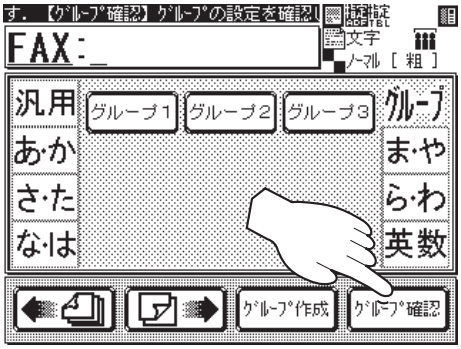



**5** グループ名を修正し、
[終了] ボタンを押すとグループ名称変更が反映されます。

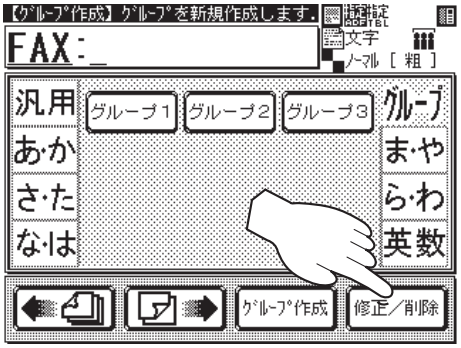



## ■グループを削除する

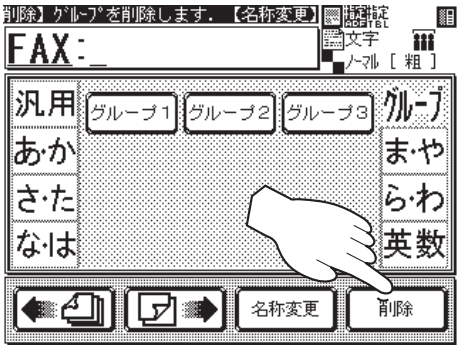
**1** アドレス帳－グループタブ画面にて、
[グループ確認] ボタンを押します。



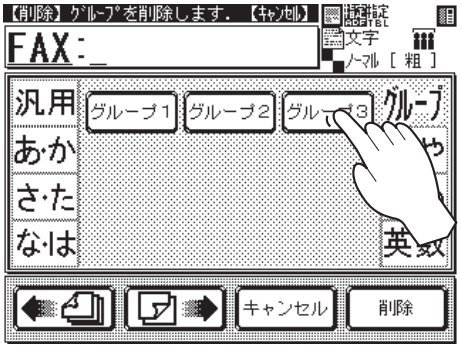

**2** [修正／削除] ボタンを押します。



**3** ［削除］ボタンを押します。

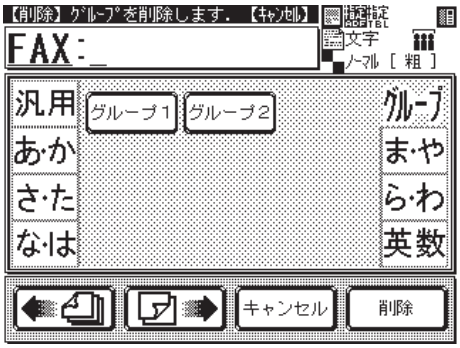



**4** 削除するグループを選択します。




**5** 削除確認画面が表示されますので、
［削除］ボタンを押します。

**6** 削除が反映されます。［キャンセル］ボタンを押して、アドレス帳画面に戻ります。

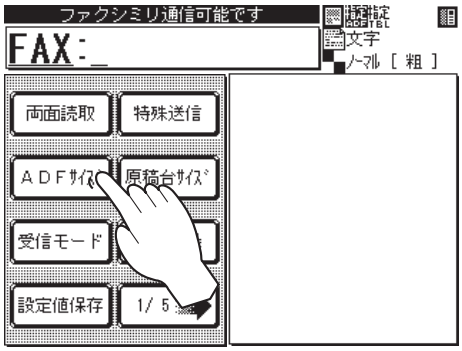


# 原稿サイズ

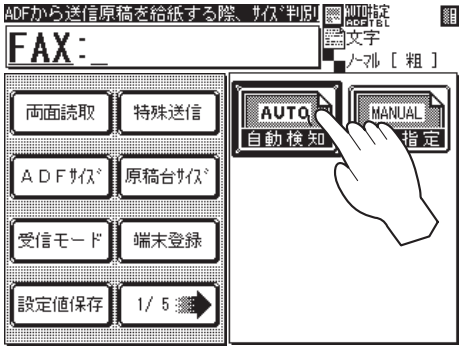
## ■ ADF サイズ

スキャナの ADF からスキャンする原稿の大きさを設定します。

**1** ファクス応用画面－１／５ページにて、[ADF サイズ] ボタンを押します。




**2** 原稿のサイズを選択します。

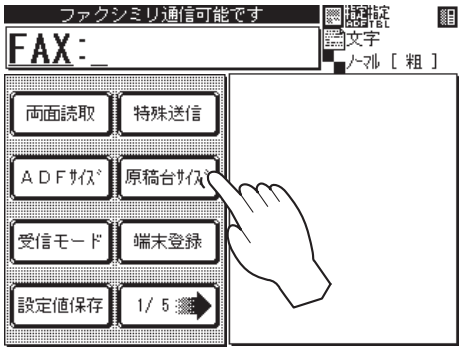



| ボタン | 説明 |
|---|---|
| AUTO 自動検知 | ADFにセットされた原稿サイズに、自動設定します。原稿サイズ自動検知機能付きのADFをご利用時に選択できます。 |
| MANUAL 手動指定 | 送信原稿の大きさを手動で設定します。ファクス送信時に スタート ボタンを押すと原稿サイズ設定画面になりますので、送信毎に設定してください。 |

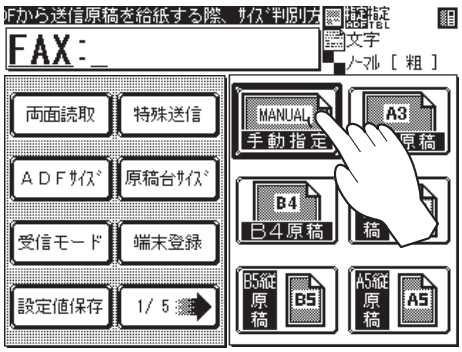
## ■原稿台サイズ

スキャナの原稿台からスキャンする原稿の大きさを設定します。

**1** ファクス応用画面－１／５ページにて、［原稿台サイズ］ボタンを押します。




**2** 原稿のサイズを選択します。



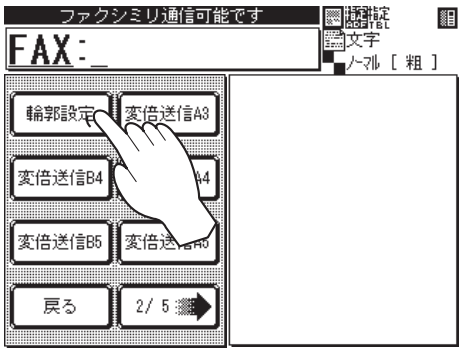

| ボタン | 説明 |
|---|---|
| AUTO 自動検知 | 原稿台にセットされた原稿サイズに、自動設定します。<br>原稿台での原稿サイズ検知対応スキャナをご利用時に選択できます。 |
| MANUAL 手動指定 | 送信原稿の大きさを手動で設定します。ファクス送信時に（スタート）ボタンを押すと原稿サイズ設定画面になりますので、送信毎に設定してください。 |
| A3 A3原稿　B4 B4原稿 | A3、B4原稿です。<br>A3、B4原稿の向きは横方向だけです。 |
| A4 A4横原稿　A5 A5横原稿　B5 B5横原稿 | A4、B5、A5の横原稿です。<br>続けて押すと、原稿の向きが変わります。 |
| A4縦原稿 A4　A5縦原稿 A5　B5縦原稿 B5 | A4、B5、A5の縦原稿です。<br>続けて押すと、原稿の向きが変わります。 |

メモ　原稿サイズ設定で表示されるボタンは、本機に接続されているスキャナの能力により異なります。

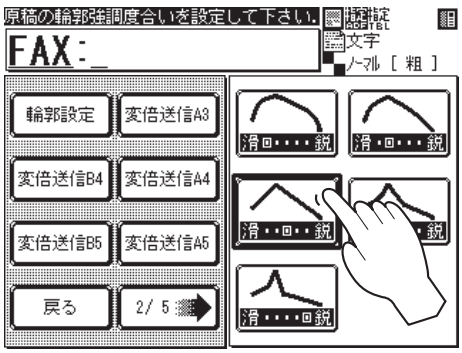
## 輪郭設定

原稿にあわせて、ファクス送信の輪郭を選択します。

**1** ファクス応用画面－２／５ページにて、［輪郭設定］ボタンを押します。




**2** 輪郭のレベルを選択します。

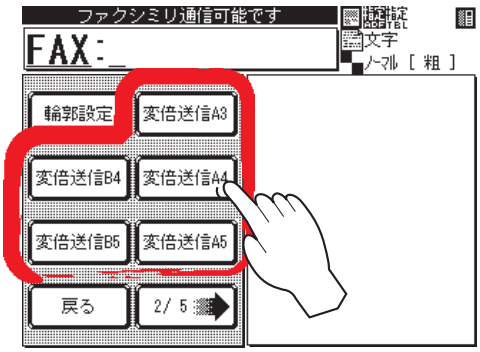



| ボタン | 説明 |
|---|---|
| 薄 濃 | スキャンした原稿の輪郭をソフトにして送信します。 |
| 薄 濃 | スキャンした原稿の輪郭をややソフトにして送信します。 |
| 薄 濃 | スキャンした原稿の輪郭のまま送信します。 |
| 薄 濃 | スキャンした原稿の輪郭をシャープにして送信します。 |
| 薄 濃 | スキャンした原稿の輪郭をややシャープにして送信します。 |

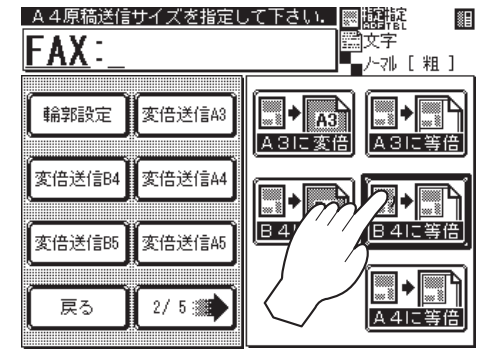
## 変倍送信

スキャンした原稿を定型サイズに縮小／拡大して送信することができます。

**1** ファクス応用画面－2／5ページにて、原稿サイズと同じ大きさの［変倍送信］ボタンを押します。




**2** 縮小／拡大後のサイズを選択します。




メモ

例）右の画面では、A4原稿をB4サイズの用紙へ等倍で貼り付けて、ファクス送信します。

| ボタン | 説明 |
|---|---|
| A3に変倍 B4に変倍 A4に変倍 | スキャンした原稿を、選択したサイズに縮小／拡大して送信します。 |
| A3に等倍 B4に等倍 A4に等倍 | スキャンした原稿を、そのまま選択したサイズの原稿に貼り付けて送信します。 |

メモ

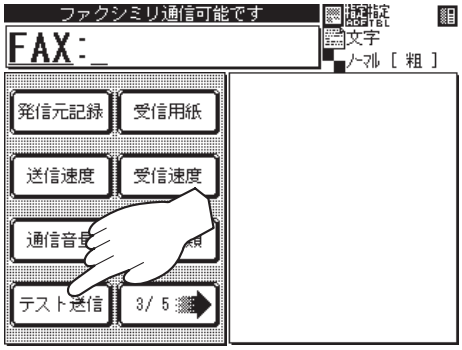
本機で送信できる原稿の横幅は、A3、B4、A4サイズです。また、送信する原稿サイズを指定しても、相手機の状態によっては異なるサイズで送信されます。

## テスト送信

ファクス送信するまえに、原稿がどのような画像で送信されるかを事前にテストすることができます。実際に送信される画像と同じ条件でプリンタから印刷されますので、「送信画質」「送信解像度」「送信濃度」「輪郭」による画像調節の効果や、「原稿サイズ」「変倍送信」による画像サイズを確認することができます。ただし、発信元情報は印刷されません。



**1** ファクス応用画面－3／5ページにて、[テスト送信] ボタンを押します。




**2** [送信] ボタンを押します。

送信ファクスと同じ条件でプリンタから印刷を開始します。

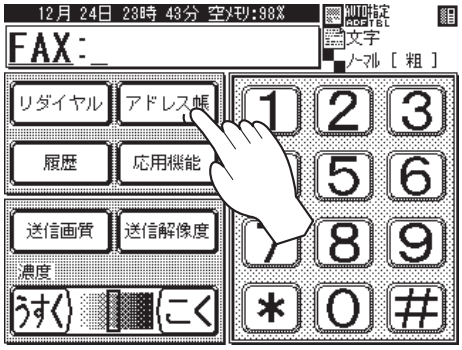
メモ

相手機の能力や状態によっては、テストモードと同等の画像が再現できないことがあります。

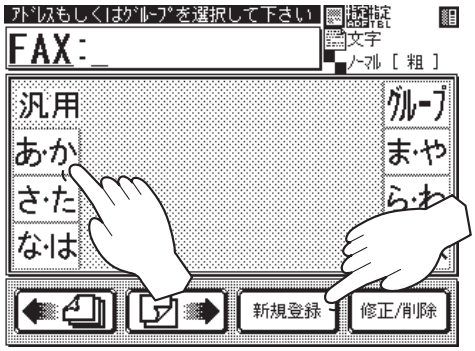
## アドレス帳の登録

アドレス帳に送信先を登録します。アドレス帳の最大登録件数は、896 件（1 タブ 128 件）です。

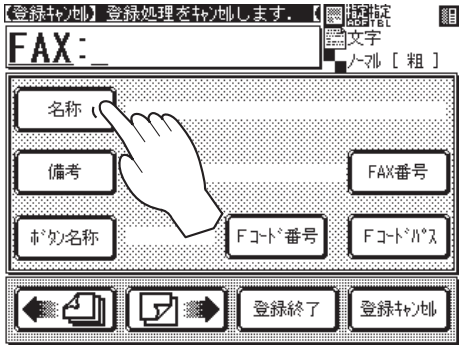
**1** ファクス基本画面にて、
［アドレス帳］ボタンを押します。




**2** 送信先を登録するタブを選択し、
［新規登録］ボタンを押します。



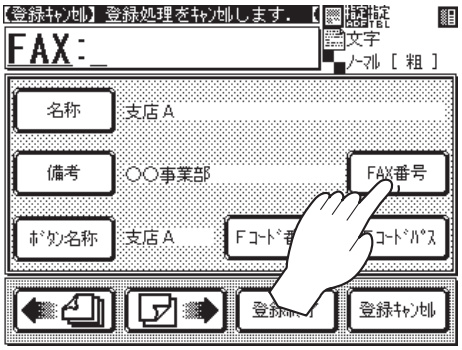

**3** ［名称］、［備考］ボタンをそれぞれ押し、ソフトウェアキーボードで入力を行ないます。




メモ

「名称」を入力すると、「ボタン名称」が自動的に入力されます。「ボタン名称」を変更する場合は［ボタン名称］ボタンを押します。

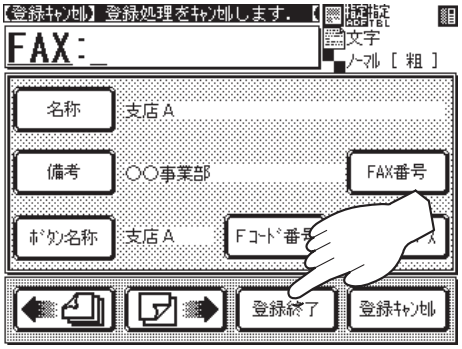
**4** [FAX番号] と必要に応じて [Fコード番号]、[Fコードパス] ボタンをそれぞれ押し、テンキーで入力を行ないます。




**5** [登録終了] ボタンを押します。

メモ

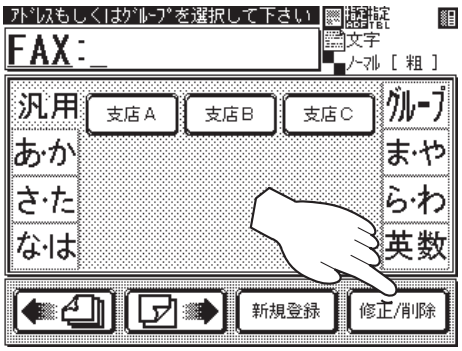
[登録キャンセル] ボタンを押すと、アドレス帳への登録を行ないません。



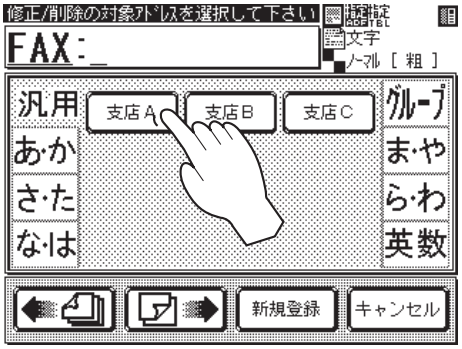

## アドレス帳の修正／削除

アドレス帳を修正／削除します。

**1** アドレス帳画面にて、[修正／削除] ボタンを押します。




**2** 修正／削除を行なうボタンを選択します。



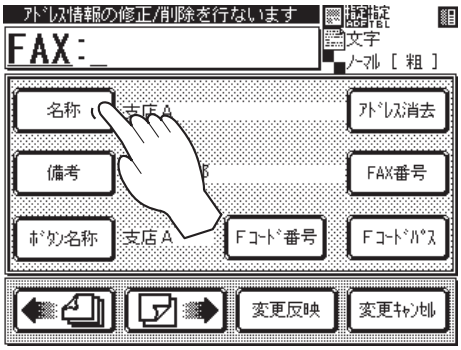
**3** ◆アドレス帳修正

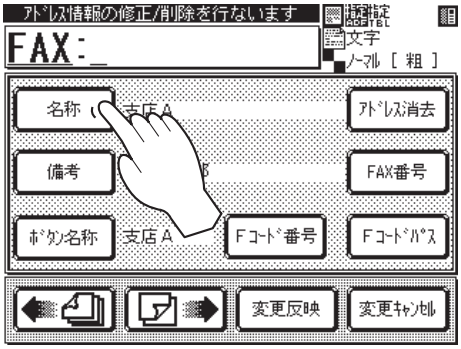
修正する項目のボタンを押し、ソフトウェアキーボード、またはテンキーで修正します。

◆アドレス帳削除

[アドレス消去] ボタンを押してデータをクリアします。

**4** [変更反映] ボタンを押します。

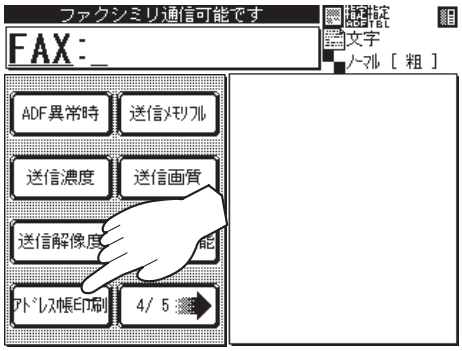



## アドレス帳の印刷

本機に登録されているアドレス帳のリストを印刷します。

**1** ファクス応用画面－4／5ページにて、[アドレス帳印刷] ボタンを押します。




メモ

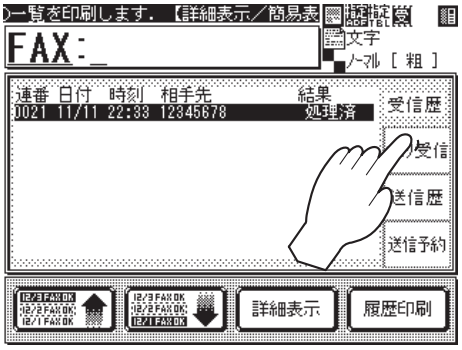
アドレス帳印刷は、A4 用紙に印刷します。

## ファクス履歴の確認

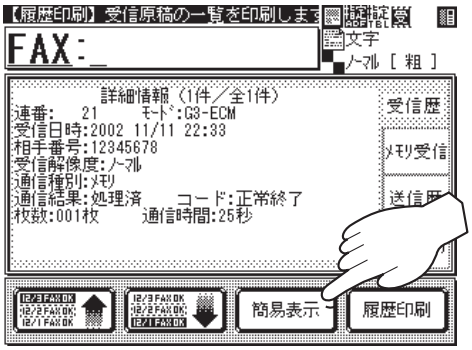
ファクスの送受信履歴の確認や、メモリ受信の印刷、送信予約の解除、履歴リストの印刷を行ないます。

**1** ファクス基本画面にて、［履歴］ボタンを押します。

**2** タブを押して履歴表示を切り替えます。



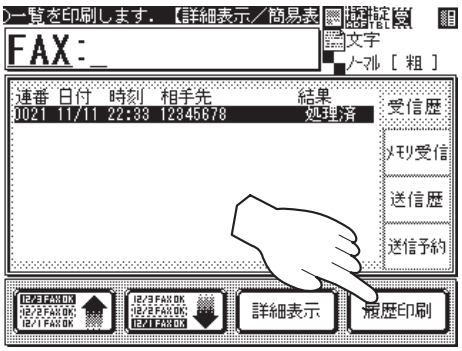

**3** ［詳細表示］ボタンを押すと、詳細画面になります。
また、詳細画面の［簡易表示］ボタンを押すと、簡易画面に戻ります。




| タブ | 説明 |
|---|---|
| 受信歴 | ファクスの受信歴を表示します。 |
| メモリ受信 | メモリ受信したファクスを取り出すことができます。<br>また、正常終了したファクスの内、最新の3件と印刷エラーとなった受信ファクスを［メモリ印刷］ボタンから印刷することができます。 |
| 送信歴 | ファクスの送信歴を表示します。 |
| 送信予約 | タイマ送信の予約状況の確認と、解除を行ないます。 |

## ■送信／受信履歴を印刷する

**1** ファクス履歴画面－受信／送信歴タブにて、[履歴印刷] ボタンを押します。




メモ

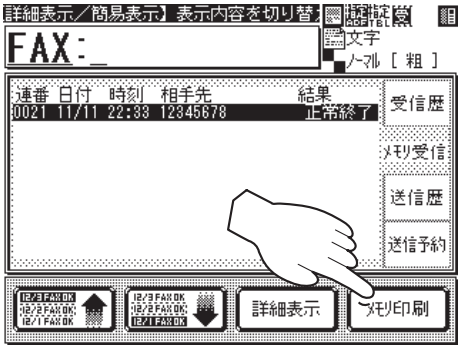
送受信履歴印刷は、85件溜まると自動履歴印刷します。自動履歴印刷した履歴は、送信／受信履歴から削除します。

## ■メモリ受信を印刷する

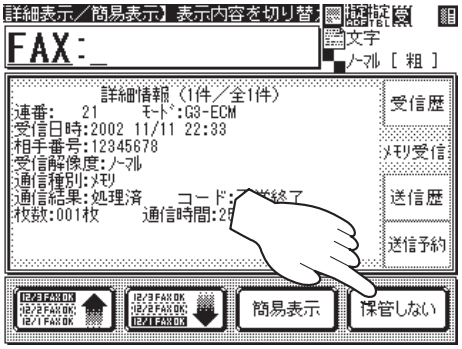
メモリ印刷は、メモリ受信したファクスの印刷を行ないます。

**1** ファクス履歴画面－メモリ受信タブにて、[メモリ印刷] ボタンを押します。

<メモリ受信タブの簡易表示>




<メモリ受信タブの詳細表示>




メモ

メモリ受信には、印刷済のファクスが3件保存されています。この3件についても同様に「メモリ印刷」ができます。
メモリ受信したファクスを消去する場合は、詳細表示画面の［保管しない］を押して消去します。

## ■履歴を初期化する

**1** 環境画面―2／3ページ―設定初期化の［FAX全履歴初期化］ボタンより行ないます。

## ■履歴印刷サンプル

**連番**
ファクス送受信履歴の管理番号です。

**相手先 FAX 番号**
通信先のファクス番号です。

**解像度**
通信時の解像度です。

**通信モード**

**コード**
通信結果のコードです。

●受信履歴印刷

＊＊　ＦＩＴＣＯＰＹ５００　受信履歴印刷　＊＊　　２００３年　１月　７日　　９時　１分　　１ページ

| 連番 | 受信日時 | 相手先ＦＡＸ番号 | 通信モード | 解像度 | 枚数 | 通信速度 | 通信時間 | 結果 | コード |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 00005 | 1/ 7　08:37 | 0667843750 | G3-NORMAL | U.ファイン | 1 | 14400 | 40s | 通信ミス | 通信異常B |

●メモリ受信履歴印刷

＊＊　ＦＩＴＣＯＰＹ５００　メモリ受信履歴印刷　＊＊　　２００３年　１月　７日　　９時　２分　　１ページ

| 連番 | 受信日時 | 相手先ＦＡＸ番号 | 通信モード | 解像度 | 枚数 | 通信速度 | 通信時間 | 結果 | コード |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 00003 | 1/ 7　07:48 | 0334555343 | G3-ECM | ファイン | 2 | 14400 | 150s | 印刷済 | 正常終了 |

●送信履歴印刷

＊＊　ＦＩＴＣＯＰＹ５００　送信履歴印刷　＊＊　　２００３年　１月　７日　　９時　３分　　１ページ

| 連番 | 送信日時 | 相手先ＦＡＸ番号 | 通信モード | 解像度 | 枚数 | 通信速度 | 通信時間 | 結果 | コード |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 00002 | 1/ 7　07:21 | 0667843750 | G3-ECM | S.ファイン | 1 | 12000 | 40s | 正常終了 | －－－－－－ |

●送信予約履歴印刷

**画質**
通信時の画質です。

＊＊　ＦＩＴＣＯＰＹ５００　送信予約履歴印刷　＊＊　　２００３年　１月　６日　　２１時１０分　　１ページ

| 連番 | 予約受付日時 | 送信予定日時 | 相手先ＦＡＸ番号 | 通信モード | 解像度 | 画質 | 枚数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 00001 | 1/ 6　21:03 | 1/ 7　07:00 | 0667303767 | G3-NORMAL | S.ファイン | 文字 | 1枚 |

●送受信履歴印刷（自動履歴印刷）

＊＊　ＦＩＴＣＯＰＹ５００　送受信履歴印刷　＊＊　　２００３年　１月　７日　　９時　５分　　１ページ

| 連番 | 通信日時 | 区分 | 相手先ＦＡＸ番号 | 通信モード | 解像度 | 枚数 | 通信時間 | 結果 | コード |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 00001 | 1/ 7　07:00 | 送T | 0667303767 | G3-NORMAL | ノーマル | 1枚 | 40秒 | 正常終了 | －－－－－－ |
| 00002 | 1/ 7　07:21 | 送信 | 0667843750 | G3-ECM | S.ファイン | 1枚 | 40秒 | 正常終了 | －－－－－－ |
| 00003 | 1/ 7　07:48 | 受M | 0334555343 | G3-ECM | ファイン | 2枚 | 150秒 | 印刷済 | 正常終了 |
| 00004 | 1/ 7　08:15 | 送信 | 0334552886 | G3-NORMAL | U.ファイン | 1枚 | 234秒 | 正常終了 | －－－－－－ |
| 00005 | 1/ 7　08:37 | 受信 | 0667843750 | G3-NORMAL | U.ファイン | 1枚 | 40秒 | 通信ミス | 通信異常B |

**通信日時**
通信日時です。

**区分**
通信区分です。
送信：通常送信
受信：通常受信
送Ｔ：タイマ送信
受Ｍ：メモリ受信

**枚数**
通信した枚数です。

**通信時間**

**結果**
通信結果です。

# 5章

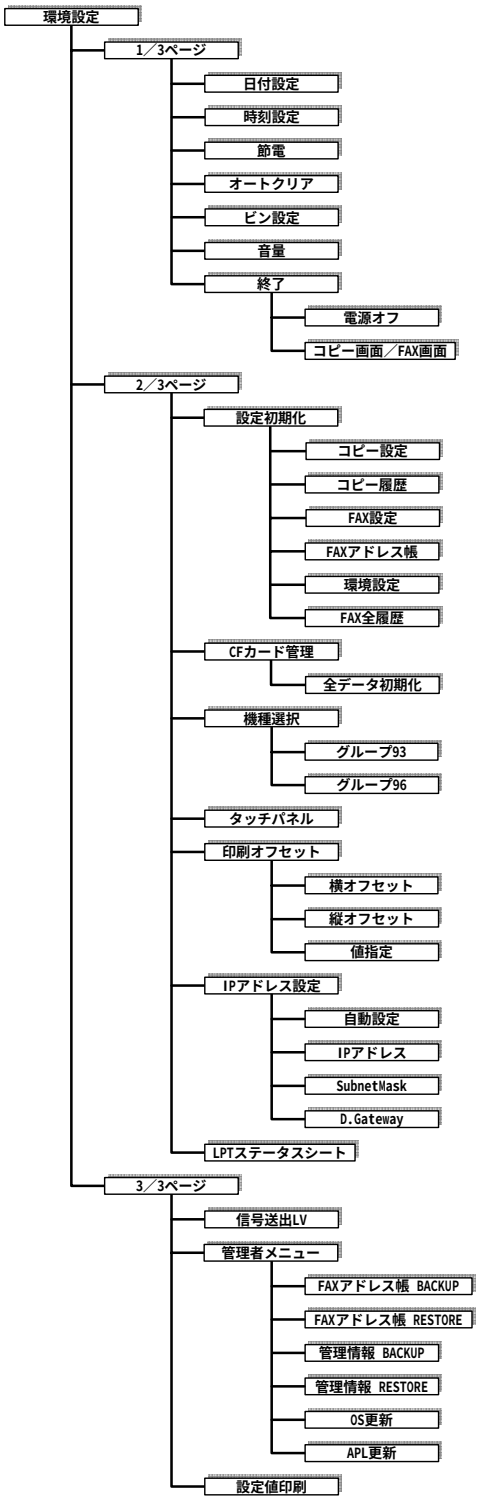
# 運用管理

■目次


環境設定 ..... 5-2
環境設定とは ..... 5-2
■環境設定画面 ..... 5-3
日付設定 ..... 5-4
時刻設定 ..... 5-4
節電設定 ..... 5-5
オートクリア設定 ..... 5-6
排紙位置設定 ..... 5-7
音量設定 ..... 5-8
設定初期化 ..... 5-9
CFカード管理 ..... 5-10
機種選択 ..... 5-11
タッチパネルの再調整 ..... 5-12
印刷オフセット設定 ..... 5-13
IPアドレス設定 ..... 5-14
■自動設定 ..... 5-14
■手動設定 ..... 5-15
LPTステータスシート ..... 5-17
信号送出LV ..... 5-18
管理者メニュー ..... 5-19
設定内容バックアップ ..... 5-19
設定内容リストア ..... 5-20
ファームウェアの
バージョンアップについて ..... 5-22
■バージョンの確認 ..... 5-22
■バージョンアップ用
CFカードの作成 ..... 5-22
■バージョンアップ ..... 5-23

## 環境設定とは

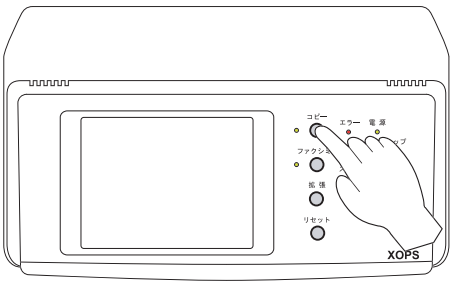
環境設定は、本機の各種設定を行なうためのモードです。



## ■環境設定画面

環境設定画面へは、以下の操作で入ることができます。

**1** コピーモード中に[コピー]ボタンを押します。

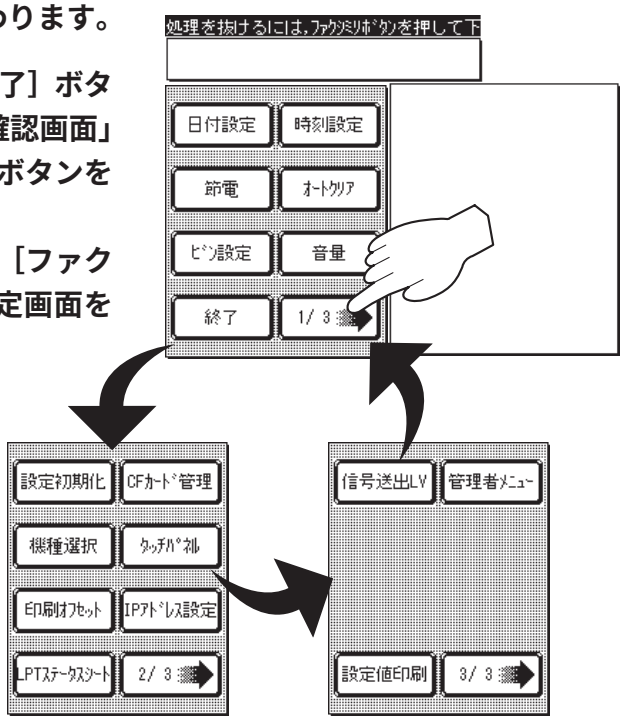



メモ

ファクスモード中に［ファクシミリ］ボタを押しても、環境設定画面に入ることができます。

**2** 環境設定画面が表示されます。
［1／3→］ボタンを押すごとに、
「2／3→」、「3／3→」と切り替わります。

環境設定画面を抜ける場合は、［終了］ボタン押下後に表示される「電源遮断確認画面」にて［コピー画面］／［FAX画面］ボタンを押してください。
また、操作パネル上の［コピー］／［ファクシミリ］ボタンを押しても環境設定画面を抜けることができます。




次のページからの
環境設定へ進んでください。

## 日付設定

本機の日付を設定します。

「製品導入時の設定」－「日付設定」→ 2-20 を参照してください。

## 時刻設定

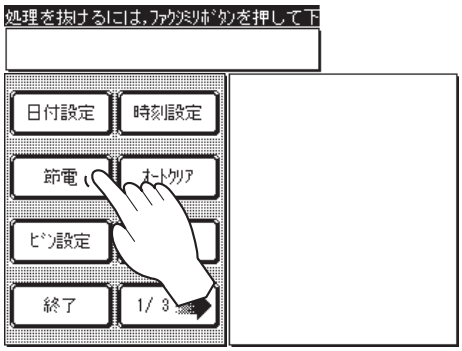
本機の時刻を設定します。

「製品導入時の設定」－「時刻設定」→ 2-21 を参照してください。

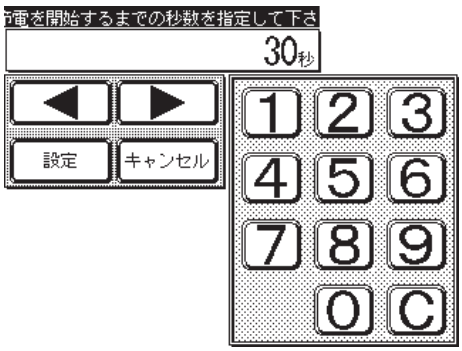
## 節電設定

本機は、一定時間操作を行なわなかった場合に、タッチパネルディスプレイの表示をオフにすることができます。ここでは、節電モードに入るまでの時間設定を行ないます。

**1** 環境設定画面－1／3ページにて、［節電］ボタンを押します。




**2** テンキーで時間を入力してから、［設定］ボタンを押します。
環境設定画面に戻ります。




メモ

［C］ボタンを押すと初期値にリセットします。
節電時間は10～999秒の範囲で入力してください。節電機能をオフにする場合は、0秒を設定してください。
入力した値が不正な場合は、入力が受け付けられません。

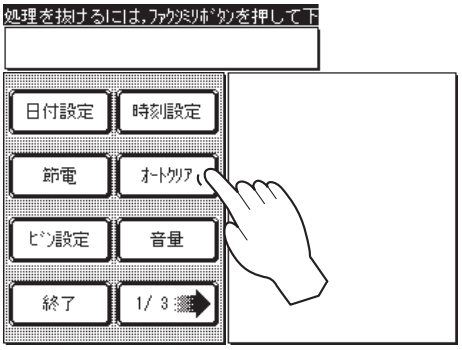
ポイント

節電状態を解除するには、タッチパネルディスプレイ／操作パネル上のいずれかのボタンを押してください。

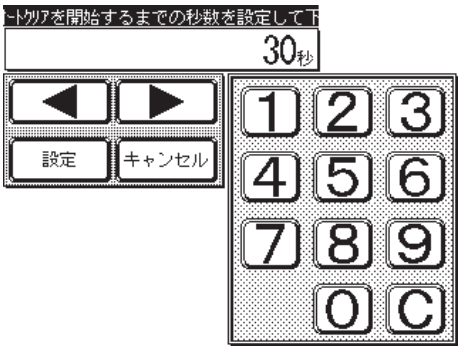
## オートクリア設定

本機は、一定時間操作を行なわなかった場合に、設定値保存した状態にリセットします。ここでは、オートクリアするまでの時間設定を行ないます。

**1** 環境設定画面－1／3ページにて、
［オートクリア］ボタンを押します。




**2** テンキーで時間を入力してから、[設定] ボタンを押します。
環境設定画面に戻ります。



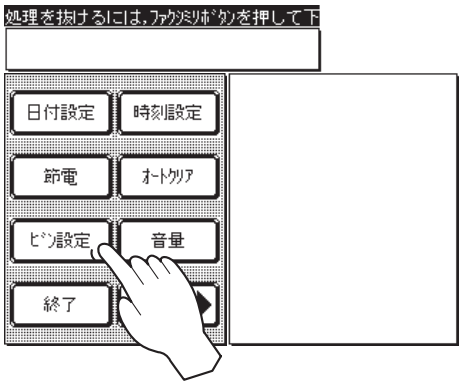

メモ

[C] ボタンを押すと初期値にリセットします。
オートクリア時間は10～999秒の範囲で入力してください。オートクリア機能をオフにする場合は、0秒を設定してください。
入力した値が不正な場合は、入力が受け付けられません。

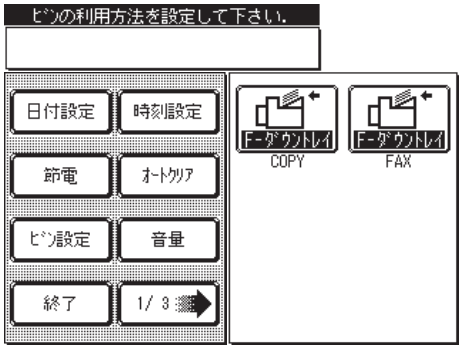
# 排紙位置設定

ファクスの排紙位置を指定することができます。

**1** 環境設定画面－1／3ページにて、［ビン設定］ボタンを押します。




**2** ［F-ダウントレイ］ボタンを押して、COPY／FAX それぞれの排紙位置を設定します。




メモ

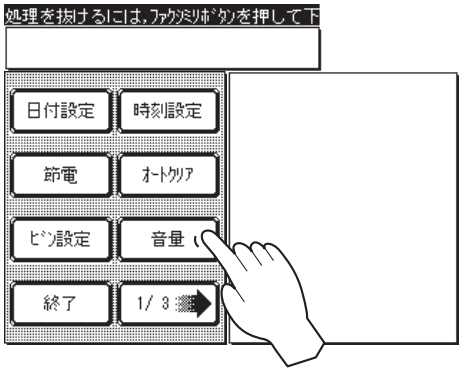
ご利用のプリンタの能力により、選択できる排出位置が異なります。

| ボタン | 説明 |
|---|---|
| | フェイスダウントレイから排出します。 |
| | フェイスアップトレイから排出します。 |
| | 指定番号のビンから排紙します。 |

## 音量設定

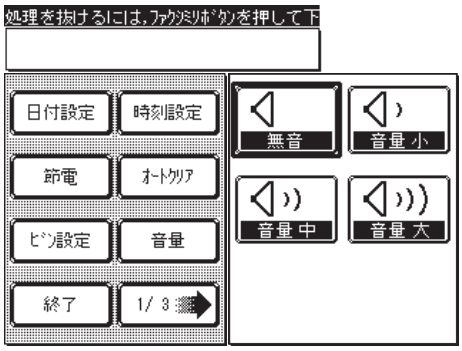
本機のタッチパネル操作時のビープ音量を設定します。

**1** 環境設定画面－1／3ページにて、［音量］ボタンを押します。




**2** 音量を選択します。

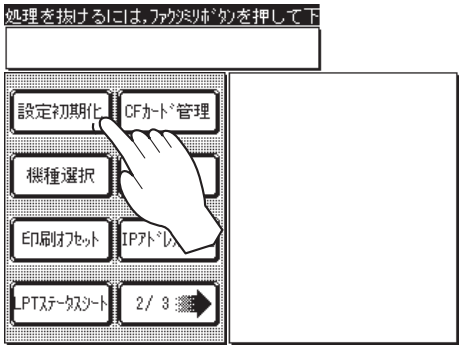
| ボタン | 説明 |
|---|---|
| 無音 | 音が出ません。 |
| 音量 小 | 小さい音が出ます。 |
| 音量 中 | 中の音が出ます。 |
| 音量 大 | 大きな音が出ます。 |



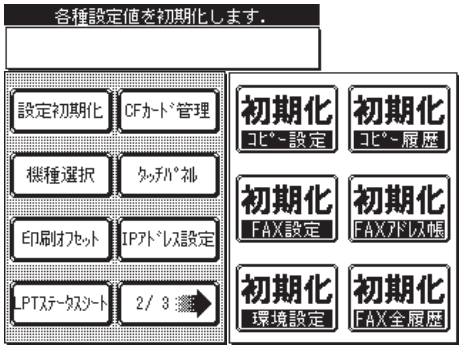
# 設定初期化

本機に登録されている各機能の設定値を初期化します。

**1** 環境設定画面－2／3ページにて、［設定初期化］ボタンを押します。




**2** 初期化する機能のボタンを押します。




**3** 初期化確認メッセージが表示されます。初期化を行なう場合は、［初期化］ボタンを押してください。

例）コピー設定初期化

注意

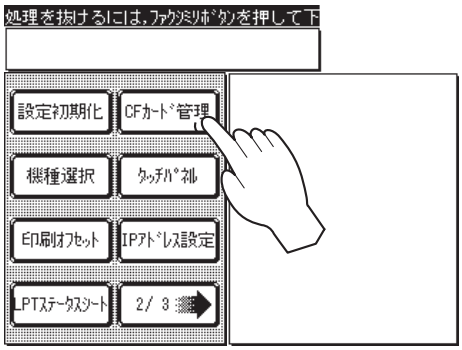
一度初期化を行なうと、設定を復元することはできません。

| ボタン | 説明 | ボタン | 説明 |
|---|---|---|---|
| 初期化 コピー設定 | コピーモードの各種設定を初期化します。 | 初期化 FAXアドレス帳 | ファクスのアドレス帳とグループ登録を初期化します。 |
| 初期化 コピー履歴 | コピーの履歴を消去します。 | 初期化 環境設定 | 環境設定を初期化します。 |
| 初期化 FAX設定 | ファクスモードの各種設定を初期化します。 | 初期化 FAX全履歴 | ファクスの全履歴を消去します。 |

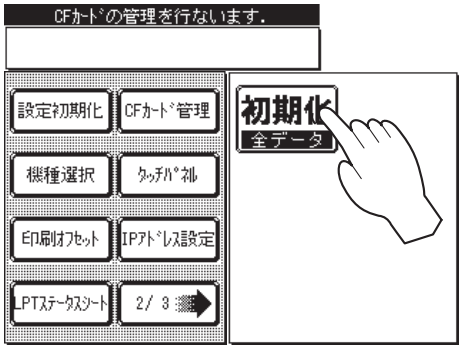
## CF カード管理

CF カードの初期化を行ないます。CF カードには、送信予約ファクス、メモリ受信ファクス、本機の各種ログ、本体設定値バックアップデータが保存されています。CF カードを初期化することにより、CF カードの空き容量が増えます。

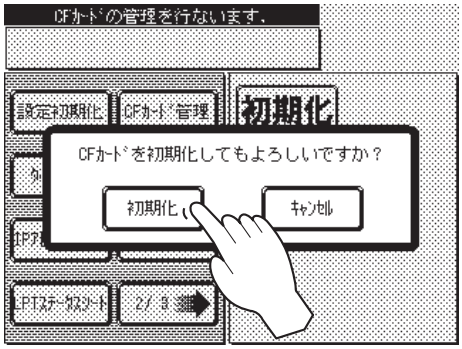
**1** 環境設定画面－2／3 ページにて、
［CF カード管理］ボタンを押します。




**2** ［全データ初期化］ボタンを押します。




**3** 初期化確認メッセージが表示されます。
初期化を行なう場合は、［初期化］ボタンを押してください。



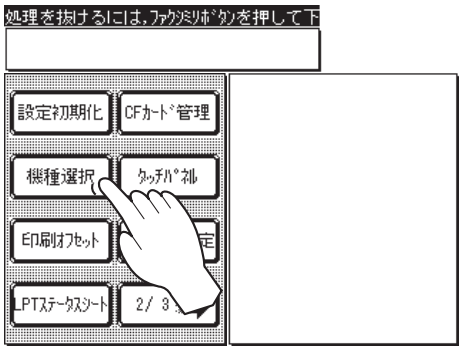

注意

一度初期化を行なうと、CFカード内のデータを復元することはできません。

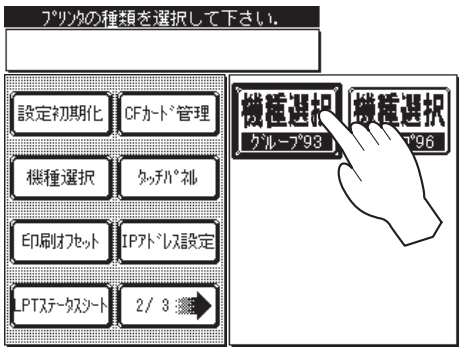
## 機種選択

ご利用のプリンタ機種のグループを設定します。プリンタの機種により印字状態が異なりますので、お好みで選択してください。

**1** 環境設定画面－2／3ページにて、
［機種選択］ボタンを押します。



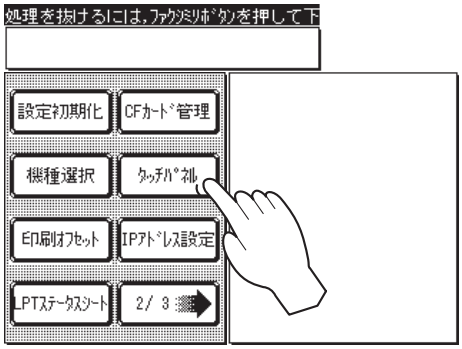

**2** 機種を選択します。



## タッチパネルの再調整

本機のタッチパネル補正の調整を行ないます。

**1** 環境設定画面－2／3ページにて、［タッチパネル］ボタンを押します。




**2** 初期化確認メッセージが表示されます。初期化を行なう場合は、［初期化］ボタンを押してください。

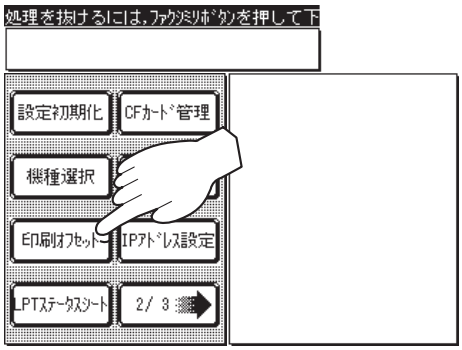
**3** 次回電源投入時に、タッチパネル調整画面が表示されますので、タッチパネルの調整を行なってください。

参照 「製品導入時の設定」－「タッチパネルの調整」→2-15を参照してください。

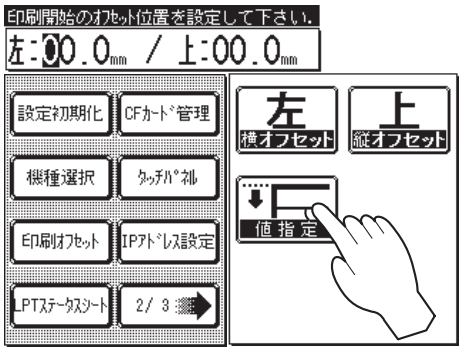
# 印刷オフセット設定

プリンタのオフセット（印刷位置）の調整を行ないます。

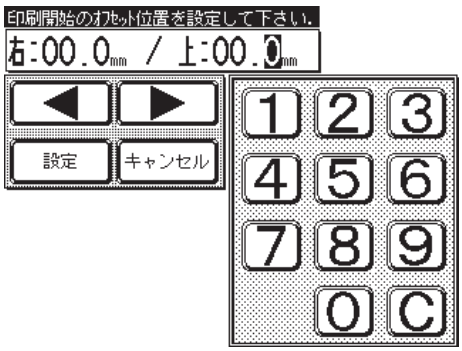
**1** 環境設定画面－2／3ページにて、
［印刷オフセット］ボタンを押します。




**2** ［横オフセット］／［縦オフセット］ボタンを押して、「左」「右」または「上」「下」のどちらにオフセットを設定するかを選択し、［値指定］ボタンを押します。



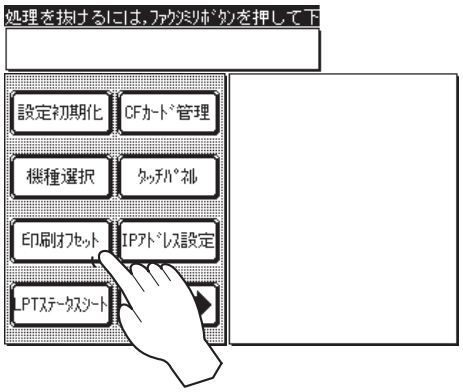

**3** テンキーでオフセット値を入力し、
［設定］ボタンを押します。



# IPアドレス設定

本機のIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイアドレスを設定します。IPアドレスは、本機をネットワーク経由でバージョンアップする場合に使用します。

**1** 環境設定画面－2／3ページにて、［IPアドレス設定］ボタンを押します。



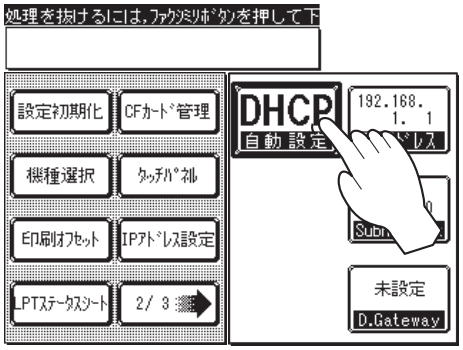

設定方法に応じて、以下の設定に進んでください。

■自動設定　→5-14ページ
■手動設定　→次ページ

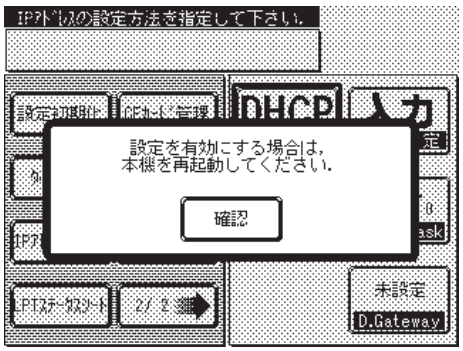
## ■自動設定

DHCPサーバから割り当てられたIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイアドレスを本機に自動的に設定します。

**1** ［自動設定］ボタンを押します。




**2** ［確認］ボタンを押してください。
DHCPによる自動設定は、再起動時に行ないます。

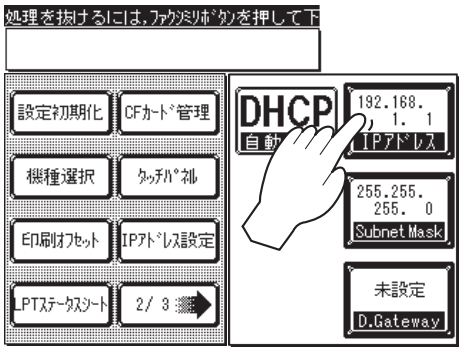


## ■手動設定

IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイアドレスを手動で設定します。

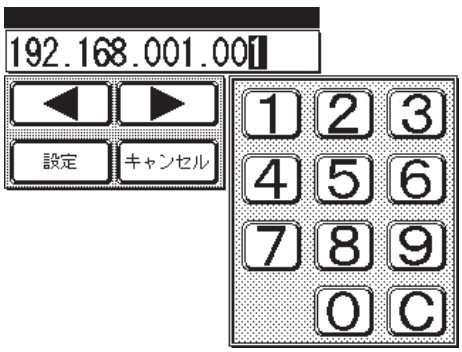
### ◆ IP アドレス設定

**1** [IP アドレス]ボタンを押します。



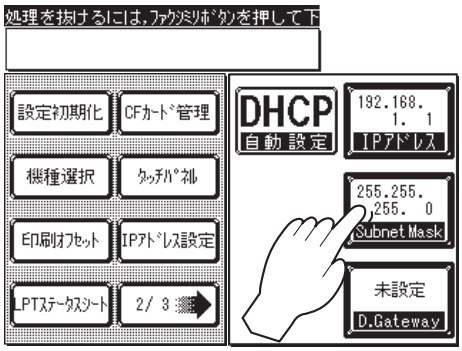

**2** テンキーで IP アドレスを入力して、[設定] ボタンを押します。

| 名称 | 工場出荷時の初期値 |
|---|---|
| 本体IPアドレス | 192.168.1.1 |
| サブネットマスク | 255.255.255.0 |

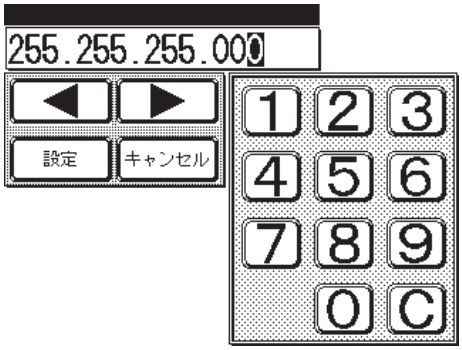



### ◆サブネットマスク設定

**3** [SubnetMask]ボタンを押します。



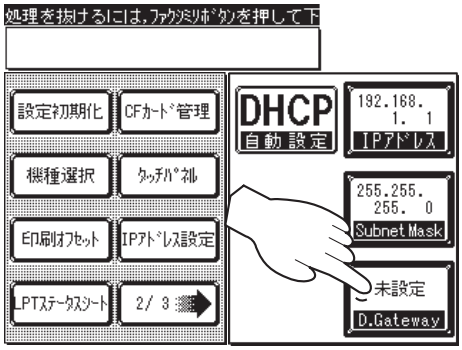
**4** テンキーでサブネットマスクを入力して、[設定] ボタンを押します。



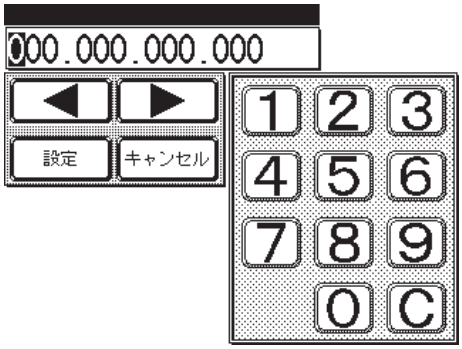



## ◆デフォルトゲートウェイアドレス設定

**5** [D.Gateway]ボタンを押します。




**6** テンキーでデフォルトゲートウェイアドレスを入力して、[設定] ボタンを押します。

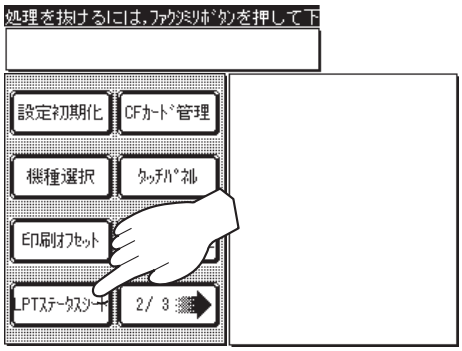



補足 アドレスは3桁で入力してください。値が不正な場合は、入力が受け付けられません。
例： (可)192.168.001.011

## LPT ステータスシート

プリンタのステータスシートを本機から印刷することができます。

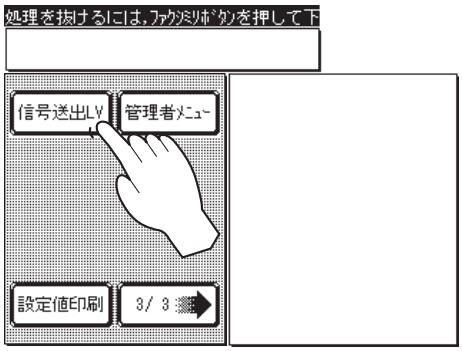
**1** 環境設定画面－2／3 ページにて、
[LPT ステータスシート]ボタンを押します。



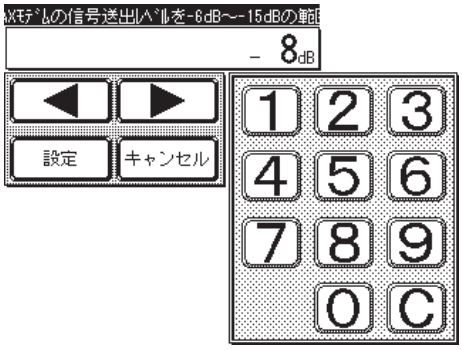
# 信号送出 LV

本機に内蔵されているファクスモデムの信号の大きさを設定します。

**1** 環境設定画面－3／3ページにて、[信号送出 LV]ボタンを押します。




**2** テンキーで信号の大きさを入力して、[設定] ボタンを押します。



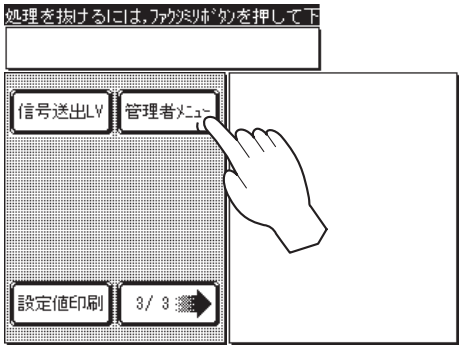

メモ

[C] ボタンを押すと初期値にリセットします。
信号送出 LV は -6～-15dB の範囲で入力できますが、通常、変更の必要はありません。
入力した値が不正な場合は、入力が受け付けられません。

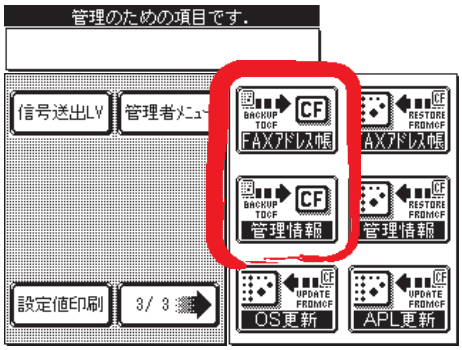
## 設定内容バックアップ

本機に設定されている、FAXアドレス帳、環境設定情報をCFカードに保存し、バックアップを行なうことができます。

**1** 環境設定画面－3／3ページにて、
［管理者メニュー］ボタンを押します。




**2** バックアップを行なう項目を選択します。




| ボタン | 作成されるファイル | 説明 |
|---|---|---|
| BACKUP TOCF CF FAXｱﾄﾞﾚｽ帳 | fcpy_adr.dat<br>fcpy_grp.dat | ファクスのアドレス帳、グループデータをバックアップします。 |
| BACKUP TOCF CF 管理情報 | fcpyopti.dat<br>fcpycpy.dat<br>fcpyfax.dat | 環境設定情報をバックアップします。 |

メモ

バックアップで作成されたファイルをパソコンに保存することで、2重にバックアップを行なうことが出来ます。バックアップファイルをパソコンで直接編集することはできません。

**3** バックアップが完了しました。
［確認］ボタンを押してください。

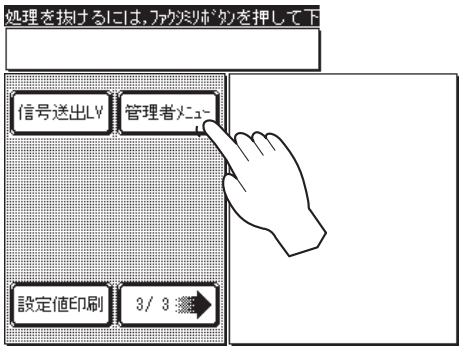
メモ

バックアップデータがすでにＣＦカードに存在する場合は、上書きを確認する画面になります。
上書きする場合は、[確認] ボタンを押してください。

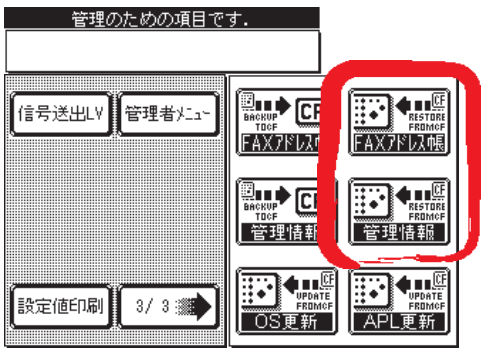
## 設定内容リストア

CF カードにバックアップしてある各種設定を本機に戻します。

**1** 環境設定画面－３／３ページにて、
［管理者メニュー］ボタンを押します。




**2** リストアを行なう項目を選択します。




| ボタン | リストア元のファイル | 説明 |
|---|---|---|
| FAXｱﾄﾞﾚｽ帳 | fcpy_adr.dat<br>fcpy_grp.dat | ファクスのアドレス帳、グループデータをリストアします。 |
| 管理情報 | fcpyopti.dat<br>fcpycpy.dat<br>fcpyfax.dat | 環境設定情報をリストアします。 |

**3** ［確認］ボタンを押してください。

**4** リストアが完了しました。
バックアップファイルを削除する場合は、
［確認］ボタンを押してください。
バックアップファイルを残しておく場合は、
［スキップ］ボタンを押してください。

メモ

リストアした設定値（環境設定を除く）を本機に設定保存するには、各機能の応用機能画面で「設定値保存」を行なう必要があります。

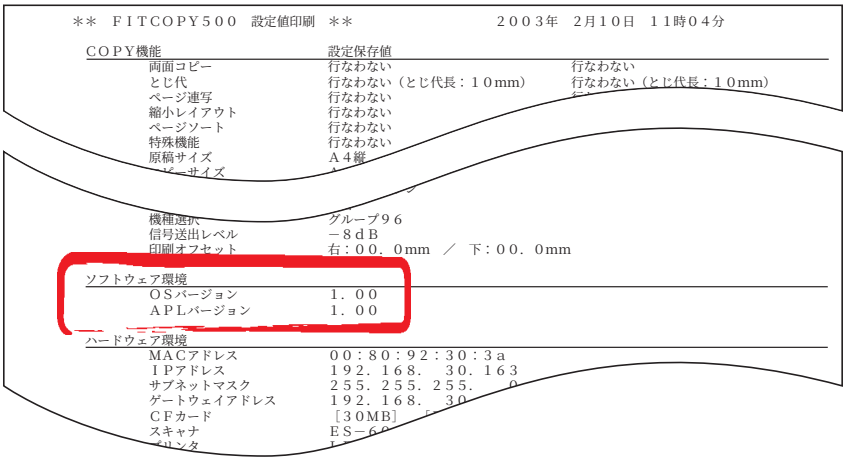
- ●コピー機能　「設定値保存」→ 3-13 ページ
- ●ファクス機能 「設定値保存」→ 4-27 ページ

# ファームウェアのバージョンアップについて

CF カードによる本機のファームウェアのバージョンアップを行ないます。最新のファームウェアは、弊社ホームページ（www.silex.jp）にて随時公開しております。ファームウェアのバージョン確認方法については、次の「バージョンの確認」をご覧ください。

## ■バージョンの確認

ファームウェアのバージョンは、設定値印刷の後方に印刷されます。設定値印刷は、コピー／ファクスモードの応用機能画面、または環境設定画面にある［設定値印刷］ボタンを押して行ないます。



＊＊　ＦＩＴＣＯＰＹ５００　設定値印刷　＊＊　　２００３年　２月１０日　１１時０４分

| | | |
|---|---|---|
| ＣＯＰＹ機能 | 設定保存値 | |
| 両面コピー | 行なわない | 行なわない |
| とじ代 | 行なわない（とじ代長：１０mm） | 行なわない（とじ代長：１０mm） |
| ページ連写 | 行なわない | |
| 縮小レイアウト | 行なわない | |
| ページソート | 行なわない | |
| 特殊機能 | 行なわない | |
| 原稿サイズ | Ａ４縦 | |
| [illegible]サイズ | [illegible] | |
| 機種選択 | グループ９６ | |
| 信号送出レベル | －８ｄＢ | |
| 印刷オフセット | 右：００．０mm　／　下：００．０mm | |
| ソフトウェア環境 | | |
| ＯＳバージョン | １．００ | |
| ＡＰＬバージョン | １．００ | |
| ハードウェア環境 | | |
| ＭＡＣアドレス | ００：８０：９２：３０：３ａ | |
| ＩＰアドレス | １９２．１６８．　３０．１６３ | |
| サブネットマスク | ２５５．２５５．２５５．　０ | |
| ゲートウェイアドレス | １９２．１６８．　３０．　１ | |
| ＣＦカード | ［３０ＭＢ］ | |
| スキャナ | ＥＳ－６０[illegible] | |
| プリンタ | [illegible] | |

## ■バージョンアップ用 CF カードの作成

入手したバージョンアップ用ファームウェアを、本機に装着されている CF カード、または別途ご用意頂いた CF カードのルートにコピーしてください。

| ファイル名 | プログラム名 | 説明 |
|---|---|---|
| osdata.bin | OSバージョンアッププログラム | OSのバージョンアップで使用します。 |
| mpsfxcf.exe | APLバージョンアッププログラム | APLのバージョンアップで使用します。 |

CF カードに、バージョンアップ用ファームウェアの準備ができましたら、次のページに進んでください。

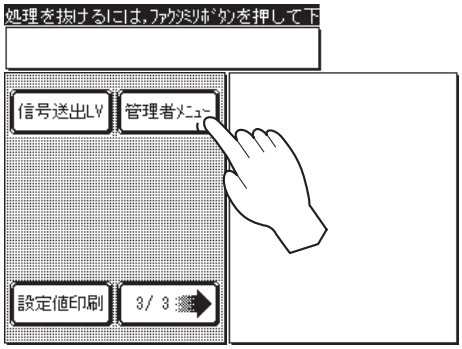
## ■バージョンアップ

**1** 本機の電源がオフの状態で、バージョンアップ用ファームウェアの入ったCFカードを本機に装着します。

**2** 本機の電源をオンにします。

**3** 本機の起動が完了しましたら、環境設定画面―3／3ページに入ります。

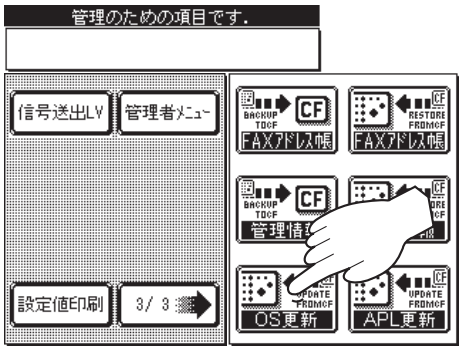
**4** ［管理者メニュー］ボタンを押します。




**5** ［OS更新］ボタンを押します。

注意

必ず［OS更新］ボタンを押してください。OSの更新前に［APL更新］ボタンを押すと、本機が起動出来なくなることがあります。

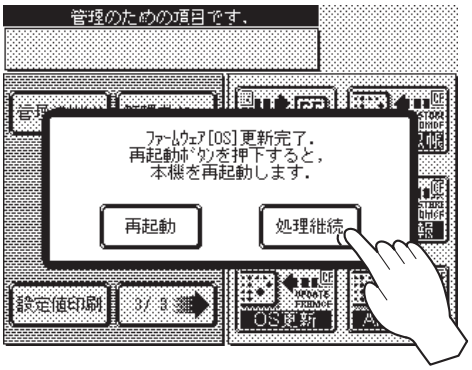



**6** ［更新］ボタンを押すと、OSの更新を開始します。

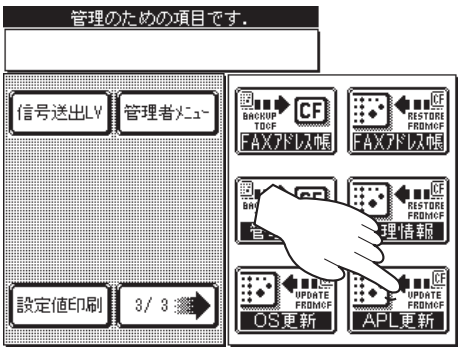
注意

OS更新中に、本機の電源をオフにしないでください。

**7** OS の更新が完了しました。
［処理継続］ボタンを押してください。




**8** ［APL 更新］ボタンを押します。




**9** ［更新］ボタンを押すと、
APL の更新を開始します。

注意

APL更新中に、本機の電源をオフにしないでください。

**10** APL の更新が完了しました。
［再起動］ボタンを押して、本機を再起動させてください。

これでファームウェアのバージョンアップは終了です。
バージョンアップで使用した CF カードからファームウェアを削除して、
CF カードの空き容量を増やしてください。

# 6章

# 困ったときは

■目次


エラーメッセージ ..... 6-2
エラー発生について ..... 6-2
エラーメッセージ一覧 ..... 6-2
■共通編 ..... 6-2
■CF カード編 ..... 6-3
■スキャナ編 ..... 6-4
■プリンタ編 ..... 6-5
■コピー編 ..... 6-7
■ファクス編 ..... 6-7
スキャナの ADF で原稿が詰まったときは 6-8
■排紙口で詰まった場合 ..... 6-9
プリンタが正常に給紙／
排紙しないときは ..... 6-10
■用紙が詰まる／
給排紙されない ..... 6-10
■紙を二重送りしてしまう .... 6-10
プリント品質上のトラブル ..... 6-11
■端の部分がコピーされない .. 6-11
■写真や絵がきれいに
プリントされない ..... 6-11
■文字がくっきりと
プリントされない ..... 6-11
■印刷が薄い
（薄くかすれる、不鮮明）... 6-12
■コピーの画像が傾いている .. 6-12
■汚れ（点）が印刷される .... 6-12
■周期的に汚れがある ..... 6-13
■指でこするとにじむ ..... 6-13
■塗りつぶし部分に白点がある . 6-13
■用紙全体が
塗りつぶされてしまう ..... 6-14
■縦線が印刷される ..... 6-14
■何も印刷されない ..... 6-14
■白抜けがおこる ..... 6-14
■裏面が汚れる ..... 6-15
■用紙にしわがはいる ..... 6-15
ＦＡＱ ..... 6-16
サポートのご案内 ..... 6-19
保守サービスのご案内 ..... 6-19
修理依頼票 ..... 6-21

# エラーメッセージ

## エラー発生について

本機の操作パネル上の「エラー」ランプが点灯した場合は、本機、または本機に接続されているプリンタ、スキャナに何らかのエラーが発生しています。
「エラー」ランプが点灯した場合は、エラーメッセージ一覧を参照して、記載の対処を行なってください。

## エラーメッセージ一覧

エラーメッセージ一覧は、以下のように構成されています。


■共通編 →6-2
■CFカード編 →6-3
■スキャナ編 →6-4
■プリンタ編 →6-5
■コピー編 →6-7
■ファクス編 →6-7


### ■共通編

| メッセージ | 説明 | 対処方法 |
|---|---|---|
| FAX設定値が異常な値を示しています<br>設定値を工場出荷時の設定に戻します | 設定値に誤りを発見した場合に発生します。 | 設定値が初期値に戻りますので、再度、設定を行なってください。 |
| サービスエラーが発生しました<br>本機を再起動して下さい | サービスエラーが発生した場合に発生します。 | 一旦、本機の電源をOFFにして、数分後、ONにしてください。<br>症状の改善が見られない場合は、エラーコードを控えていただいた上で、弊社サポートダイヤルまでご連絡ください。 |

# エラーメッセージ

## ■CFカード編

| メッセージ | 説明 | 対処方法 |
|---|---|---|
| ・CFカード空き領域なし<br>CFカードの空き容量が不足しています.<br>●メモリ受信原稿を印刷して下さい.<br>●不要な送信予約をキャンセルして下さい. | CFカードの空き容量が不足しています。主な原因は下記の2点です。<br>①メモリ受信原稿が多すぎます。<br>②送信予約が多すぎます。 | ①メモリ受信原稿を印刷してください。<br>②不要な送信予約をキャンセルしてください。<br>③CFカードを交換して下さい。<br>※本機の動作中は、CFカードの抜き差しを行なわないでください。CFカードが破損してしまう可能性があります。 |
| ・CFカードなし<br>CFカードが挿入されていないか,もしくは,CFカードの検索に失敗しました.CFカードを確認してください. | ①CFカードが挿入されていません。<br>②CFカードの検索に失敗しました。 | ①一度本機の電源を落として頂いた後、CFカードを挿入してから本機の電源を再度投入してください。<br>②CFカードが挿入されていることを確認後、しばらく待っていただいて、その後、再検索ボタンを押してください。<br>※本機の動作中は、CFカードの抜き差しを行なわないでください。CFカードが破損してしまう可能性があります。 |
| ・CFカードエラー<br>CFカードからの読取りに失敗しました.<br>CFカードが破損している可能性があります.<br>CFカードを確認してください. | ①CFカードのファイルが破損している可能性があります。<br>②CFカードが破損している可能性があります。 | このエラーが頻発する場合、CFカードの内容を初期化してください。初期化後、このエラーが頻発する場合、CFカードを交換してください。CFカードの初期化は、OPTIONメニューの「CFカード管理」で行なってください。 |
| ・CFカードエラー<br>CFカードへの書込みに失敗しました.<br>容量が不足している可能性があります.<br>CFカードを確認してください. | ①CFカードのファイルが破損している可能性があります。<br>②CFカードが破損している可能性があります。 | このエラーが頻発する場合、CFカードの内容を初期化して下さい。初期化後、このエラーが頻発する場合、CFカードを交換してください。CFカードの初期化は、環境設定メニューの「CFカード管理」で行なってください。 |
| ・CFカードエラー<br>CFカードの初期化に失敗しました.<br>CFカードが破損している可能性が有ります.<br>CFカードを確認して下さい. | CFカードが破損しています。 | CFカードを交換してください。 |

## ■スキャナ編

| メッセージ | 説明 | 対処方法 |
|---|---|---|
| ・原稿用紙確認<br>スキャナ原稿台の原稿用紙を取り除いて下さい. | 原稿用紙が、スキャナ原稿台とADFの両方にセットされています。 | ADFから給紙する場合、スキャナ原稿台の原稿用紙を取り除いてください。 |
| ・ADFエラー<br>ADFとスキャナの状態を確認して下さい. | ADFかスキャナのどちらかでエラーが発生しました。 | エラーの発生している個所のエラーを取り除いてください。<br>エラーが解消できない場合、スキャナの電源を再投入してください。 |
| ・通信エラー<br>本機とスキャナの接続を確認して下さい. | スキャナから応答がなかったため、スキャナとの通信でエラーが発生しました。 | ①本機とスキャナの接続が正しいことを確認してください。<br>②スキャナにエラーが発生している場合は、そのエラーを取り除いてください。<br>③スキャナの輸送用固定ノブがUNLOCKの状態になっていないか確認してください。 |
| ・スキャナ使用中<br>スキャナが使用されていないことを確認後,再度,処理を行なって下さい. | スキャナが使用中です。 | スキャナが使用されていないことを確認後、再度処理を行なってください。 |
| ・カバーオープン<br>ADFのカバーを閉じて下さい. | ADFのカバーが開いています。 | ADFのカバーを閉じてください。 |
| ・用紙サイズ検知エラー<br>用紙サイズ自動検知はサポートしていません. | ご使用のスキャナは、用紙サイズ自動検知機能をサポートしていません。 | ①用紙サイズ自動検知ではなく、手動で指定してください。<br>②用紙サイズ自動検知を行なう場合は、ADFをご使用ください。 |
| ・用紙サイズ検知エラー<br>用紙サイズが判別不能です.<br>原稿用紙をセットし直して下さい. | ①原稿用紙サイズの判別に失敗しました。<br>②原稿用紙がセットされていません。 | ①原稿用紙を取り除いた後、再度セットしてください。<br>②原稿用紙がセットされていない場合は、原稿用紙をセットしてください。 |
| ・紙詰り<br>ADFの紙詰りを解除して下さい. | ADFにて紙詰りが発生しました。 | ADFの紙詰りを取り除いてください。 |

# エラーメッセージ

## ■プリンタ編

| メッセージ | 説明 | 対処方法 |
|---|---|---|
| ・オフライン<br>プリンタ側の[印刷可]スイッチを押して,プリンタを印刷可能な状態にして下さい. | プリンタがオフラインになっています。 | プリンタの印刷可スイッチを押してください。 |
| ・感光体ユニット<br>感光体ユニットを確認して下さい. | プリンタの感光体ユニットが寿命です。 | 新しい感光体ユニットに交換してください。 |
| ・定着ユニット<br>定着ユニットを確認して下さい. | プリンタの定着ユニットが寿命です。 | 新しい定着ユニットに交換してください。 |
| ・トナーカートリッジ<br>トナーカートリッジを確認して下さい. | プリンタのトナーカートリッジ残量がなくなりました。 | 新しいトナーカートリッジに交換してください。 |
| ・カバーオープン<br>プリンタカバーを閉じて下さい. | ①プリンタのカバーが開いたままになっています。<br>②プリンタのカバーが完全に閉じていません。 | プリンタのカバーを確実に閉じてください。 |
| ・紙詰り<br>プリンタの紙詰まりを取り除いて下さい. | プリンタで紙詰まりが発生しています。 | プリンタの紙詰まりを取り除いてください。 |
| ・該当用紙なし<br>プリンタに用紙をセットして下さい.<br>または,プリンタに用紙カセットをセットして下さい. | ①正しい用紙がセットされていません。<br>②用紙カセットがセットされていません。 | ①正しい用紙をセットしてください。<br>②用紙カセットをセットしてください。<br>③指定した給紙装置に正しいサイズの用紙をセットしていただだくか、もしくは、他の給紙装置を選択してください。 |
| ・ビンユニット装着不良<br>プリンタのビンユニットを正しく装着して下さい. | プリンタのビンユニットが正しく装着されていません。 | プリンタのビンユニットを正しく装着してください。 |
| ・両面印刷ユニット装着不良<br>両面印刷ユニットを正しく装着して下さい. | プリンタの両面印刷ユニットが正しく装着されていません | プリンタの両面印刷ユニットを正しく装着してください。 |
| ・状態初期化失敗<br>下記項目を確認して下さい.<br>●プリンタの双方向設定が[ECP]であること<br>●本機とプリンタの接続が正しいこと<br>リトライボタン押下後,エラーが発生する場合は,プリンタの電源を再投入してください. | プリンタからの応答がなかったため、状態の初期化が正常に終了できませんでした。 | ①プリンタの双方向設定がECPであることを確認してください。<br>②本機とプリンタの接続が正しいことを確認してください。<br>エラーが解消できない場合、プリンタの電源を再投入してください。 |

# エラーメッセージ

| メッセージ | 説明 | 対処方法 |
|---|---|---|
| ・通信エラー<br>本機とプリンタの接続を確認して下さい. | プリンタからの応答がなかったため、プリンタとの通信でエラーが発生しました。 | ①本機とプリンタの接続が正しいことを確認してください。<br>②プリンタにワーニングが発生している場合は、そのワーニングを取り除いてください。<br>③プリンタにエラーが発生している場合は、そのエラーを取り除いてください。<br>エラーが解消できない場合、プリンタの電源を再投入してください。<br>※プリンタとの通信でエラーが発生したために、以後の印刷が正常に行なわれない場合があります。この場合、印刷中止後、プリンタのリセット、もしくは、リセットオールを実行してください。 |
| ・通信エラー<br>下記項目確認後,確認ボタンを押して下さい.<br>●本機とプリンタの接続が正しいこと<br>●プリンタが印刷可能な状態であること<br>印刷のキャンセルを行なうには,確認ボタンを押す前に,プリンタのジョブキャンセルを実行して下さい. | プリンタからの応答がなかったため、プリンタとの通信でエラーが発生しました。 | ①本機とプリンタの接続が正しいことを確認してください。<br>②プリンタにワーニングが発生している場合は、そのワーニングを取り除いてください。<br>③プリンタにエラーが発生している場合は、そのエラーを取り除いてください。<br>エラーが解消できない場合、プリンタの電源を再投入してください。<br>※プリンタとの通信でエラーが発生したために、以後の印刷が正常に行なわれない場合があります。この場合、印刷中止後、プリンタのリセット、もしくは、リセットオールを実行してください。 |
| ・用紙確認<br>履歴印刷はA4用紙のみです.<br>A4用紙をセットして下さい. | 履歴印刷はA4用紙にのみ対応しています。 | 給紙装置にA4用紙をセットしてください。 |
| ・用紙確認<br>設定印刷はA4用紙のみです.<br>A4用紙をセットして下さい. | 設定印刷はA4用紙にのみ対応しています。 | 給紙装置にA4用紙をセットしてください。 |

# エラーメッセージ

## ■コピー編

| メッセージ | 説明 | 対処方法 |
|---|---|---|
| 処理をキャンセルしました<br>複数部のコピーをキャンセルした場合、印刷中のデータをプリンタ側から手動で停止させて下さい<br>＜ご注意＞手動でキャンセルを行なった場合、コピー以外の印刷データも削除される可能性があります。 | コピー処理中にストップボタンを押下した場合に発生します。 | 複数部コピーのキャンセルを行なった場合、印刷中のデータをプリンタ側から手動で削除していただく必要があります。 |

## ■ファクス編

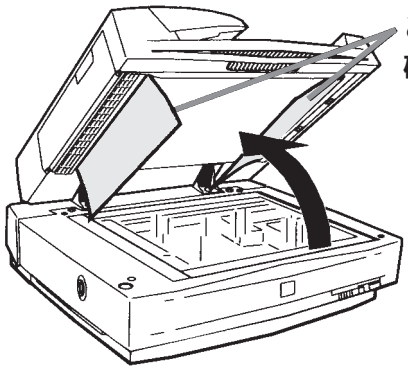
| メッセージ | 説明 | 対処方法 |
|---|---|---|
| 受信履歴情報が,破損している可能性があります.異常が見られる場合,履歴を初期化して下さい. | 受信原稿の印刷を行なった際、受信履歴情報が破損している可能性があった場合、表示されます。 | 履歴の初期化を行なってください。頻発するようであればCFカードが破損している可能性があります。その場合はCFカードを交換してください。 |
| 【プリンタエラー発生】<br>画像異常 | 受信原稿の画像展開処理が正常に行なえなかった場合に表示されます。 | ファクス受信をやり直してください。 |
| 【プリンタエラー発生】<br>メモリ不足 | 受信画像が複雑すぎるためや、他処理動作中のために作業メモリを確保できず、受信原稿の印刷処理が継続できない場合に表示されます。 | 他の処理が完了してから、再度メモリ印刷を行なってください。 |
| FAX送信原稿処理がキャンセルされました.<br>原因が下記のどちらにも該当しない場合、本機の電源を再投入して下さい.<br>●送信用メモリがフル<br>●ADF異常 | 送信原稿の作成中、何らかの要因によって送信原稿作成処理がキャンセルされた場合に表示されます。 | 他の処理がメモリを使用している場合、その処理が完了してから再度送信を行なってください。<br>ADF異常の場合は、それを解除してから再度送信を行なってください。 |

# スキャナのADFで原稿が詰まったときは

スキャナのADF（オートドキュメントフィーダ）で原稿が詰まったときは、次の手順で詰まった原稿を取り除いてください。

> 必ずADFとADFのカバーを開けて取り除いてください。ADFを閉じたまま、用紙を引っ張って取り除かないでください。

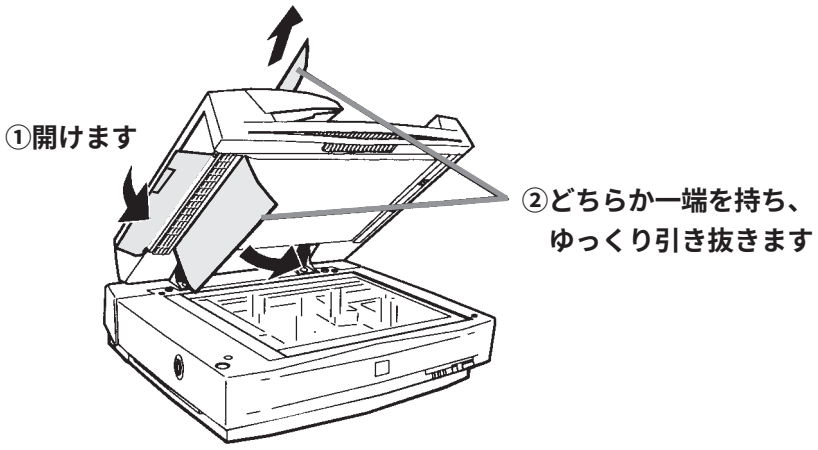
## 1 ADFを開け、原稿が詰まっている場所を確認します。




## 2 詰まっている原稿を取り除きます。

■給紙口で詰まった場合

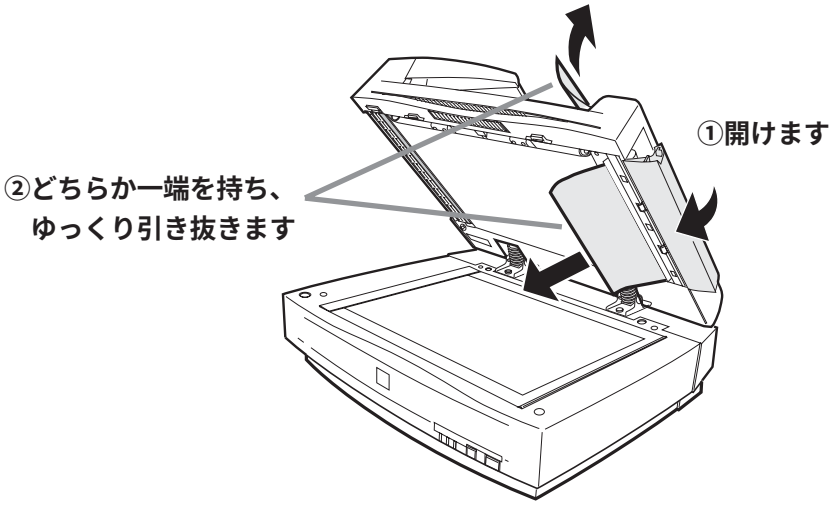
① 図のカバーを開け、原稿を押さえる力を解放します。
② 原稿のどちらか一端を持ち、ゆっくり引き抜きます。強く引っ張ると原稿が破れるおそれがありますのでご注意ください。



# スキャナの ADF で原稿が詰まったときは

## ■排紙口で詰まった場合

① 図のカバーを開け、原稿を押さえる力を解放します。
② 原稿のどちらか一端を持ち、ゆっくり引き抜きます。強く
引っ張ると原稿が破れるおそれがありますのでご注意ください。




3 原稿を取り除いたら、ADF のカバーを閉じてから、ADF 本体を閉じます。

メモ

ADF で原稿が詰まった時は、原稿のセット方法は正しいか、仕様外の用紙（原稿）を使用していないか確認してください。

# プリンタが正常に給紙／排紙しないときは

## ■用紙が詰まる／給排紙されない

プリンタは水平な場所に設置されていますか？プリンタの下にはさまれている物はありませんか？
設置場所が水平でなかったり、プリンタの下に異物がはさまれていると正常に排紙されない場合があります。プリンタの設置場所の環境を再確認してください。

本機で使用可能な用紙を使用していますか？
使用可能な用紙を使用してください。

用紙をセットする前によくさばいていますか？
用紙を複数枚セットする場合は、セットする前に用紙をよくさばいてください。

用紙カセットや用紙トレイに用紙が正しくセットされていますか？
用紙を正しくセットしてください。

用紙カセットがプリンタに正しくセットされていますか？
用紙カセットを正しくセットしてください。

A4、A3、B5、B4 の普通紙以外の用紙の場合、用紙トレイにセットしていますか？
A4、A3、B5、B4 の普通紙以外の用紙は、用紙トレイにセットしてください。

## ■紙を二重送りしてしまう

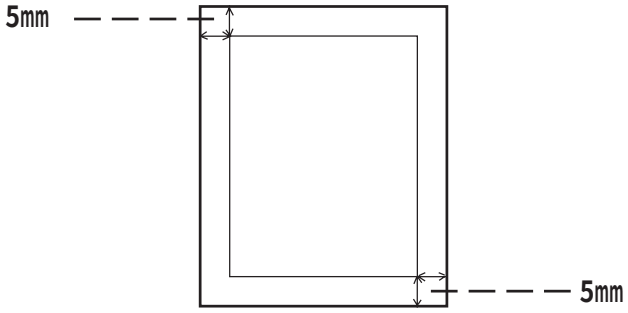
用紙どうしがくっついていませんか？
用紙をよくさばいてください。

## ■端の部分がコピーされない

チェック

チェック

プリンタには、すべての用紙サイズに共通して、印刷できない部分（余白）があります。




このため、紙面いっぱいに印刷された原稿を、同じサイズの用紙にコピーするときに、100%（等倍）のままコピーすると、上記余白の部分が印刷されません。このときは、次のように対処してください。

- 元の原稿の大きさを変えたくない場合
  コピーする用紙サイズを、原稿よりも一回り大きいサイズにしてください。（原稿が B5 の場合は A4、B4 の場合は A3 など）
- 元の原稿の大きさを、多少縮小してもよい場合
  原稿と同サイズのコピー用紙をセットし、55ページに記載の「コピー倍率の設定（縮小 / 拡大）」で「小さめ」を選択してコピーを行なってください。

## ■写真や絵がきれいにプリントされない

チェック

本書 3-9 ページに記載の「コピー品質」を「写真」にしてコピーしてください。コピー品質を「写真」に設定すると、写真などの中間色のある原稿をきれいにコピーできます。

## ■文字がくっきりとプリントされない

チェック

本書 3-9 ページに記載の「コピー品質」を「文字」にしてコピーしてください。コピー品質を「文字」に設定すると、黒い文字をくっきりと黒くコピーできます。

## ■印刷が薄い（薄くかすれる、不鮮明）

用紙が湿気を含んでいます。
新しい用紙と交換してください。
ET カートリッジにトナーが残っていません。
新しい ET カートリッジに交換してください。

## ■コピーの画像が傾いている

ADF の原稿ガイドが原稿の幅に合っていません。
原稿ガイドを原稿の幅に合わせてください。

原稿が正しく原稿台にセットされていません。
原稿を原稿ガラスのスケールに合わせて正しくセットしてください。

原稿ガラスに異物が付着しています。（ADF 使用時）
原稿ガラスを清掃してください。

用紙が正しくセットされていません。
用紙をきちんとそろえ、記録紙ガイドを用紙端面に確実に突き当ててください。

## ■汚れ（点）が印刷される

使用中の用紙が適切ではありません。
「印刷できる用紙の種類」を確認し、印刷できる用紙を使用してください。

ご利用のプリンタに付属の取扱説明書をご覧ください。

ET カートリッジが劣化または損傷しています。
何回か用紙を排紙しても改善されない場合は新しい ET カートリッジに交換してください。

スキャナの原稿台（ガラス）が汚れていませんか？
ガラスが汚れている場合は、柔らかい乾いた布できれいにふいてください。

## ■周期的に汚れがある

プリンタ内の用紙経路が汚れています。
用紙を数枚印刷してください。

ETカートリッジが劣化または損傷しています。
何回か用紙を排紙しても改善されない場合は新しいETカートリッジに交換してください。

## ■指でこするとにじむ

用紙が湿気を含んでいます。
新しい用紙と交換してください。

使用中の用紙が適切ではありません。
「印刷できる用紙の種類」を参照して、印刷できる用紙を使用してください。

ご利用のプリンタに付属の取扱説明書をご覧ください。

## ■塗りつぶし部分に白点がある

使用中の用紙が適切ではありません。
「印刷できる用紙の種類」を確認し、印刷できる用紙を使用してください。

ご利用のプリンタに付属の取扱説明書をご覧ください。

ETカートリッジが劣化または損傷しています。
何回か用紙を排紙しても改善されない場合は新しいETカートリッジに交換してください。

用紙の表裏が逆にセットされている場合があります。
用紙トレイの場合は、表（印刷）面を下に向けてセットしてください。
用紙カセットやMPカセットの場合は、表（印刷）面を上に向けてセットしてください。

ETカートリッジが劣化または損傷しています。新しいETカートリッジに交換してください。

## ■用紙全体が塗りつぶされてしまう

ETカートリッジが損傷または劣化しています。
新しいETカートリッジに交換してください。

## ■縦線が印刷される

ETカートリッジが損傷または劣化しています。
新しいETカートリッジに交換してください。

## ■何も印刷されない

一度に複数枚の用紙が搬送されています。
用紙をよくさばいて、セットし直してください。

ETカートリッジにトナーが残っていません。
新しいETカートリッジに交換してください。

ETカートリッジが劣化または損傷しています。
新しいETカートリッジに交換してください。

## ■白抜けがおこる

用紙が湿気を含んでいます。
新しい用紙と交換してください。

使用中の用紙が適切ではありません。
適切な用紙を使用してください。
ご利用のプリンタに付属の取扱説明書の「印刷できる用紙の種類」を参照してください。

トナーセーブ機能を使用していませんか？
トナーセーブ機能を解除してください。
ご利用のプリンタに付属の取扱説明書の「操作パネルでの設定」、「デバイスメニュー」の「トナーセーブ」を参照してください。

## ■裏面が汚れる

用紙経路が汚れています。
数ページ印刷してください。プリンタ内部に通紙することで汚れが取れる場合があります。

## ■用紙にしわがはいる

プリンタに用紙が正しくセットされていません。
用紙をきちんとそろえて、記録紙ガイドを用紙の端面に確実に突き当ててください。

用紙がカール、または湿気を帯びています。
新しい用紙に交換してください。

# FAQ

| 質問 | 解答 |
|---|---|
| 電源が入らないときは？ | 本機とACアダプタ、ACアダプタとコンセントが正しく接続されていることを確認してください。 |
| 電源スイッチがありませんが、いきなりACアダプタを抜いて電源遮断を行なっても良いですか？ | 電源を遮断する場合は、1-22ページに記載の「電源の遮断」を参照し、ACアダプタを抜いても良い状態にしてから抜いてください。上記の手順を怠った場合、CFカード内部のデータが破壊される可能性があります。 |
| LCDパネルが見えにくいときは？ | 1-14ページに記載の「LCDパネルコントラスト」を参照してください。 |
| 日付と時刻の設定はどのように行ないますか？ | 1-20ページに記載の「日付設定」／1-21ページに記載の「時刻設定」で、それぞれの設定を行なって下さい。 |
| ADFが原稿を読み込まないときは？ | ADFに付属の取扱説明書を参照してください。 |
| ADFに詰まった原稿を取り除くには？ | 6-8ページに記載の「スキャナのADFで原稿が詰まったときは」を参照してください。 |
| プリンタに詰まった用紙を取り除くには？ | ご利用のプリンタに付属の、取扱説明書を参照してください。 |
| プリンタの印字の汚れをとるには？ | 6-11ページに記載の「プリント品質上のトラブル」を参照してください。 |
| コピーの画質を良くするには？ | 3-9ページに記載の「コピー品質」を参照してください。 |
| コピー結果が異常に汚いときは？ | ご利用のプリンタに付属の取扱説明書を参照して、プリンタがECPモードになっている事を確認してください。 |
| コピーを実行できないときは？ | 6-2ページから記載の「エラーメッセージ一覧」を参照して、各エラーによる対処を行ってください。 |
| 電話回線1本で、電話とファクスを共用したいのですが、可能ですか？ | 本機から外部電話機への接続はできません。市販の自動切換機を使用して共用した場合、正常に送受信できない場合があります。 |
| 送信原稿に付加されるヘッダはどこで設定するのですか？ | 4-6ページに記載の「端末登録」で設定した「FAX番号」と「自局名称」を使用します。また、4-8ページに記載の「発信元記録」にてFAX原稿の「FAX文書外／FAX文書内／発信元記録なし」の設定が可能です。 |
| ファクス送信／受信時に時々エラーが発生するときは？ | 電話回線や接続の状態が良くない可能性があります。4-10ページに記載の「送受信速度」で送信／受信速度を下げて再度送信／受信を行なってください。 |
| ファクス着信は正常に行なわれるのですが、ファクス送信ができません。<br>何か設定が必要なのでしょうか？ | 本機の回線種別設定と、実際の電話回線の回線種別が一致していない可能性があります。4-12ページに記載の「回線種別」を参照してください。<br>ご利用の電話回線に押ボタン式の電話を接続して、ボタン押下時にピッポッパと音がする場合、プッシュ（トーン）回線である可能性が高いです。もし電話回線の回線種別が不明の場合、最寄りのNTTの支店・営業所またはNTT窓口（116：無料）にお問い合わせください。 |

# FAQ

| 質問 | 解答 |
|---|---|
| ファクス受信開始時、すぐに切断してしまいます。<br>何か設定が必要なのでしょうか？ | NTTの付加サービスをご利用されていないかご確認ください。ダイヤルインやナンバーディスプレイをご利用の場合は、4-15ページに記載の「呼出回数」の設定を3回以上に設定してください。ただし、正常に受信は可能ですが、これらの情報を取得する機能は搭載しておりません。 |
| ファクス受信原稿の印刷で、イメージの端が5㎜程度欠けてしまうときは？ | プリンタの印字可能領域による制限です。4-9ページに記載の「受信用紙」でちいさめを選択することにより、印字可能領域内に縮小して印刷することが可能です。 |
| 発信音が検出できないときは？ | 電話線が本機に正常に接続されていることを確認してください。 |
| 通話中に電話が切れるときは？ | 電話線が本機に正常に接続されていることを確認してください。 |
| ファクスの同報送信は可能ですか？ | グループ送信を使用することにより複数箇所に同一原稿を送信する順次同報送信が可能です（事前にグループ登録が必要です）。 |
| メモリ受信原稿の保存件数は何件ですか？ | 100件です。これ以上の件数はメモリに蓄えることができませんので、以降ファクスの受信はできなくなります。メモリ受信できるデータ数は限られていますので、受信したデータは、印刷を行ない削除してメモリを開放してください。 |
| CFカードの空き領域にファクス受信原稿を保存できない場合、ファクス受信処理はどうなるのですか？ | ファクス受信異常となり、ファクス受信できなかったことを送信元に通知します。 |
| 長尺原稿を受信した場合、どのように印刷されるのでしょうか？ | ファクス受信原稿のデータに応じて、下記の順で印刷を行ないます。<br>①副走査方向の長さがおおよそ120%超程度であれば、1枚の用紙に印刷を行ないます。<br>②上記①以外であれば、複数枚に分割して印刷を行ないます。 |
| プリンタが印刷できない状態の場合、ファクス受信は紛失してしまうのでしょうか？ | 紛失しません。ファクス受信原稿の印刷時、プリンタが印刷できない状態であれば、本機はプリンタエラーを検出して、内部のCFカードに受信データを保存します。なお、CFカードに保存されたファクス受信原稿を印刷するには、4-49ページに記載の「メモリ受信を印刷する」を参照して、メモリ印刷を行なってください。 |

| 質問 | 解答 |
| --- | --- |
| プリンタにA4用紙しかセットされていない場合、他の用紙サイズで受信したファクス受信原稿はどのようになりますか？ | 例えば、一般的なファクスからA3用紙サイズのファクスを受信した場合、下記①～④の順で印刷処理を実行します。<br>①A3用紙がプリンタにセットされていれば、A3用紙に印刷します。<br>②B4用紙がプリンタにセットされていれば、B4用紙に印刷します。この場合、B4用紙に収まるように印刷します。<br>③A4用紙がプリンタにセットされていれば、A4用紙に印刷します。この場合、A4用紙に収まるように印刷します。<br>④用紙がプリンタに全くセットされていなければ、印刷処理を行なわず、ファクス受信原稿をCFカードに保存します。<br>※ファクス受信原稿のデータに応じて、下記のような優先順位で、存在する用紙に印刷を行ないます。<br>【主走査方向の長さがA3サイズの場合】<br>①副走査方向の長さがおおよそA4サイズに収まる場合<br>「A4->A3->B4」<br>注意：B5/A5用紙には印刷できません。<br>②副走査方向の長さがおおよそA4サイズより長い場合<br>「A3->B4->A4」<br>注意：B5/A5用紙には印刷できません。<br>【主走査方向の長さがB4サイズの場合】<br>①副走査方向の長さがおおよそB5サイズに収まる場合<br>「B5->B4->A3->A4」<br>注意：A5用紙には印刷できません。<br>②副走査方向の長さがおおよそB5サイズより長い場合<br>「B4->A3->A4」<br>注意：B5/A5用紙には印刷できません。<br>【主走査方向の長さがA4サイズの場合】<br>①副走査方向の長さがおおよそA5サイズに収まる場合<br>「A5->B5->B4->A3->A4」<br>②副走査方向の長さがおおよそA5サイズより長い場合<br>「A4->B4->A3」<br>注意：B5/A5用紙には印刷できません。 |

# サポートのご案内

弊社が行っているサポートは次の通りです。

## 保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、まず本書「困ったときは」をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないかを必ずご確認ください。

### 保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。
保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入もれがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載もれがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。保証書は大切に保管してください。

### 保守サービスの受け付け窓口

■ サイレックス・テクノロジー株式会社　情報機器事業部
情報機器事業部サポートダイヤル　06-6730-3775
E-mail　support@silex.jp
受付時間：午前 9:00 ～午前 12:00
午後 1:00 ～午後 5:00
月曜日～金曜日（祝日および弊社指定の休日を除く）

## 保守サービスの種類

弊社製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスを用意しています。

| 種類 | 概要 | 修理代金と支払い方法 | |
|---|---|---|---|
| | | 保証期間内 | 保証期間外 |
| 持ち込み／送付修理 | ・故障が発生した場合お客様に修理品をお持込または送付いただき、一旦お預かりして修理いたします。<br>・お持込または送付の際には、必ず次のページの【修理依頼票】を製品に添付してください。<br>・【修理依頼票】は修理箇所をすばやく的確に把握し、修理時間を短縮するための貴重な資料となります。 | 無償 | 基本料＋技術料＋部品代<br>修理完了品をお届けした時にお支払いください。 |

※ 詳細につきましては、弊社情報機器事業部サポートダイヤルまでお問い合わせください。

## 持込／送付修理をされる方へ

持込／送付修理をされる場合は、次ページの【修理依頼票】をコピーして、必要事項をご記入の上必ず製品に添付してください。【修理依頼票】は修理箇所をすばやく、的確に把握し、修理時間を短縮するための貴重な資料となります。

# 修理依頼票

**コピーしてお使いください。**

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 機種名 | FITCOPY 500 | 製造番号 | | | | | | | | | |
| お買上店名 | | お買上日　年　月　日 | | | | | | | | | |
| 修理品への添付 | □保証書　□ケーブル（種類：　　）<br>□（　　）　□（　　） | | | | | | | | | | |

| 発生の日時／頻度について、ご記入ください | |
|---|---|
| 初めて故障した日時 | 年　月　日 |
| 故障が発生する時 | 電源ON時・使用開始直後・使用開始後・　分/時間してから・電源OFF時 |
| 故障頻度 | 使用開始時のみ・いつも・ときどき（　時間/　日に　回）・まれ（　週間に　回） |
| 自己診断（動作確認）での結果について、ご記入ください | |
| 動作確認結果 | 良好・異常（　　） |
| 故障内容について、文字／イラストなど、具体的にご記入ください | |

お願い ： 印刷結果に関する故障は、印刷サンプルを添付してください。用紙によって発生する場合は該当用紙の添付をお願いします。また、特定のファイルで現象が発生する場合、差し支えなければ、フロッピーディスクにて添付してください。

| 一日の使用時間／印字あるいは取り込み枚数 | 時間／　枚（用紙サイズ　） |
|---|---|

| フリガナ<br>お名前 | 電話番号　TEL<br>FAX |
|---|---|
| ご住所　〒　－ | |

**＊保障期間中の修理依頼については、必ず保証書を添付してください。**

ページ

# 白　紙

# 7章 付録

■目次


日常のお手入れ ..... 7-2
移動時のご注意 ..... 7-3
ローマ字入力表 ..... 7-4
設定値一覧 ..... 7-5
　コピー編 ..... 7-5
　ファクス編 ..... 7-6
　共通編 ..... 7-7
仕様 ..... 7-8
索引 ..... 7-10

# 日常のお手入れ

本製品を末永くお使い頂けるように、定期的に次のようなお手入れをしてください。

## ◆FITCOPY

外装ケースの汚れは、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた溶液に柔らかい布を浸し、よく絞って汚れを拭き取ってから、乾いた布で拭いてください。

注意

シンナー、ベンジンなどの揮発性薬品は、ケースなどの表面を傷めることがありますので、絶対に使わないでください。
本製品には絶対に水などがかからないように注意してください。

### 故障のとき

本機には、お客様自身で修理、交換できる部品はありません。故障の時や調整が必要なときは、お買い求めの販売店か、弊社サポートダイヤルにお問い合わせください。サポートについての詳細は、「サポートのご案内」（→6-19ページ）をご覧ください。

参照

故障かな？と思っても、取扱説明書中の「困った時は」の内容に従って確認すれば、解決できることもあります。
●「困った時は」 →6-11ページ

## ◆プリンタ・スキャナ

プリンタ、スキャナの日常のお手入れについては、それぞれのご使用の機器に付属のマニュアルをご覧ください。

# 移動時のご注意

## ◆FITCOPYの移動

1 スキャナとプリンタの電源をオフにします。

2 各種ケーブルを取り外します。

3 FITCOPYを梱包します。

専用の梱包箱と梱包材を使って、開梱したときと同じ状態で梱包してください。正しく梱包しないと、輸送中に振動や衝撃が加わって故障の原因になります。

## ◆プリンタ・スキャナの移動

プリンタ、スキャナの移動方法については、それぞれのご使用の機器に付属のマニュアルをご覧ください。

# ローマ字入力表

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| あ | ア | A | は | ハ | HA | が | ガ | GA | ぁ | ァ | XA |
| い | イ | I | ひ | ヒ | HI | ぎ | ギ | GI | ぃ | ィ | XI |
| う | ウ | U | ふ | フ | HU | ぐ | グ | GU | ぅ | ゥ | XU |
| え | エ | E | へ | ヘ | HE | げ | ゲ | GE | ぇ | ェ | XE |
| お | オ | O | ほ | ホ | HO | ご | ゴ | GO | ぉ | ォ | XO |
| | | | | | | | | | | | |
| か | カ | KA | ま | マ | MA | ざ | ザ | ZA | ゃ | ャ | XYA |
| き | キ | KI | み | ミ | MI | じ | ジ | ZI | ゅ | ュ | XYU |
| く | ク | KU | む | ム | MU | ず | ズ | ZU | ょ | ョ | XYO |
| け | ケ | KE | め | メ | ME | ぜ | ゼ | ZE | | | |
| こ | コ | KO | も | モ | MO | ぞ | ゾ | ZO | っ | ッ | XTU |
| | | | | | | | | | | | |
| さ | サ | SA | や | ヤ | YA | だ | ダ | DA | | ヴ | VU |
| し | シ | SI | ゆ | ユ | YU | ぢ | ヂ | DI | | | |
| す | ス | SU | よ | ヨ | YO | づ | ヅ | DU | | | |
| せ | セ | SE | | | | で | デ | DE | | | |
| そ | ソ | SO | | | | ど | ド | DO | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| た | タ | TA | ら | ラ | RA | ば | バ | BA | | | |
| ち | チ | TI | り | リ | RI | び | ビ | BI | | | |
| つ | ツ | TU | る | ル | RU | ぶ | ブ | BU | | | |
| て | テ | TE | れ | レ | RE | べ | ベ | BE | | | |
| と | ト | TO | ろ | ロ | RO | ぼ | ボ | BO | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| な | ナ | NA | わ | ワ | WA | ぱ | パ | PA | | | |
| に | ニ | NI | を | ヲ | WO | ぴ | ピ | PI | | | |
| ぬ | ヌ | NU | | | | ぷ | プ | PU | | | |
| ね | ネ | NE | | | | ぺ | ペ | PE | | | |
| の | ノ | NO | ん | ン | NN | ぽ | ポ | PO | | | |

# 設定値一覧

## コピー編

◆基本画面

| 設定項目 | 設　定　値 | 初期値 |
|---|---|---|
| 原稿サイズ | 自動検知／A3／B4／A4横／A4縦／B5横／B5縦／A5横／A5縦 | A4縦 |
| 縮小拡大 | 倍率指定【50～200】（%）／（A3、B4、A4、B5、A5）にコピー／（A3ちいさめ、B4ちいさめ、A4ちいさめ、B5ちいさめ、A5ちいさめ）にコピー | A4にコピー |
| コピー品質 | 文字／文字・写真／写真 | 文字 |
| 輪郭 | （ソフト～シャープで5段階） | 標準 |
| 濃度 | （うすく～こくで5段階） | 標準 |

◆応用画面

| 設定項目 | 設　定　値 | 初期値 |
|---|---|---|
| 両面コピー | オフ／両面→片面／片面→片面／両面→両面 | オフ |
| とじ代 | オフ／左とじ／右とじ／上とじ／とじ幅指定【0～99】（mm） | オフ<br>とじ幅指定10(mm) |
| ページ連写 | オフ／左開き連写／右開き連写 | オフ |
| 縮小レイアウト | オフ／2枚→1枚（左から右・右から左・上から下・下から上）／4枚→1枚（左上から右・左上から下・右上から左・右上から下） | オフ |
| ページソート | オン／オフ | オフ |
| 特殊機能 | オフ／鏡像 | オフ |
| 原稿サイズ | 自動検知／A3／B4／A4横／A4縦／B5横／B5縦／A5横／A5縦 | A4縦 |
| コピー品質 | 文字／文字・写真／写真 | 文字 |
| コピー濃度 | （うすく～こくで5段階） | 標準 |
| 輪郭設定 | （ソフト～シャープで5段階） | 標準 |
| コピー解像度 | はやい／きれい | きれい |
| 給紙トレイ | 自動選択／トレイ優先／カセット優先／用紙トレイ／カセット1～5 | 自動選択 |

# 設定値一覧

## ファクス編

◆基本画面

| 設定項目 | 設　定　値 | 初期値 |
|---|---|---|
| 送信画質 | 文字／写真 | 文字 |
| 送信解像度 | ノーマル／ファイン／<br>スーパーファイン／ウルトラファイン | ノーマル |
| 濃度 | （うすく～こくで5段階） | 標準 |

◆応用画面

| 設定項目 | 設　定　値 | 初期値 |
|---|---|---|
| 両面読取 | 片面読取／両面読取 | 片面読取 |
| 特殊送信 | オフ／Fコード送信／グループ送信／タイマー送信 | オフ |
| ADFサイズ | 自動検知／手動指定（A3／B4／A4横／A4縦／<br>B5横／B5縦／A5横／A5縦） | 自動指定 |
| 原稿台サイズ | 自動検知／手動指定（A3／B4／A4横／A4縦／<br>B5横／B5縦／A5横／A5縦） | 手動指定 |
| 受信モード | 通常受信／メモリ受信 | 通常受信 |
| 端末登録 | FAX番号／自局名称／グループ | — |
| 輪郭設定 | （ソフト～シャープで5段階） | 標準 |
| 変倍送信 | A3に変倍／A3に等倍／B4に変倍／B4に等倍／<br>A4に変倍／A4に等倍 | — |
| 発信元記録 | ＜記録位置＞FAX文書外／FAX文書内／発信元記録なし<br>＜記録内容＞番号と名称／番号のみ | FAX文書外<br>番号と名称 |
| 受信用紙 | A3用紙可／A3用紙不可／B4用紙可／B4用紙不可<br>＜ちいさめ＞標準／ちいさめ | すべて可<br>標準 |
| 送信速度 | 2400／4800／7200／9600／12000／14400（bPS） | 12000（bPS） |
| 受信速度 | 2400／4800／7200／9600／12000／14400（bPS） | 14400（bPS） |
| 回線種類 | パルス/10pps／パルス/20pps／トーン | トーン |
| ADF異常時 | 送信継続／送信中止 | 送信中止 |
| 送信メモリフル | 送信継続／送信中止 | 送信中止 |
| エラー訂正機能 | ECM有効／ECM無効 | ECM有効 |
| 呼出回数 | 1～9（回） | 3（回） |
| リダイヤル回数 | 0～9（回） | 3（回） |
| リダイヤル間隔 | 1～9（分） | 1（分） |

# 設定値一覧

## 共通編

| 設定項目 | 設　定　値 | 初期値 |
|---|---|---|
| 日付 | （年月日） | — |
| 時刻 | （時分秒）【24時間形式】 | — |
| 節電 | 【0、10～999】（秒）（0はオフ） | 30（秒） |
| オートクリア | 【0、10～999】（秒）（0はオフ） | 30（秒） |
| ビン設定 | F-ダウントレイ／F-アップトレイ／任意のビン | F-ダウントレイ |
| 音量 | 無音／音量小／音量中／音量大 | 無音 |
| 機種選択 | グループ93／グループ96 | — |
| 印刷オフセット | ＜横オフセット＞【0.0～30.0】(mm) ※左右選択可<br>＜縦オフセット＞【0.0～30.0】(mm) ※上下選択可 | 左 0.0（mm）<br>右 0.0（mm） |
| IPアドレス | 自動設定／<br>＜IPアドレス＞（アドレス）【0～255】<br>＜SubnetMask＞（アドレス）【0～255】<br>＜D.Gateway＞（アドレス）【0～255】 | <br>192.168.1.1<br>255.255.255.0<br>— |
| 信号送出LV | 【-6～-15】（dB） | -8（dB） |

# 仕様

仕様、外観は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
ここには、FITCOPYの基本仕様を記載してあります。プリンタ、スキャナの基本仕様については、それぞれ機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

◆対応プリンタ・スキャナ

| | |
|---|---|
| 対応プリンタ | LP-9400、LP-8900、LP-7700、LP-7500 |
| 対応スキャナ | ES-9000H、ES-6000H、ES-6000HS |

プリンタとスキャナの最新の対応状況について、弊社ホームページ（www.silex.jp）、またはサポートダイヤル（06-6730-3775）にて随時公開しておりますので、お問い合わせください。

◆電気的特性

| | |
|---|---|
| 電源電圧 | 定格DC16V |
| 消費電流 | 1.0A以下 |

◆操作部

| | |
|---|---|
| 表示装置 | 5.7インチ　モノクロ液晶ディスプレイ |
| | LED（電源・エラー・コピー・ファクシミリ） |
| 入力装置 | タッチパネル（液晶ディスプレイ表面） |
| | ボタンスイッチ（スタート・ストップ・コピー・ファクシミリ・拡張・リセット） |

◆機械的特性

| | |
|---|---|
| 外形寸法 | 290.0(W)×202.0(D)×41.5(H)mm |
| 重　量 | 2.0kg（本体） |
| 接続方法 | 付属ケーブルにより接続 |

◆環境条件

| | |
|---|---|
| 動作温湿度 | 温度：5～35℃ |
| | 温度：25～85%（非結露） |
| 保存温湿度 | 温度：-15～50℃ |
| | 湿度：25～85%（非結露） |

◆使用条件

| | |
|---|---|
| 塵埃 | 一般事務所（ホコリの多いところは避けること） |
| 照度 | 直射日光を避けること |

◆規格等

| | |
|---|---|
| 耐電磁障害 | VCCI Class-A |
| その他 | JATE |

◆ファクス仕様

| | | |
|---|---|---|
| 通信規格 | G3 | |
| 圧縮方式 | MH/MR/MMR | |
| 送信原稿サイズ | A3、B4、A4、B5、A5 | |
| | （但し B5、A5 は A3、B4、A4 にて送信） | |
| 走査線密度 | ノーマル | 8 ドット /㎜ × 3.85 ライン /㎜ |
| | ファイン | 8 ドット /㎜ × 7.7 ライン /㎜ |
| | スーパーファイン | 8 ドット /㎜ × 15.4 ライン /㎜ |
| | ウルトラファイン | 16 ドット /㎜ × 15.4 ライン /㎜ |
| 適応回線 | 加入電話回線 | |
| | ※ファクシミリ通信網、PBX 構内回線、NCC 回線、ISDN 回線等には対応しておりません。 | |

# 索引


## A

ADF 異常時　4-13

## C

CF カード管理　5-10
CF カードの初期化　5-10
CF カードの取り扱い　2-6

## D

DHCP　5-14

## F

F コード送信　4-29

## I

IP アドレス設定　5-14

## L

LPT ステータスシート　5-17

## ア

アドレス帳
　アドレス帳の印刷　4-47
　アドレス帳の修正／削除　4-46
　アドレス帳の登録　4-45

## イ

印刷オフセット設定　5-13

## エ

エラー訂正機能　4-17
エラーメッセージ　6-2

## オ

オートクリア　5-6
応用機能画面　3-3
音量設定　5-8

## カ

回線種類　4-12
環境設定　5-2
　環境設定画面　5-3
環境設定画面　2-19

## キ

機種選択　5-11
給紙トレイ　3-22
鏡像　3-20

## ク

区点コード　2-11
グループ
　グループからダイヤルする　4-33
　グループの登録　4-35
　グループ名を修正する　4-37
　グループを削除する　4-38
　送信先を追加／削除する　4-36

## ケ

ケース・レグ　1-8
原稿サイズ　3-6，4-40
原稿の向き　2-12

## コ

コピー解像度　3-21
コピー概要　2-2
コピー基本画面　3-2
コピーの準備　3-4
コピーの手順　3-5
コピー品質　3-9
コピー履歴　3-23
コントラスト調整　2-14

## サ

サブネットマスク　5-16

## シ

自局番号　4-6
自局名称　4-7
時刻設定　2-21
縮小拡大　3-7
縮小レイアウト　3-18
受信モード　4-5
受信用紙　4-9
受信履歴　4-49
仕様　7-8
信号送出 LV　5-18

# 索引


## ス

スキャナスタンド　1-5
スキャナ接続処理　2-17
スキャナの接続　1-12

## セ

設置に必要なスペース　1-5
設定初期化　5-9
設定値一覧　7-5
設定値保存　3-13
接続全体図　1-11
節電設定　5-5

## ソ

送受信速度　4-10
送信解像度　4-24
送信画質　4-23
送信濃度　4-25
送信メモリフル時　4-14
送信履歴　4-49
ソフトウェアキーボード　2-7

## タ

タイマ送信
　タイマ送信を解除する　4-32
　タイマ送信を予約する　4-31
タッチパネルの再調整　2-16，5-12
タッチパネルの調整　2-15

## チ

ちいさめ　3-8

## ツ

通信音量　4-11

## テ

テスト送信　4-44
デフォルトゲートウェイアドレス　5-16
電源の遮断　2-22
電源の投入　2-13
電話回線の接続　1-16

## ト

とじ位置　3-15
とじ代　3-16

## ノ

濃度　3-11

## ハ

バージョンアップ　5-23
バージョンの確認　5-22
排紙位置　5-7
倍率指定　3-8
バックアップ　5-19
発信元記録　4-8

## ヒ

日付設定　2-20

## フ

ファームウェアのバージョンアップ　5-22
ファクス概要　2-3
ファクス基本画面　4-2
ファクス受信の手順　4-22
ファクス送受信の準備　4-4
ファクス送信の手順　4-18
ファクス履歴　4-48
ファクス履歴印刷サンプル　4-50
不達通知　4-21
プリンタオフセット設定　5-13
プリンタ接続処理　2-18
プリンタ台　1-5
プリンタの接続　1-13
プリンタの接続状態　3-4
グループ名を修正する　4-37

## ヘ

ページソート　3-19
ページ連写　3-17
変倍送信　4-43

# 索引


## メ

メモリ印刷　4-49
メモリ受信　4-5
メモリ受信歴　4-49

## モ

文字入力　2-8

## ヨ

呼出回数　4-15

## リ

リストア　5-20
リダイヤル　4-16，4-19
両面コピー　3-14
両面読取　4-28
輪郭　3-10

## ロ

ローマ字入力表　7-4

ページ

# 白　紙

# おことわり

- 本機の改良変更等により、本書の記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますので、ご了承ください。
- 本取扱説明書の内容の一部または全部を弊社の事前の許可なく無断で転載あるいは、複製する事は法律で禁止されています。
- 本取扱説明書や製品について、お気づきの点または、ご不明な点は弊社情報機器事業部サポートダイヤル（06-6730-3775）までご連絡ください。
  またはE-mailでも受け付けております。（support@silex.jp）
- 本取扱説明書編集にあたって万全を期しておりますが、誤りや設定等の例による結果に対し、弊社は責任を負いかねますのでご了承ください。

Copyright Ⓒ 2002 silex technology, Inc.
Copyright Ⓒ 1993-2001,Brodcom Corp.All rights reserved.

**サイレックス･テクノロジー株式会社**

**〒577-0802　大阪府東大阪市小阪本町1-6-20**
**情報機器事業部サポートダイヤル　06-6730-3775**

**第2.1版 WA00140XB 03.02.14**

silex
technology